

廿八日、法皇、熊野ヨリ還御アラセラル、玉葉
是月、右衛門督檢非違使別當藤原忠親ニ帶劔ヲ
聽ス、上卿故實

四月乙丑 朔盡

五日、權中納言平宗盛ヲ權大納言ニ任ジ、前中納
言源資賢ヲ還任シ、參議藤原賴定ヲ正三位ニ敘
ス、玉葉 公卿補任

歲星、牽牛ヲ犯ス、玉葉

八日、神事ニ依リテ、灌佛ヲ停ム、玉葉

關白基房、使ヲ多武峯ニ遣シ、尊像破裂ヲ謝シ、告
文ヲ納ム、大繼冠像破裂集

延曆寺及ビ鞍馬寺ノ僧徒、相率キテ、風早禪師ヲ
逐ヒ、其房ヲ毀ツ、百練抄〔參考〕尊卑分脈

九日、梅宮祭、是日、侍醫丹波賴基ヲ施藥院使ニ補
ス、玉葉

十二日、參議右大辨藤原長方、左大辨藤原俊經ト

座次ヲ爭フ、百練抄

十三日、小除目、玉葉

廿一日、賀茂祭、玉葉 飾抄

廿四日、七條北東洞院燒亡ス、延テ八條坊門朱雀
大路ニ及ブ、世ニ次郎燒亡ト號ス、清解眼抄

廿六日、關白基房ノ子師家元服ス、是日、右大臣兼
實、新造九條第二徙ル、玉葉 公卿補任

廿九日、法住寺殿ニ行幸アラセラル、玉葉 庭槐抄

五月甲午 朔盡

一日、院殿上ニ於テ、亂遊及ビ白拍子舞、女童舞等
アリ、玉葉 山槐記

二日、法住寺殿ヨリ還御アラセラル、玉葉

三日、法勝寺三十講、法皇、之ニ御幸アラセラル、
山槐記

五日、右近衛府荒手結、山槐記

九日、新日吉小五月會、法皇之ニ御幸アラセラル、

山槐記

十三日、齋宮御所一本御書所東町叢中ニ、狐矢ニ
中リテ死セルモノアリ、玉葉 山槐記 百練抄

十四日、院供花始、山槐記 玉葉

二十日、仗議、最勝講始、延曆寺僧徒、狀ヲ具シ、學
徒ヲ召サレザルヲ訴フ、是日、興福寺僧徒、行幸ノ
賞トシテ、權別當玄緣ヲ權僧正ニ任セラレンコ
トヲ請フ、玉葉 山槐記 百練抄

廿一日、賑給定、是日、院供花結願、玉葉 山槐記

廿二日、延曆寺僧徒、園城寺長吏僧正覺讚ヲ詰ル、
百練抄

廿四日、最勝講結願、阿闍梨宣旨ヲ下ス、玉葉 山槐記

廿五日、右大臣兼實、和泉春木莊ヲ春日社ニ寄進
ス、玉葉

廿六日、檢非違使廳過狀政、山槐記

廿九日、復任除目、著欽政、是日、前權僧正公顯ノ歡
喜光院南房災ス、玉葉 山槐記

三十日、内裏御作文、是日、地震、山槐記 百練抄 古今著聞

集

是月、阿闍梨眞海、狀ヲ上リ、東寺灌頂ヲ賜ハラシ
コトヲ請フ、表白集

六月甲子 朔盡

二日、入道前太政大臣清盛、福原ヨリ上洛ス、山槐
記

三日、強盜、左京大夫泰惟姓關ノ第ヲ犯ス、侍等、之
ヲ防ギ、互ニ殺傷ス、山槐記

六日、春日社權預祐綱ヲ追賞ス、山槐記

多武峯講堂内脇土兩菩薩像開眼、多武峰略記

十日、關白基房ノ子從五位下藤原師家ヲ左近衛
權少將ニ任ジ、平清盛ノ猶子藤原清邦ヲ從五位
下ニ敘ス、是日、内大臣重盛ノ上表ヲ却下ス、玉葉

山槐記 顯廣王記 公卿補任

十二日、土御門第二行幸アラセラレ、祇園神輿ヲ
避ケ給フ、是日、隕星アリ、山槐記

十三日、從五位上卜部兼衡ヲ追賞ス、顯廣王記
 十四日、祇園御靈會、顯廣王記 山槐記
 皇嘉門院、右大臣兼實ノ九條第二御幸アラセラ
 ル、玉葉
 左衛門督檢非違使別當藤原忠親上表ス、山槐記
 十七日、伊都伎島社ニ奉幣シテ、中宮ノ御平産ヲ
 祈ル、山槐記
 中殿御會、玉葉 山槐記 顯廣王記 百練抄 古今著聞集 御遊抄
 體源抄
 第二皇女子參内シ給フ、山槐記
 十九日、左近衛權少將藤原師家拜賀、是日、法皇ノ
 皇子道ヲ大僧正禎喜ノ御弟子ト爲ス、又木工權
 頭季時姓、小堂ヲ觀音寺中ニ建テ、之ヲ供養ス、
 玉葉 山槐記〔參考〕 本朝皇胤紹運錄
 院角合、是日、中宮御産御祈始、玉葉 山槐記 百練抄 長
 門本平家物語
 二十日、左衛門督平時忠、東山ノ小堂ヲ慶ス、山槐

記
 廿一日、右衛門督藤原忠親ニ、檢非違使別當ノ上
 表ヲ却下ス、山槐記
 廿三日、將軍塚鳴動ス、山槐記 顯廣王記 百練抄
 廿六日、中宮、千度御被ヲ行ヒ、又藥師法ヲ修セシ
 メラル、山槐記
 廿七日、第二皇女子ヲ内親王ト爲シ、賀茂齋院
 ニト定ス、是日、中宮、如意輪觀音像ヲ造リ、六角堂
 ニ供養アラセラル、玉葉 山槐記 顯廣王記 賀茂齋院記 皇
 帝紀抄 皇代曆
 廿八日、中宮御著帶、尋デ、諸種ノ御祈ヲ始行セラ
 ル、玉葉 山槐記 顯廣王記 保曆間記 御産御祈記 參考源平盛衰記
 廿九日、閏月アルヲ以テ、大被ヲ停ム、山槐記 顯廣王
 記
 前權中納言藤原俊通出家ス、一代娶記 公卿補任
 大中臣宣實、賊ノ爲ニ殺サル、大中臣氏系圖
 閏六月癸巳朔

二日、清水寺惡僧某ヲ阿闍梨辨忠ニ付ス、山槐記
 五日、仗議、山槐記 百練抄
 七日、直物、僧事、玉葉 山槐記 東寺長者補任 歷代皇記裏書
 八日、院往生講、山槐記
 十一日、三條殿ニ行幸アラセラル、庭槐抄 山槐記 顯
 廣王記
 十四日、法皇、山科殿ニ御幸アラセラル、山槐記
 十五日、右近衛大將平宗盛ノ室出家ス、山槐記
 十七日、新制十七條ヲ下ス、玉葉〔參考〕 玉葉 山槐記
 十九日、金剛童子供ヲ修シテ、中宮ノ御平産ヲ祈
 ル、山槐記
 廿一日、丹生、貴布禰兩社ニ奉幣シ、又神泉苑ニ於
 テ、雨ヲ祈ラシム、山槐記 顯廣王記
 右大臣兼實、歌人ヲ私第二會シテ、歌合ヲ行フ、玉
 葉
 廿二日、正四位下右近衛中將藤原良通拜賀、玉葉
 廿三日、檢非違使別當藤原忠親、齋日ニ依リテ、犯

人ノ禁獄ヲ停ム、是日、中宮千度御被、山槐記
 廿四日、廣隆寺僧徒、別當寬敏ヲ訴フ、是日、前瀧口
 源競ノ郎等伴武道ヲ佐渡ニ流ス、玉葉 山槐記
 廿七日、三條殿ヨリ閑院ニ還御アラセラル、庭槐抄
 山槐記
 廿八日、最勝寺御八講始、法皇臨御アラセラル、山
 槐記
 廿九日、大被、是日、免物アリ、玉葉 山槐記
 法眼道快ヲ法性寺座主ニ補ス、玉葉 華頂要略
 七月壬戌朔
 三日、天下ニ大赦シ、流人藤原成經、平康頼ヲ召還
 ス、參考源平盛衰記 保曆間記 歷代編年集成 寶物集 千載和歌集
 四日、中宮大夫藤原兼房ヲ罷ム、玉葉 公卿補任 尊卑分
 厩
 六日、宸筆提婆品及ビ釋迦三尊畫像一鋪ヲ内裏
 ニ供養シ、建春門院ノ御冥福ニ資シ給フ、玉葉 百
 練抄

七日、法皇、法勝寺ニ御幸アラセラル、玉葉
八日、最勝光院御八講始、限ルニ五日ヲ以テシ、爾
後永例ト爲サシム、玉葉 百練抄 年中行事抄 師光年中行事

十日、右近衛大將平宗盛ヲ罷ム、公卿補任

十一日、入道前大神宮々司大中臣公宗卒ス、顯廣王

記 大中臣氏系圖 二所大神宮例文

十二日、最勝光院御八講結願、玉葉

十五日、故攝政基實ノ室、金泥一切經書寫ノ功ヲ

終ヘ、春日社經藏ニ納ム、百練抄 〔參考〕 尊卑分脈

十六日、權大納言平宗盛ノ室卒ス、玉葉 顯廣王記 尊

卑分脈

廿二日、相模權守仲賢、^{姓闕}五條大宮ニ於テ殺サ

ル、百練抄

廿六日、權大納言兼中宮權大夫平時忠ヲ中宮大

夫ニ、右衛門督藤原忠親ヲ同權大夫ニ補ス、玉葉

顯廣王記 公卿補任

廿八日、中宮、六波羅ニ行啓アラセラル、顯廣王記 山

槐記

三十日、法皇、木津山莊ニ御方違御幸アラセラル、

顯廣王記

八月小辰朔

一日、法皇、鳥羽殿ニ還御アラセラル、顯廣王記

四日、春日社廻廊修理始、興福寺略年代記 玉葉 百練抄

六日、尊星王法ヲ修セシメラル、玉葉

延曆寺學徒堂衆ヲ襲ヒ、坊舎ヲ毀テ、財物ヲ掠ム、

參考源平盛衰記 皇代曆

八日、延曆寺堂衆、相率キテ、學徒ト戰フ、參考源平盛

衰記

十日、法皇、四天王寺ニ御幸アラセラル、玉葉 顯廣王

記 石清水八幡宮記錄

十一日、紀伊荒川莊及ビ同莊加納ヲ以テ、造日前

國懸社ノ役ニ充テシム、高野山文書 高野春秋

前木工頭資忠、^{姓闕}ノ子元服ス、玉葉

十二日、祈年穀奉幣、玉葉 顯廣王記

三井寺僧憲覺寂ス、玉葉 尊卑分脈

十四日、齋院御著袴以前、帛御裝束著御ノ可否ヲ

右大臣兼實ニ諮詢ス、玉葉

十五日、石清水放生會、石清水八幡宮記錄

十六日、中宮、内裏ヨリ退出シ給フ、玉葉

十九日、中宮御産御祈トシテ、二十二壇御修法ヲ

修ス、玉葉

廿一日、法皇、四天王寺ヨリ還御アラセラル、玉葉

藤原忠通ノ室從二位源信子薨ズ、玉葉 尊卑分脈 今鏡

〔參考〕 尊卑分脈

廿三日、高野山檢校房光寂ス、高野春秋

廿四日、權大納言藤原邦綱ヲ伊勢ニ遣シ、宸筆宣

命ヲ大神宮ニ奉ル、玉葉 顯廣王記 伊勢公卿勅使雜例

廿六日、梅宮社ノ怪異ヲ奏ス、玉葉

廿九日、齋宮御禊前驅及ビ日時定、是日、小除日、

玉葉

是月、前天台座主明雲、窃ニ歸京ス、玉葉

京師強盜橫行ス、顯廣王記

叡山坂本ニ粉蝶群飛シテ、雨ノ如シ、皇紀抄

藤原賴輔、同有房等歌合ヲ行フ、廿二番詞合

九月大酉朔

二日、右大臣兼實、梅宮社ノ怪異ヲトセシム、玉葉

三日、熒惑、大微ニ入り、上將星ヲ犯ス、醍醐雜抄 〔參

考〕 和漢三才圖會

十一日、例幣、是日、院供花始、顯廣王記

十三日、齋宮御禊、尋デ、野宮ニ入御アラセラル、

顯廣王記 玉葉

十五日、皇嘉門院御懺法、是日、熒惑太微ニ入り、右

執法星ヲ犯ス、玉葉 醍醐雜抄

十六日、法勝寺千僧御讀經定、玉葉

十八日、院供花結願、是日、法皇、鳥羽殿ニ御幸アラ

セラル、顯廣王記

二十日、法皇、石清水八幡宮ニ御幸アラセラル、

顯廣王記 北院御室日記 石清水八幡宮記錄 梁塵秘抄口傳抄

孔雀經法ヲ閑院内裏ニ修シテ、天變ヲ禳フ、醍醐

雜抄 孔雀經御修法記 孔雀經法記 東寺長者補任

延曆寺堂衆、群盜ヲ聚メ、連ニ學徒ヲ攻ム、學徒屢敗ル、是ニ至リテ、奏シテ、之ヲ討ゼンコトヲ請フ、

參考源平盛衰記 玉葉

廿三日、法勝寺千僧御讀經、玉葉

廿五日、定考、玉葉

是月、伊勢大神宮ニ怪異アリ、顯廣王記

右近衛少將藤原公重卒ス、山槐記 龜甲分脈 和歌作者部

類 詞花和歌集 千載和歌集 新勅撰和歌集 風雅和歌集

十月 小 辛卯 朔

一日、中宮御產御祈御讀經始、山槐記

前土佐權守大中臣親經卒ス、大中臣氏系圖

三日、中宮御產御祈御修法二壇ヲ修セラル、山槐記

四日、内裏孔雀經法結願、玉葉 醍醐雜抄

中宮御產御祈ヲ石清水八幡宮ニ行ヒ、又如意輪

法ヲ修シ始メラル、山槐記

法皇、平清盛ニ命ジテ、兵ヲ遣シ、延曆寺學徒ヲ援

ケ、堂衆ヲ討タシム、利アラズ、玉葉 顯廣王記 百練抄

參考源平盛衰記 皇代曆 歷代皇記裏書 華頂要略

五日、上西門院御惱、玉葉

六日、皇嘉門院御懺法結願、玉葉

七日、權律師範玄ヲ還任シ、大僧正禎喜建ツル所

ノ金剛峯寺中内證上生院ニ、阿闍梨三口ヲ置ク、

又天變ニ依リテ、輕囚ヲ免シ、流人多々良盛保等

四人ヲ召還ス、是日、内舍人橘惟清、主計允惟宗盛

弘ヲ解官ス、玉葉

法皇、密ニ御幸アラセラレテ、中宮ヲ護身シ給フ、

山槐記

源賴政、一堂ヲ菩提院ノ傍ニ建テ、之ヲ供養ス、百

練抄

九日、中宮御產御祈放光佛供養、山槐記

十日、中宮御產御祈千度御祓、泥塔一萬五千基及

ビ等身不動像一體供養、焰魔天供御修法二壇等

ヲ始メ、又諸祈ヲ賀茂社ニ行フ、山槐記

十一日、法皇、復密ニ御幸アラセラレテ、中宮ヲ護

身シ給フ、山槐記

十三日、仁王會定、玉葉

十四日、仁王會始、玉葉

中宮御產御祈、造佛供養、御修法等ヲ行フ、山槐記

十五日、中宮御產御祈百座仁王講、山槐記

十六日、中宮御產御祈五壇御修法、山槐記

十七日、中宮御產御祈トシテ、伊都岐嶋別宮ニ神

樂ヲ奏ス、山槐記

十九日、中宮御產御祈一日大般若經轉讀、又新日

吉社ニ里神樂ヲ奏ス、山槐記

廿一日、法住寺殿ニ御方違行幸アラセラル、是日、

右近衛大將平宗盛ノ隨身奏兼澄、左近衛大將藤

原實定ノ前番長中臣重種ヲ辱ム、玉葉 顯廣王記

中宮御產御祈トシテ、造佛供養ヲ行ヒ、藥師法ヲ

修シ、又冥道供ヲ行フ、又松尾、平野、住吉三社ニモ

亦諸御祈ヲ行フ、山槐記

廿二日、中宮御不例、尋デ、平愈シ給フ、山槐記

廿三日、還御アラセラル、玉葉 白川家記

廿四日、前大僧正覺讚ヲ護持僧ト爲ス、護持僧次第

廿五日、中宮御產御祈孔雀經法及ビ諸御祈アリ、

是日、法皇、鳥羽殿ニ御幸アラセラル、山槐記 仁和寺

御傳 仁和寺諸師年譜 東寺長者補任 七佛藥師法現行記 孔雀經御修

法記 孔雀經法記

廿七日、中宮御產御祈トシテ、内大臣重盛、等身六

觀音像ヲ、權大納言平時忠、五大尊像ヲ供養ス、是

日、法皇、鳥羽ヨリ還御、直ニ六波羅第ニ御幸アラ

セラル、玉葉 山槐記

從五位下信子女王ヲ典侍ニ補ス、顯廣王記

廿八日、中宮御產御祈トシテ、法皇、等身不動大威

德像ヲ供養シ給フ、山槐記

廿九日、春日祭使ヲ發遣ス、玉葉 顯廣王記
中宮御產御祈トシテ、稻荷祇園兩社ニ百座仁王
講ヲ修シ、又東方祭ヲ修ス、山槐記

十一月大庚申朔

一日、春日祭、平野祭、玉葉 山槐記
中宮御產御祈トシテ、百座仁王講ヲ春日社ニ修
ス、山槐記

二日、春日祭使還立、玉葉

梅宮祭、是日、中宮御產御祈トシテ、千度御祓ヲ行
フ、孔雀經法七佛藥師法等滿願、山槐記

三日、中宮御產御祈孔雀經法七佛藥師法等ノ結
願ヲ延引ス、山槐記

四日、資泰姓關ノ殿上ノ籍ヲ除ク、玉葉

五日、延曆寺學徒等、堂衆ヲ攻メテ利アラズ、歷代

皇記畧書 參考源平盛衰記 玉葉

七日、内御物忌、玉葉

十四日、皇子第三夜御養產、玉葉 顯廣王記

十五日、法皇、中宮御所ニ渡御アラセラル、玉葉 參

考源平盛衰記

月、鎮星ト度ヲ同クス、玉葉 [參考] 和漢三才圖會

十六日、皇子第五夜御養產、玉葉 顯廣王記

太白、哭星ヲ犯ス、玉葉

十七日、大原野祭、玉葉

十八日、皇子第七夜御養產、玉葉 顯廣王記 御遊抄 胡琴

教録

五節舞姬參入、是日、内御物忌、玉葉 顯廣王記

月、軒轅右角星ヲ掩フ、玉葉 [參考] 和漢三才圖會

十九日、殿上淵醉、玉葉

二十日、五節童女御覽、玉葉

皇子第九夜御養產、玉葉

廿一日、豐明節會、玉葉 顯廣王記

日吉社司、解ヲ上リテ神殿改造ヲ請フ、玉葉

月、太微右執法星ヲ犯ス、玉葉

治承二年十二月

中宮御產御祈トシテ、隨求陀羅尼供ヲ修ス、山槐記
八日、法皇、御八講ヲ今熊野ニ行ハセラル、是日、皇
嘉門院ニ穢アリ、玉葉
中宮御產御祈トシテ、泰山府君祭ヲ七靈所ニ行
フ、山槐記

九日、中宮御產御祈トシテ、更ニ孔雀經法、七佛藥
師法等ノ結願ヲ延引ス、山槐記

十日、中宮御產御祈トシテ、常光院惣社ニ八女田
樂ヲ奏ス、山槐記

十二日、皇子仁言降誕アラセラル、是日、輕囚十三人
ヲ免ズ、是日、法皇、御產殿ニ臨御アラセラル、又孔
雀經法結願、依リテ勸賞ヲ行ヒ給フ、玉葉 山槐記 顯

廣王記 百練抄 歷代編年集成 一代要記 皇代曆 皇年代略
記 如是院年代記 類聚大補任 仁和寺御傳 仁和寺諸院家記 東寺長
者補任 華頂要略 御產御祈目錄 代代御產御祈目錄 皇子降誕御浴殿
讀書例 愚管抄 保曆問記 參考源平盛衰記

十三日、吉田祭、玉葉 山槐記

月、畢大星ヲ掩フ、玉葉 [參考] 和漢三才圖會

廿三日、法勝寺僧徒參賀、皇子佛神事御祈始、玉葉

廿九日、熒惑、亢ヲ犯ス、玉葉 [參考] 和漢三才圖會

三十日、宇佐使ヲ發遣ス、玉葉 顯廣王記

十二月大庚寅朔

一日、春日若宮拜殿造營始、興福寺略年代記

阿闍梨實嚴、安祥寺傍ニ大勝金剛院ヲ供養ス、玉

葉
二日、皇子始テ御髮ヲ剃リ給フ、玉葉

權大納言兼右近衛大將平宗盛ノ上表ヲ却下ス、

公卿補任 參考源平盛衰記

最勝光院中ノ御塔ニ心柱ヲ立ツ、百練抄

三日、填星、五車卿星ヲ犯ス、玉葉 [參考] 和漢三才圖會

四日、法成寺御八講結願、玉葉

八日、皇子言仁ヲ親王トナス、權大納言平宗盛ヲ

勅別當ニ補ス、是日、法皇最勝光院御念佛結願、尋
デ、中宮御所ニ御幸アラセラル、玉葉 顯廣王記 一代

要記 皇代曆 皇代記 皇年代略記 類聚大補任 公卿補任 保曆問記

五九七

參考源平盛衰記

九日、言仁親王侍始、尋デ、立太子定アリ、玉葉

十一日、月次祭、是日、院御佛名、顯廣王記 玉葉

十二日、上西門院御佛名、玉葉

十三日、皇嘉門院、新造御堂御所ニ御幸アラセラル、玉葉

十五日、言仁親王ヲ立テ、皇太子ト爲シ、左大臣經宗ヲ東宮傳ニ、權大納言平宗盛ヲ春宮大夫ニ、

中納言藤原兼雅ヲ春宮權大夫ニ任ズ、玉葉 愚昧記

顯廣王記 百練抄 皇帝紀抄 皇代曆 一代要記 皇年代略記 類聚大補任 公卿補任 辨官補任 東宮坊官補任 皇代記 保曆間記

日吉社、重ネテ解ヲ上リテ、神殿改造ヲ請フ、玉葉

十七日、内御髮上、顯廣王記

二十日、法住寺殿ニ行幸アラセラレ、法皇、宇治ニ

御方違御幸アラセラル、玉葉

廿一日、法住寺殿ヨリ還幸アラセラル、法皇モ亦、

宇治ヨリ還御アラセラル、玉葉

廿二日、中宮、内裏ニ還御アラセラル、玉葉

廿三日、院往生講、尋デ、御遊アリ、玉葉 百練抄 御遊抄

廿四日、京官除目、源賴政ヲ從三位ニ敍ス、是日、皇

嘉門院御佛名、玉葉 一代要記 公卿補任

廿五日、盜犯四人ヲ禁庭ニ召シ、劫掠ノ狀ヲ御覽アラセラル、顯廣王記

廿六日、東寺灌頂、東寺長者補任

廿八日、除目下名、不堪佃田荒奏、是日、皇太子、内

裏ニ入御アラセラル、從三位藤原良通拜賀、玉葉

顯廣王記

廿九日、不堪佃田和奏、官所宛、位祿、施米、大糧等ノ定、玉葉

三十日、追儺、玉葉 楊囊抄

是歲、賀茂河合社造替遷宮、加茂社御造營寫書

治承三年己亥

正月 庚申 朔

一日、小朝拜、節會、諸院拜禮、玉葉 山槐記 保曆間記

二日、法皇御所法住寺殿ニ朝覲行幸アラセラル、

玉葉 山槐記 御遊抄

三日、殿上淵醉、檢非違使廳始、是日、東宮御戴餅ノ

儀アリ、山槐記 殿上燕醉部類

五日、敍位、是日、左近衛少將時寬姓顯、以下ニ、東宮

昇殿ヲ聽ス、玉葉 山槐記 公卿補任

從四位下行諸陵頭和氣貞統卒ス、山槐記 和氣氏系圖

六日、東宮御五十日儀、玉葉 山槐記 百練抄 御遊抄

七日、白馬節會、加敍アリ、又藤原賴基、同齊方ノ位

記ヲ停ム、是日、東宮所宛、玉葉 山槐記

八日、御齋會、後七日御修法、諸寺修正始、法皇、法

勝寺ニ御幸アラセラル、是日、東宮、卯杖ヲ獻ズ、

玉葉 山槐記 東寺長者補任 東寺長者續紙

十日、東宮帶刀給所ヲ宣下ス、山槐記

藤原長房元服ス、山槐記

齋宮功子内親王御母儀輔局卒ス、山槐記 玉葉 尊卑

分脈

十一日、齋宮功子内親王、御母儀ノ喪ニ依リテ、野

宮ヨリ退下シ給フ、是日、法皇、圓勝寺ニ御幸アラ

セラル、平清盛、院內、中宮、東宮ニ拜謁ス、山槐記 百

練抄 皇帝紀抄

法皇御物詣定、山槐記

十三日、強盜出雲前司藤原朝時及ビ其黨四人ヲ

獄ニ下ス、山槐記

十四日、御齋會竟、加持香水、諸寺修正竟、法皇、法

勝寺ニ御幸アラセラル、是日、僧事アリ、玉葉 山槐記

十五日、月食皆既、是日、犯人前武者所藤原爲澄ヲ

捕フ、玉葉 山槐記

十六日、踏歌節會、玉葉 山槐記

十七日、射禮、除目始、外記政始、檢非違使廳政始、

是日、中宮年首吉書、玉葉 山槐記

十八日、除目中夜、是日、東宮、七日ヲ限り、泰山府

君祭ヲ行ヒ給フ、玉葉 山槐記

十九日、除目入眼、玉葉 山槐記 公卿補任 一代要記 皇代曆

職事補任

廿二日、除目下名、院尊勝陀羅尼供養、是日、東宮御百日定、玉葉 山槐記 仁和寺御傳

高野山檢校執行濟俊頓滅ス、高野春秋 本朝高僧傳
三日、大原野祭、大神宮ノ穢ニ依リテ、明日ノ祈年祭ヲ延引セシム、玉葉 山槐記

廿三日、法住寺殿ニ御方違行幸アラセラル、從二位平時子ニ輦車ヲ聽ス、是日、春宮帶刀試、參議藤原定能拜賀、玉葉 山槐記 衛府長裝束抄 百練抄

五日、帶刀御覽、法皇、熊野ニ御幸アラセラル、是日、從三位左近衛中將藤原良通、著陣ス、玉葉 山槐記

廿六日、法住寺殿ニ於テ、呪師ヲ御覽アラセラル、上西門院、八條院モ亦、臨幸アラセラル、玉葉 山槐記 庭槐抄 百練抄

六日、伊勢大宮司ヲトス、玉葉
七日、春日祭使ヲ發遣ス、是日、政アリ、玉葉 山槐記
八日、春日祭、是日、法勝寺常行堂修二月會、玉葉 山槐記

廿八日、從三位藤原雅長及ビ左近衛少將藤原兼宗、慶賀ヲ申ス、山槐記 達幸故實抄

九日、釋奠、是日、春日祭使還立、玉葉 山槐記
十日、關白基房ノ室、東宮ニ參ル、依リテ輦車ヲ聽ス、玉葉 山槐記 達幸故實抄

廿九日、法皇、熊野御精進始、玉葉 山槐記
是月、權大納言平宗盛ノ春宮大夫ヲ罷ム、皇紀抄 公卿補任

十一日、春日社假殿遷宮日時定、是日、權中納言藤原實家、參議藤原定能、著陣ス、玉葉 山槐記 室町家八幡初參勘例

中宮大進藤原賴保卒ス、山槐記 尊卑分脈

二月 大 己丑 朔

十二日、春日社假殿遷宮、玉葉

二日、檢非違使廳始、別當平時忠出仕ス、山槐記

左大臣經宗、權大納言藤原實房等ト共ニ百塔ニ

禮ス、山槐記

御遊抄

十三日、園、韓神祭、是日、平清盛、珍本ヲ内裏ニ獻ズ、玉葉 山槐記

廿三日、權中納言藤原忠親、京中ノ百塔ニ禮ス、山槐記

十四日、勝光明院修二月會、是日、前山城守信家姓闕ヲ伊豆ニ流ス、玉葉 山槐記

廿四日、藤原經家ヲ齋院勅別當ニ補ス、玉葉
廿五日、御不豫、尋デ、平愈シ給フ、玉葉 山槐記

十六日、檢非違使別當平時忠著陣、使廳ノ政アリ、玉葉 山槐記

廿六日、祈年穀奉幣定、皇嘉門院御懺法結願、是日、權大納言右近衛大將平宗盛ヲ罷ム、玉葉 山槐記 保曆間記 公卿補任

十七日、轉輪院修二月會、玉葉

春日社廻廊上棟、興福寺略年代記 春日社記

十八日、金剛勝院修二月會、玉葉 山槐記

廿七日、關白基房、宇治第ニ移徙ス、山槐記

十九日、平野社行幸奉幣御讀經及ビ祈年祭奉幣延引等ノ由大被、又造宇佐宮炊殿、春日社廻廊等上棟日時勘申、是日、平野社行幸點地、又皇嘉門院御佛經供養、又御懺法始アリ、玉葉 山槐記

廿八日、侍臣ヲ紫宸殿ニ召シ、階前ノ花ヲ賞シ、詩ヲ賦セシメラル、是日、皇子貞守御誕生アラセラル、山槐記 百練抄 (參考) 尊卑分脈 女院小傳

二十日、祈年祭延引由大被、玉葉
前大僧都章實、寂ス、山槐記 尊卑分脈

權中納言藤原忠親、廳屋ヲ毀テ、因幡堂ニ施入ス、山槐記

廿一日、祈年祭、玉葉 山槐記

廿九日、祈年穀奉幣、二月、十一月上申日ヲ安藝伊

廿二日、皇太子御百日ノ儀アリ、玉葉 山槐記 百練抄

都岐島社祭祀式日ト定メ、官幣ニ預ラシメ、以テ

例ト爲ス、是日、京極殿燒亡ス、玉葉 山槐記 百練抄

三月大 己未 盡

一日、平野社行幸御祈トシテ、九社ニ奉幣ス、是日、
法皇、熊野ヨリ還御アラセラル、玉葉 山槐記

興福寺僧徒、逆修ヲ菩提院ニ行フ、山槐記

二日、多武峯怪異、洛中ニ光物アリ、玉葉 山槐記 百練抄

三日、宇治一切經會、玉葉 山槐記

五日、七條殿ニ御方違行幸アラセラル、玉葉 山槐記

庭槐抄

六日、侍臣ヲシテ御前ニ蹴鞠ヲ行ハシメ給フ、山槐記

槐記

七日、七條殿ヨリ閑院ニ還御アラセラル、玉葉 山槐記

槐記

九日、大中臣祐成ヲ伊勢大宮司ニ補ス、玉葉 二所大神宮例文 御遊抄

神宮例文 御遊抄

十一日、小除目、敍位、藤原師家ヲ正四位下ニ敍シ、

權中納言藤原忠親ニ帶劔ヲ、侍從藤原忠經ニ禁色ヲ聽ス、是日、内大臣重盛ヲ罷ム、玉葉 山槐記 公卿補任

平清盛、河内大交野莊ヲ石清水八幡宮ニ寄進シ、
日御供米ト爲ス、石清水八幡宮記録 石清水末社記

十二日、平野社行幸御祈讀經定及ビ同大祓、是日、關白基房、多武峯怪異ヲトス、玉葉 山槐記

十三日、政、止雨奉幣、是日、平野社行幸御馬御覽、
玉葉 山槐記

玉葉 山槐記

十五日、平野社ニ行幸アラセラル、第二皇子、守修理大夫藤原信隆ノ第二徙リ給フ、玉葉 山槐記 庭槐抄 平野行幸次第

平野行幸次第

十八日、平清盛、舞女ヲ八條第二召ス、法皇、密ニ之ニ御幸アラセラル、山槐記 百練抄

山槐記

十九日、法皇、舞妓ヲ七條殿ニ召シテ、之ヲ觀給フ、
山槐記

二十日、法皇、石清水八幡宮ニ御幸アラセラレ、十日ヲ限り、御參籠アラセラル、山槐記 百練抄 石清水八幡宮

幡宮記録

廿二日、七條殿ニ御方違行幸アラセラル、夕拜至要抄

廿三日、左近衛中將正四位下藤原師家拜賀、山槐記

廿四日、石清水臨時祭、春日社遷宮定及ビ陣定、玉葉

葉 山槐記 蓬萊抄 石清水八幡宮記録 室町家八幡初參勤例

信濃善光寺災ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿五日、石清水臨時祭使還立、山槐記

廿六日、伊都岐島社ニ奉幣シ、中宮御平産ヲ報賽シ給フ、是日、祇陀林寺及ビ齋院卜定所災ス、玉葉

山槐記 百練抄

廿七日、齋院卜定所ノ燒亡、及ビ平野社ノ樹折レタルコトヲ軒廊ニトス、玉葉 山槐記

廿九日、列見、是日、左大臣經宗、左近衛大將藤原實定、權大納言藤原實房、同實國、中納言源資賢、權中納言藤原實家等、伊都岐嶋社ニ詣ツ、玉葉 山槐記

三十日、季御讀經定、玉葉

是月、前内大臣重盛、熊野ニ詣ツ、山槐記 百練抄 保曆間記 參考源平盛衰記

間記 參考源平盛衰記

四月小 己丑 盡

一日、平座、仁王會定、尋テ、内印ヲ行フ、是日、皇嘉門院、四天王寺ニ御幸アラセラル、玉葉 山槐記

二日、從三位源賴政拜賀、是日、皇嘉門院、四天王寺ニ於テ、舍利供養及ビ萬燈會ヲ行ヒ給フ、玉葉 山槐記

三日、賀茂社ニ奉幣シ、齋院卜定所ノ燒亡ヲ謝シ奉ル、尋テ、齋院諸司ニ入御ノ日ヲ卜定シ、又御禊日時及ビ同次第使點地日時等ヲ定ム、是日、女官除目、又政アリ、玉葉 山槐記

四日、皇嘉門院、四天王寺ヨリ還御アラセラル、玉葉

葉

五日、東獄ノ西邊燒亡ス、山槐記 清繼眼抄

六日、法皇、新熊野御精進屋ニ入御アラセラル、山槐記

槐記

七日、擬階奏、玉葉

八日、平野祭、依リテ灌佛ヲ停ム、院灌佛、是日、關白基房ノ室、日吉社ニ詣ヅ、玉葉 山槐記

九日、梅宮祭、是日、齋院、諸司ニ入御アラセラル、玉葉 山槐記 飾抄

十一日、皇子明、御誕生アラセラル、山槐記〔參考〕本朝皇胤紹運錄

十二日、興福寺別當前權僧正教緣寂ス、山槐記 歷代皇記裏書 興福寺略年代記 興福寺寺務次第 興福寺三綱補任 尊卑分脈

法印權大僧都勝賢、傳法灌頂ヲ阿闍梨寬昭ニ授ク、三寶院傳法灌頂私記 覺洞院僧正入壇資記 三寶院傳法血脈

十五日、延曆寺西塔相輪堂ヲ供養ス、華頂要略

十六日、仁和寺若宮道、出家シ給フ、法皇、之二御幸アラセラル、山槐記 仁和寺御傳 仁和寺宮御出家記部類 衛

府長裝束抄

十七日、法住寺殿ニ御方違行幸アラセラル、玉葉 山槐記

右大臣兼實ノ子良經、元服ス、玉葉 山槐記

五月 大 盡 戊午 朔

三日、左近衛府荒手結、是日、伊勢大神宮、筑前任吉社等ノ訴ニ觸ル、者九人、及ビ左衛門尉源忠清ヲ流ス、玉葉 山槐記 百練抄 吾妻鏡

中宮御不例、山槐記

四日、卿相以下ヲ殿上ニ召シ、詩ヲ賦セシム、玉葉 山槐記

五日、圓宗寺御八講始、是日、法皇、賀茂社ヨリ還御アラセラル、玉葉

七日、法皇、宇治ニ御方違御幸アラセラル、是日、中宮ノ御不例ヲ祈禳ス、山槐記

八日、圓宗寺御八講結願、是日、法皇、宇治ヨリ還御アラセラル、玉葉

十二日、右近衛府騎射、山槐記

十四日、祇園ノ僧清水寺ノ僧ト鬪ヒ、八坂塔ヲ焚ク、玉葉 山槐記 百練抄 興福寺略年代記 一代要記〔參考〕山城

十八日、皇女潔子、御誕生アラセラル、山槐記〔參考〕本朝皇胤紹運錄 尊卑分脈

十九日、賀茂祭警固召仰、玉葉 山槐記

廿一日、賀茂祭、玉葉 山槐記 飾抄

廿二日、解陣、玉葉

廿三日、法皇、賀茂社ニ御參籠アラセラル、是日、皇女御湯殿始、玉葉 山槐記 百練抄

中宮大進基親、及ビ左馬助爲保、恐懼ニ處ス、是日、法眼能圓ヲ法勝寺上座執行ニ、權律師源實ヲ學頭ニ補ス、山槐記 百練抄

廿四日、吉田祭、是日、皇女七夜御養産、玉葉 山槐記

廿五日、仁王會、玉葉 山槐記

廿六日、權僧正玄緣ヲ興福寺別當ニ補ス、山槐記 興福寺三綱補任 僧官補任 法中補任 歷代編年集成 歷代皇記裏書

興福寺略年代記

是月、沙門觀海、祇園三所權現御正體以下ノ奉造ノ爲ニ四方ニ勸進ス、三十五文集

東寺長者大僧正禎喜ヲ東宮護持僧ト爲ス、東寺長者補任 覺快法親王、高野山ニ御參詣アラセラル、山槐記 仁和寺御傳

名勝志

十五日、政、復任除目、玉葉 山槐記

十六日、右近衛府騎射、眞手結、是日、著欽政、山槐記 百練抄

十八日、尊勝寺灌頂、玉葉

十九日、強盜十二人ノ右手ヲ斬リ、獄ニ懸ク、玉葉 山槐記 百練抄

二十日、最勝講始、玉葉 山槐記

廿一日、法勝寺千僧御讀經及ビ賑給定、尋テ、千僧度緣請印アリ、玉葉 山槐記

廿四日、最勝講結願、權少僧都藏俊ヲ興福寺權別當ニ補ス、玉葉 山槐記 興福寺略年代記

多武峯聖靈院四面廻廊ヲ造營ス、多武峰略記

多武峯聖靈院四面廻廊ヲ造營ス、多武峰略記

廿五日、法勝寺千僧御讀經始、法皇之ニ御幸アラセラル、玉葉 山槐記 百練抄

前内大臣止二位平重盛出家ス、玉葉 山槐記 公卿補任

皇帝紀抄 參考源平盛衰記

廿八日、七條殿ニ御方違行幸アラセラル、是夜地震、玉葉 山槐記 庭槐抄

六月 小 盡
戊子 朔

一日、左近衛少將平清經ニ、禁色ヲ聽ス、是夜地震、玉葉 山槐記

二日、伊勢大神宮修理及ビ川合社造營日時定、是日、關白基房、宇治ニ遊ビ、前太政大臣忠雅、四天王寺ニ詣ヅ、玉葉 山槐記

右大臣兼實ノ從者國貞丸ヲ召籠ニ處ス、玉葉

三日、法皇御所山科殿成り、是日、徙御アラセラル、前右近衛大將平宗盛、法性寺ノ側ニ小堂ヲ供養

玉葉 百練抄

シ、亡室ノ冥福ヲ祈ル、山槐記

五日、延曆寺堂衆學徒蜂起シテ相戰フ、玉葉 皇代曆
歷代皇記寫書

六日、法皇、山科殿ヨリ還御アラセラル、玉葉

七日、祇園御輿迎、是日、前太政大臣忠雅、伊都岐島社ニ詣ヅ、玉葉 山槐記

十日、御體御卜奏、是日、第二皇子御百日ノ儀アリ、玉葉 山槐記

院ニ於テ、山門鬪爭ノ事ヲ議ス、玉葉
十一日、月次祭、神今食、玉葉 庭槐抄

入道前藏人仲行姓闕卒ス、山槐記

十二日、土御門第二行幸アラセラレ、祇園神輿ヲ遊ケ給フ、中宮、東宮モ亦、行啓アラセラル、玉葉 山槐記 庭槐記

十四日、祇園御靈會、玉葉 山槐記

洛中旋風發リ、廬舍顛倒シ、人畜死傷ス、參考源平盛衰記

十五日、祇園臨時祭、是日、川合社遷宮日時定、玉葉

十六日、川合社假殿遷宮、玉葉 山槐記

十七日、皇太子、法住寺殿ニ行啓アラセラル、是日、地震、玉葉 山槐記

故攝政基實室從三位平盛子薨ズ、玉葉 山槐記 尊卑分

脈 兵範記 參考源平盛衰記

十八日、關白基房、宇治ニ赴ク、玉葉

十九日、民部卿藤原資長ノ從者、源雅賴ノ從者ヲ傷ク、是日、平盛子ヲ葬ル、玉葉 山槐記 〔參考〕 愚管抄

二十日、平盛子ノ薨去ニ依リテ、御錫紵ノ事ヲ議ス、山槐記

廿一日、法皇、密ニ入道前内大臣平重盛ノ小松第二御幸アラセラレ、重盛ノ病ヲ訪ハセ給フ、山槐記

〔參考〕 山城名勝志

廿二日、前太政大臣忠雅、伊都岐島社ヨリ歸京ス、山槐記

廿四日、國忌、皇太子、法住寺殿ヨリ、土御門第二還

治承三年七月

啓アラセラル、玉葉

廿六日、日前國懸社寶殿造營日時定、玉葉 〔參考〕 延喜式

廿八日、土御門第ヨリ、閑院ニ還幸アラセラレ、中宮モ亦、行啓アラセラル、是日、最勝寺御八講始、法皇、之ニ御幸アラセラル、玉葉

廿九日、大祓、是日、平盛子ノ薨奏贈位等ノ事ヲ議ス、玉葉

七月 小 盡
丁巳 朔

一日、上西門院、八條院、並ニ鳥羽ニ御幸アラセラル、玉葉

前少納言信季姓闕卒ス、玉葉

二日、藤原賴輔ノ南直廬災ス、玉葉

三日、法皇、法勝寺ニ御幸アラセラレ、上西門院、八條院、鳥羽ヨリ還御アラセラル、玉葉

五日、法皇、法勝寺ニ御幸アラセラル、玉葉

六日、法住寺殿ニ御方違行幸アラセラル、庭槐抄
 大納言源定房、大神宮怪異ニ關スル文書ヲ右大臣兼實ニ送ル、玉葉
 七日、法皇、法勝寺ニ御幸アラセラル、玉葉
 將軍塚鳴動ス、是夜、大地震、參考源平盛衰記
 八日、最勝光院御八講始、玉葉
 十日、法皇、五十日ヲ限り、御逆修ヲ一條殿ニ行ハシメ給フ、玉葉 百練抄
 十二日、最勝光院御八講結願、玉葉
 權大納言藤原邦綱ヲ罷ム、公卿補任 玉葉
 十六日、法皇、孔雀經法ヲ東寺ニ修セシム、東寺長者補任
 十七日、院判官代源有雅殺サル、百練抄
 二十日、藤原光長ヲ藏人ニ補ス、是日、平盛子薨奏、正一位ヲ贈リ、廢朝三日、玉葉 百練抄
 廿一日、地震、玉葉

廿二日、御不豫、玉葉 百練抄
 廿五日、兵ヲ遣シテ、延曆寺堂衆ノ山谷ニ據レル者ヲ討タシメ、京師ニ入ル者ハ、檢非違使ヲシテ搜索セシメ、諸國ニ竄走スル者ハ、宰吏ヲシテ之ヲ捕ヘシム、玉葉
 參議源通親、勅ヲ奉ジテ、天下沽價ノ法ヲ定ムベキコトヲ、右大臣兼實ニ諮ル、玉葉
 廿六日、秋季御讀經始、玉葉
 廿九日、前内大臣正二位平重盛薨ズ、玉葉 山槐記 百練抄 歷代編年集成 一代要記 保曆間記 如是院年代記 公卿補任 尊卑分脈 愚管抄 十訓抄 參考源平盛衰記
 是月、疫癘行ハル、稱シテ錢病ト云フ、百練抄
 法勝寺ノ池ニ奇蓮ヲ生ズ、皇紀抄
 八月大 丙戌 朔 盡
 三日、孔雀經法ヲ修ス、左記 仁和寺御傳
 延曆寺堂衆蜂起ス、皇紀抄

十日、小除目、是日、右大臣兼實、勅ニ依リテ、東宮御刀ヲ奉獻ス、玉葉
 十二日、御讀經日時僧名ヲ下ス、上卿故實
 十三日、五壇法ヲ修ス、左記
 十五日、石清水放生會、玉葉 石清水八幡宮記錄
 十六日、仗議、法性寺座主、延曆寺堂衆ノ難ヲ避ク、是日、内裏犬死穢アリ、玉葉
 廿二日、祈年穀奉幣、玉葉
 廿三日、洪水、是日、成菩提院御念佛結願、玉葉 高野春秋
 前高野山檢校禪信寂ス、
 廿五日、中宮所宛、是日、從五位下藤原良經ニ、禁色昇殿ヲ聽ス、玉葉 達幸故實抄
 轉法輪法ヲ修ス、左記
 廿七日、石清水八幡宮ニ行幸アラセラル、玉葉 庭槐抄 石清水八幡宮記錄 鳩嶺年代記
 廿九日、院御逆修七七日曼陀羅供、玉葉
 三十日、院御逆修結願、依リテ輕囚ヲ免ス、是日、新

制三十二條ヲ下ス、玉葉 百練抄 庭槐抄 大夫尉義經長申記
 是月、禁中ニ落書アリ、玉葉
 九月小 丙辰 朔 盡
 二日、院供花始、玉葉
 五日、賀茂社ニ行幸アラセラル、玉葉 庭槐抄 一代要記 公卿補任 辨官補任
 八日、美作守藤原基輔ニ、内昇殿ヲ聽ス、玉葉 一代要記 華頂要略
 九日、延曆寺學徒、七社神輿ヲ奉ジテ、中堂ヲ侵ス、
 十日、法皇、上西門院、八條院及ビ皇太后ト御共ニ、四天王寺ニ御幸アラセラル、玉葉
 十一日、兵ヲ遣シテ、延曆寺堂衆ヲ討タシム、玉葉
 十八日、唐本一切經ヲ興福寺ニ供養ス、依リテ、其儀ヲ御齋會ニ准ゼシム、玉葉 興福寺略年代記
 十九日、檢非違使ヲ分番シテ、東西市ニ遣シ、新制沽價法ニ違背スル者ヲ勘糺セシム、大夫尉義經長申記

皇嘉門院恒例御舍利講、玉葉

廿一日、法皇及比上西門院、八條院、四天王寺ヨリ還御アラセラル、玉葉

廿二日、權大納言藤原實國ヲ伊勢ニ遣シ、宸筆宣命ヲ奉ラシム、玉葉 二所大神宮例文 伊勢公卿勅使雜例

廿四日、祭主大_{系圖}中臣師親卒ス、二所大神宮例文 大中臣氏

廿九日、右大臣兼實、從三位源賴政等、歌合ヲ行フ、玉葉

是月、流人前法勝寺執行俊寛、鬼界島ニ寂ス、尊卑

分脈 參考源平盛衰記 高野春秋〔參考〕地理纂考

十月 大 酉 朔 盡

一日、平座、玉葉

三日、蓮華王院總社祭、玉葉 山槐記

參議平教盛ヲシテ、兵ヲ率キテ、延曆寺堂衆ヲ討チ、其領近江三ヶ莊ヲ燒カシム、山槐記 百練抄

四日、九條院判官代義兼_{姓闕}佛堂ヲ近江ニ供養

ス、山槐記

七日、皇嘉門院御懺法結願、是日、官奏及比圓宗寺最勝會日時僧名定、玉葉

左近衛中將藤原師家直衣始、山槐記

八日、左近衛中將藤原師家ヲ從三位ニ敘ス、玉葉

山槐記 皇帝紀抄 一代要記 公卿補任

九日、京官除目、右兵衛督藤原成範、左大辨藤原俊經ヲ罷ム、是夜、中宮、八條第二行啓アラセラル、玉葉

山槐記 一代要記 皇代曆 公卿補任 辨官補任 職事補任

十日、除目下名、玉葉 山槐記 公卿補任 職事補任

仁和寺若宮_{法道}御受戒アラセラル、是日、中宮、八條殿ニ行啓アラセラル、玉葉 山槐記 仁和寺御傳 東寺王代

記

十一日、法住寺殿ニ御方違行幸アラセラル、玉葉

山槐記

十二日、法住寺殿ヨリ還御アラセラル、玉葉 山槐記

十三日、法皇、石清水八幡宮ニ御參籠アラセラル、

玉葉 山槐記

十七日、近衛高倉燒亡ス、山槐記

十八日、學生ヲ御書所ニ會シ、當座ニ詩ヲ賦セシム、是日、白河東光寺旅所燒亡ス、山槐記

是日、右大臣兼實、前皇太后宮大夫藤原俊成、前大宰大貳藤原重家、從三位源賴政等ノ歌人ヲ會シテ、歌合ヲ行フ、玉葉 右大臣家歌合

內藏頭藤原經房ヲ罷ム、皇代曆

太皇太后宮大進藤原光經卒ス、玉葉 山槐記 尊卑分脈

十九日、平知盛、平經盛ヲシテ、延曆寺堂衆ヲ討タシム、玉葉

右中辨藤原經房ヲ藏人頭ニ補ス、一代要記

廿一日、小除目、是日、從三位權中納言藤原師家ヲ正三位ニ敘ス、玉葉 山槐記 公卿補任 歷代皇記裏書

廿四日、法皇、石清水八幡宮ヨリ還御アラセラル、是日、法勝寺大乘會始、玉葉 山槐記

廿五日、大納言藤原宗家、權中納言正三位藤原師

家、參議藤原光能等拜賀、玉葉 山槐記

藏人頭左中辨藤原經房ヲ延曆寺ニ遣シ、旨ヲ諭シテ、堂衆學徒ト相和セシム、堂衆肯ゼズ、山槐記

廿六日、檢非違使廳ヲシテ、市塵勘糺ノ結番ヲ定メシム、大夫尉義經長申記

三十日、觀音院灌頂、是ヨリ先、僧正房覺ヲ六勝寺權別當ニ補ス、是日、房覺拜堂ス、山槐記 玉葉

是月、修理大夫藤原信隆、病ニ依リテ、職ヲ辭ス、

公卿補任

京師強盜橫行ス、山槐記

攝津箕面寺常行堂供養、願文集

十一月 小 卯 朔 盡

一日、權大納言源資賢拜賀、是日、權中納言藤原師家直衣始、玉葉 山槐記

二日、延曆寺西塔學徒、横河ノ堂衆ヲ襲ヒテ敗退ス、山槐記 玉葉 百練抄

三日、權中納言藤原朝方拜賀、是日、權大納言平時忠第ノ邊及ビ七條坊門東洞院燒亡ス、玉葉 山槐記
五日、中宮、八條殿ヨリ、内裏ニ還啓アラセラル、是日、諸社諸寺ヲシテ、延曆寺僧徒ノ鎮靜ヲ祈ラシム、山槐記 百練抄

侍從藤原良經拜賀、玉葉

六日、春日祭、玉葉 山槐記

七日、七社ニ奉幣シテ、僧徒ノ事ヲ祈ル、是夜、大地震、玉葉 山槐記 百練抄 皇帝紀抄 歷代皇記裏書 一代要記 保曆

間記 參考源平盛衰記

八日、正三位權中納言藤原師家拜賀、玉葉

正三位修理大夫藤原信隆出家ス、山槐記 公卿補任

十日、東宮藏人藤原時經ヲ内非藏人ニ補ス、山槐記

十一日、五節舞姫參入、尋テ、帳臺試アリ、玉葉 山槐記

天台座主無品覺快法親王ヲ罷ム、山槐記 皇帝紀抄 歷代皇記裏書 天台座主記 華頂要略

代皇記裏書

十二日、殿上淵醉、御前試、是夜、鎮魂祭、玉葉 山槐記
十三日、新嘗祭、童御覽、是日、中宮淵醉、玉葉 山槐記
十四日、豐明節會、玉葉

平清盛、兵數千ヲ率キテ、俄ニ福原ヨリ至ル、洛中騷然タリ、玉葉 山槐記 清繼眼抄 歷代皇記裏書 保曆間記 參考源平盛衰記

十五日、法皇、法印靜憲ヲ西八條第二遣シ、平清盛ヲ慰諭セシム、玉葉 百練抄 參考源平盛衰記

平清盛ノ奏請ニ依リ、關白基房ヲ罷メ、右近衛中將藤原基通ヲ内大臣ニ任ジ、關白ト爲シ、權中納言右近衛中將藤原師家ヲ罷ム、是日、仁和寺舍利會、玉葉 山槐記 兵範記 清繼眼抄 愚管抄 百練抄 神皇正統記

一代要記 興福寺略年代記 皇帝紀抄 歷代皇記裏書 保曆間記 公卿補任 攝關補任次第 紹運要略 類聚大補任 參考源平盛衰記

十六日、前僧正明雲ヲ還任シ、又天台座主ニ還補ス、是日、寶幢院檢校法眼忠雲ヲ罷ム、玉葉 山槐記 清繼眼抄 百練抄 一代要記 皇帝紀抄 保曆間記 歷代皇記裏書 法

源平盛衰記

中補任 天台座主記 華頂要略

十七日、清盛ノ奏請ニ依リテ、太政大臣師長、權大納言源資賢以下北面等、法皇ニ昵近セル者三十九人ノ官職ヲ停ム、關白基通、藤原良通以下敘位任官差アリ、玉葉 山槐記 清繼眼抄 保曆間記 百練抄 皇帝紀抄 興福寺略年代記 一代要記 皇代曆 歷代皇記裏書 公卿補任 辨官補任 職事補任 尊卑分脈 攝關補任次第 類聚大補任

延曆寺學徒、七社神輿ヲ本社ニ奉還ス、一代要記
入道前修理大夫藤原信隆薨ズ、山槐記 尊卑分脈 公卿補任 謚號雜記 古今著聞集

大小星相鬪フ、山槐記
十八日、吉田祭、玉葉 兵範記

清盛ノ奏請ニ依リテ、前關白基房ヲ大宰權帥ト爲シ、前太政大臣師長ヲ尾張ニ、前權大納言源資賢ヲ丹波ニ、左衛門佐平業房ヲ伊豆ニ流シ、源雅賢、同資時、同信賢等ヲ關外ニ追放ス、尋テ、小除目アリ、關白基通ニ隨身兵仗ヲ賜フ、玉葉 山槐記 兵範

記 清繼眼抄 百練抄 一代要記 皇帝紀抄 皇代曆 歷代皇記裏書 公卿補任 攝關補任次第 紹運要略 辨官補任 職事補任 參考源平盛衰記

十九日、賀茂臨時祭、山槐記

小除目、權大納言藤原隆季ヲ大宰帥ニ、左近衛中將藤原良通ヲ權中納言ニ任ジ、右近衛大將ヲ兼ネシム、是日、右兵衛尉藤原基能ノ位記ヲ止メ、檢非違使中原清重、同重成、安倍久忠ヲ解官ス、玉葉 山槐記 皇帝紀抄 公卿補任

右大臣兼實、百日ヲ限り、春日社ニ奉幣シ、不空羅索經ヲ南圓堂ニ供養シ、又、心經千卷ヲ供養ス、玉葉

二十日、清盛、法皇ノ院政ヲ停メ、鳥羽殿ニ幽シ奉ル、玉葉 山槐記 保曆間記 百練抄 皇帝紀抄 歷代皇記裏書 參考源平盛衰記 石清水末社記

前越中守平盛俊、強盜ヲ捕獲ス、百練抄
廿一日、大宰權帥藤原基房ノ配所鎮西ヲ改メテ、備前ト爲ス、基房出家ス、是日、清盛、大夫尉大江遠

業及ビ前備後守爲行、姓闕前上總守爲保ヲ殺シ、廳年預宗家ヲ捕フ、玉葉 山槐記 百練抄 皇曆紀抄 公卿補任

紹運要略 參考源平盛衰記

廿二日、大原野祭、玉葉 山槐記

延曆寺兩黨和平ス、百練抄

廿三日、宿衛ノ武士ノ往反上下スルコトヲ禁ズ、百練抄

廿四日、清盛、武士ヲ遣シ、入道前右衛門尉西景姓闕ヲ捕ヘシメ、雜穀其他ヲ掠奪ス、山槐記

廿五日、以仁王ノ御領常興寺ヲ、天台座主明雲ニ屬セシム、山槐記

廿六日、關白基通、六條第二徙リ、始メテ吉書ヲ覽ル、玉葉 山槐記 兵範記

廿七日、興福寺僧徒蜂起シテ、前關白基房ヲ還京セシメラレンコトヲ請フ、山槐記 玉葉

廿八日、關白基通、家司職事ヲ補シ、尋デ、長者印朱器臺盤所券等ヲ受ク、前關白基房ノ文書ヲ内裏

ニ納ム、山槐記 兵範記 百練抄

從三位源賴政出家ス、公卿補任 一代要記

廿九日、法成寺御八講始、玉葉

春宮月啓、山槐記

是月、五條河原ニ奇兒アリ、手足各四アリ、山槐記

十二月大甲申 朔盡

二日、是ヨリ先、平業房、清水寺ニ匿ル、是日、清盛捕ヘテ之ヲ鞫問セシム、山槐記

四日、關白基通、文書ヲ内覽ス、玉葉

六日、右大臣兼實ヲシテ、京官除目ノ要ヲ注セシム、玉葉

藤原季隆ヲ關白家司勾當ニ補ス、山槐記

七日、關白内大臣基通拜賀、玉葉 山槐記 兵範記

權少僧都實宴ヲ寶幢院檢校ニ補ス、法中補任

八日、官奏、是日、關白基通直衣始、參議左大辨藤原長方、藏人頭左中辨藤原經方ヲ後院別當ニ補ス、

玉葉 山槐記 兵範記 辨官補任

右近衛大將藤原良通侍始、玉葉

十一日、左衛門佐親雅姓闕等ニ春宮昇殿ヲ聽シ、藤原邦隆等ヲ藏人ニ、源康資等ヲ帶刀ニ補ス、山槐記
前太政大臣師長、尾張國ニ於テ出家ス、公卿補任 歷

代編年集成

十二日、小除目、是日、近江守平親房、丹波守藤原行雅ヲ解官ス、玉葉 山槐記 公卿補任

十三日、春宮大夫藤原忠親、慶賀ヲ申ス、山槐記

十四日、内侍所御神樂、是日、勸學院學生、關白基通ノ第二參賀ス、玉葉 山槐記

右近衛大將藤原良通拜賀、玉葉 山槐記

後院廳始、百練抄

十五日、春宮亮平重衡、左近衛中將ヲ辭ス、聽サズ、山槐記

十六日、東宮、西八條第二行啓アラセラル、尋デ、明年御魚味御著袴定ヲ行フ、玉葉 山槐記 百練抄

十七日、官奏、是日、關白北政所始、玉葉 山槐記

僧正明雲ヲ護持僧ト爲シ、如意輪法ヲ修セシム、護持僧次第 垂頂要略

十八日、過狀政、山槐記

十九日、御佛名、東宮八十島使、是日、關白内大臣基通著陣、北政所々宛、右近衛大將藤原良通直衣始、玉葉 山槐記 兵範記

玉葉 山槐記

東寺灌頂、東寺長者補任

二十日、定考、玉葉 山槐記

廿一日、賀茂齋院範子内親王御著袴、百練抄

官奏、是日、右近衛大將藤原良通著陣、關白基通上表、玉葉

廿五日、内裏ニ穢アリ、玉葉

廿六日、荷前定、櫻囊抄

廿七日、皇嘉門院御佛名、玉葉

廿八日、右近衛大將藤原良通讀書始、玉葉

三十日、追儼、是日、小除目、僧事、玉葉

是冬、權中納言藤原成範ノ女小督出家ス、山槐記

尊卑分脈 參考源平盛衰記〔參考〕尊卑分脈

是歲、伊勢大神宮假殿遷宮、遷宮事略

房覺ヲ園城寺長吏ニ補ス、僧官補任

治承四年庚子

正月小寅朔

一日、四方拜、小朝拜、節會、玉葉 保曆間記 年中行事抄 參

考源平盛衰記

二日、東宮御戴餅、是夜、九條富小路燒亡ス、玉葉

五日、敍位、玉葉

七日、白馬節會、玉葉

八日、御齋會、後七日御修法及ビ諸寺修正始、東寺

長者補任 東寺長者續紙 玉葉

十日、閑院殿ノ穢ニ依リテ、權大納言藤原邦綱ノ

五條東洞院第二行幸アラセラル、中宮、東宮モ亦、

行啓アラセラル、玉葉 百練抄 歷代皇記裏書

十三日、法眼慧範ヲ法隆寺別當ニ補ス、法隆寺別當次

第

十四日、御齋會竟、僧事、玉葉 仁和寺誦院家記

二十日、東宮御著袴及ビ御眞菜ノ儀アリ、玉葉 山槐

記 百練抄 皇代曆 皇代記 皇年代略記 達幸故實抄 參考源平盛衰

記 一代要記 公卿補任

廿二日、右近衛大將藤原良通、廳奏ニ加判ス、玉葉

廿三日、權中納言藤原兼雅、平賴盛、參議藤原定能

ニ出仕ヲ聽シ、前權中納言源雅賴ニ本座出仕ヲ、

散位藤原親信ニ朝參ヲ聽ス、是夜、西京火アリ、

玉葉 一代要記 公卿補任

廿四日、皇居ヲ後院町ニ造ル可否ヲ、右大臣兼實

ニ諮ル、玉葉

廿六日、除目始、玉葉

廿七日、除目中、諸卿明經道ノ申請セル除目ニ、

内官ヲ舉スベキ事ヲ議ス、玉葉 百練抄

囚人ヲ刑ス、斬ニ處スル者十五人、手ヲ截ルモノ

二十一人、百練抄

廿八日、除目入眼、玉葉 一代要記 皇代曆 公卿補任 職事補

任 辨官補任 類聚大補任〔附錄〕玉葉

二月大癸未朔

一日、春日祭使ヲ發遣ス、玉葉 山槐記 達幸故實抄

二日、春日祭、玉葉 山槐記

春日神主時盛卒ス、山槐記

三日、正二位權中納言藤原忠親著陣、山槐記

四日、祈年祭、玉葉

仁王經法ヲ修ス、仁和寺御傳

五日、釋奠、御不豫、權大納言藤原隆季、大藏卿藤原

雅隆ヲ後院別當ニ補ス、是日、正二位權中納言藤

原忠親直衣始、玉葉 山槐記 明月記

六日、寶莊嚴院修二月會、山槐記

七日、内侍所ノ鈴、故ナクシテ墜ツ、山槐記

九日、大原野祭、玉葉 山槐記 明月記

十日、土御門北町燒亡ス、玉葉 山槐記

治承四年二月

十一日、關白基通ノ弟忠良元服ス、玉葉 山槐記 明月記

十二日、關白基通、諷誦ヲ白河殿ニ行フ、山槐記

十三日、中宮御不例、山槐記

十四日、五條坊門萬里小路燒亡ス、玉葉 山槐記 明月

記 清齋眼抄

十六日、五條第ヨリ、閑院ニ還御アラセラル、中宮、

東宮、留リ給フ、是日、列見、玉葉 山槐記 明月記 百練抄

歷代皇記裏書

十八日、關白基通上表、是日、旋風、五條京極燒亡

ス、山槐記 吉記抄出 明月記

故關白忠通ノ佛事アリ、玉葉

廿日、直物、玉葉

平清盛、攝津大輪田泊ヲ修築センコトヲ請フ、勅

シテ之ヲ聽ス、玉葉 山槐記

廿一日、御讓位アラセラル、玉葉 山槐記 吉記抄出 吉記

明月記 嚴島御幸之記 百練抄 皇代紀抄 歷代編年集成 保曆間記

皇代曆 歷代皇記裏書 紹運要略 皇代記 皇年代略記 如是院年代記

東寺長者補任 元亨釋書 高野春秋 年中行事抄

安徳天皇

治承四年庚子

二月 大 癸未 盡

廿一日、前權大納言藤原邦綱ノ五條第二於テ、御受禪アラセラル、關白基通ヲ攝政ト爲シ、權大納言藤原隆季、同實國、參議藤原長方ヲ新院ノ別當ニ補ス、玉葉 山槐記 踐祚部類抄 歷代編年集成 皇帝紀抄 皇代曆

皇代記 皇年代略記 公卿補任 興福寺略年代記 類聚大補任 一代要記 職事補任 紹運要略 攝關補任次第 參考源平盛衰記 保曆間記

廿二日、中宮、閑院ニ行啓アラセラル、山槐記 明月記
廿四日、皇嘉門院御堂修二月會、是日、新院別當判官代ヲ加補ス、玉葉 山槐記 一代要記 公卿補任

廿五日、皇嘉門院火災祭、玉葉

廿六日、皇嘉門院御懺法結願、玉葉

廿七日、上皇ニ太上天皇ノ尊號ヲ上リ、又御隨身ヲ奉ル、尋デ、新院廳始アリ、是日、外記及ビ檢非違

使廳政始、又始メテ七瀬祓ヲ行フ、玉葉 山槐記 皇帝

紀抄 皇代記 皇年代略記

廿八日、左衛門權佐藤原光長ヲ藏人ニ補ス、山槐記

職事補任

是月、法皇御不豫、山槐記

前伊勢大宮司大中臣公俊卒ス、二所太神宮例文 大中臣

氏系圖

三月 大 癸丑 盡

一日、乳母帥典侍、輕服ニ依リテ、内裏ヨリ退出ス、

山槐記

二日、開關解陣、太上天皇詔書覆奏、是日、藏人藤原

光長拜賀、玉葉 山槐記

三日、御燈ヲ停ム、是日、宇治一切經會、玉葉 山槐記

上皇嚴島御幸神寶始日時定、嚴島御幸之記

四日、坊官除目、上皇、權大納言藤原邦綱ノ土御門

第二御幸アラセラル、中宮モ亦、行啓アラセラル、

是日、尊號ノ報書ヲ上ル、尋デ、嚴島御幸神寶始ヲ

行ヒ、又七瀬祓ヲ行ハセラル、玉葉 山槐記 明月記 御

幸始部類記 嚴島御幸之記

五日、寶劍壺切ヲ上皇ニ獻ル、是日、攝政基通、宇

治平等院ニ詣ツ、玉葉 山槐記 明月記

七日、攝政基通、内裏及ビ八省院、太政官廳、神祇官等ヲ歷覽ス、玉葉 山槐記

九日、政、女官除目、伊勢奉幣及ビ大祓、御即位、同行事所始、擬侍從等定、上皇ノ報書ニ勅答シ給フ、是日、西北舍ニ御方違アラセラル、玉葉 山槐記 皇代

記 皇年代略記

十二日、三條坊門東洞院燒亡ス、山槐記

十四日、禁中ニ怪異アリ、山槐記

十六日、法皇、去年定メタル所ノ仗儀定文及ビ間注記ヲ、右大臣兼實ニ下シテ、伊勢大神宮司改任ノ可否ヲ諮ハシメ給フ、玉葉

賀茂上社及ビ海橋立池ニ、蝦蟇ト蛇ト鬪ヒ、蛇ヲ噉殺ス、百練抄

十七日、洛中ニ流言アリ、園城寺僧徒、延曆寺興福

治承四年三月

寺僧徒ト牒シ、法皇、上皇ヲ擁シテ、京ヲ去ラント

スト、依リテ、京師騷擾ス、平宗盛、中宮亮平通盛、

但馬守平經正ヲシテ、法皇ノ鳥羽殿ヲ、左兵衛督

平知盛ヲシテ、上皇ノ御所ヲ警護セシム、玉葉 山

槐記

參考源平盛衰記

上皇、平時子ノ八條大宮第二御幸アラセラレ、中

宮、内裏ニ入御アラセラル、玉葉 山槐記 嚴島御幸之記

參考源平盛衰記

十八日、平清盛、僧徒ヲ懼レ、法皇ヲ故前備後守爲

行ク^{姓闕}ノ五條大宮第二遷シ奉ラントス、故アリテ

果サズ、玉葉 山槐記

十九日、上皇、嚴島ニ御幸アラセラル、玉葉 山槐記

明月記 嚴島御幸之記 保曆間記 百練抄 皇年代略記 參考源平盛衰

記

御不豫ニ依リテ、八條殿行幸ヲ延引アラセラル、

是日、禁中怪異ヲ藏人所ニトス、玉葉 山槐記

廿一日、權中納言藤原忠親、京中百塔ヲ禮ス、山槐

記

廿三日、西北廊ニ御方違アラセラル、山槐記
地震、玉葉 山槐記 百練抄

廿五日、四條坊門焼亡ス、山槐記

廿七日、七瀬御祓、山槐記

是月、多武峯別院南院堂成ル、多武峯略記

四月小 癸未 朔

一日、平座、擬階奏、是日、齋院御禊前駈定、又小除
目、七條西洞院焼亡ス、玉葉 吉記 明月記 清齋眼抄 達幸

故實抄

二日、平野祭、松尾祭、玉葉 吉記

三日、梅宮祭、伊勢大神宮ニ奉幣シ、御即位ノ由ヲ
告ゲ奉ル、是日、右大臣兼實、自筆金泥心經ヲ春日
社ニ供養ス、玉葉 吉記

五日、前上總介爲保性ノ鹽小路東洞院第災ス、

山槐記

七日、賀茂社ニ奉幣シテ、齋王不替ノ由ヲ告ゲ奉

ル、是日、齋院御禊點地、又御禊及ビ祭日ヲ勘申ス、
中宮大神祭御禊アリ、又宮主卜部兼濟ヲシテ、神
祇官ニ參籠シ、九日遷幸ノ無事ヲ祈ラシム、玉葉

山槐記 吉記

右大臣兼實、自筆諸經ヲ供養ス、玉葉

八日、石清水臨時祭定、攝政基通、御即位禮服ヲ檢
ス、又左大臣經宗、内裏殿庭ノ裝束ヲ檢知ス、是日、
灌佛ヲ停ム、玉葉 山槐記 吉記

上皇嚴島御幸賞ヲ行ヒ、及ビ神主以下加階差ア
リ、山槐記 嚴島御幸之記 參考源平盛衰記

九日、五條東洞院第ヨリ、内裏ニ遷幸アラセラル、
是日、上皇、嚴島ヨリ還御アラセラル、玉葉 山槐記

吉記 明月記 嚴島御幸之記 保曆間記 百練抄 參考源平盛衰記

源賴政、密ニ以仁王ニ勸メ奉リ、平氏追討ノ令旨
ヲ請ヒ、源行家ヲシテ、諸國ノ源氏ニ傳ヘシム、玉

葉 吾妻鏡 神皇正統記 保曆間記 參考源平盛衰記

十一日、上皇、平賴盛ノ八條室町ノ第二御幸アラ

セラル、明月記

十二日、齋院御禊、玉葉 山槐記 明月記

十四日、賀茂祭警固召仰、是夜、中宮、上皇ノ御所ニ
行啓アラセラル、山槐記 明月記

十五日、賀茂祭、玉葉 山槐記 明月記

十六日、政始、賀茂祭使還立、解陣、是日、中宮、上皇
ノ御所ニ行啓アラセラル、玉葉 山槐記

十七日、京師ニ、平清盛ヲ呪咀スルモノアリトノ
流言アリ、玉葉

十八日、日吉祭、玉葉 山槐記

十九日、攝政基通、紫宸殿ヲ巡檢ス、山槐記

二十日、正四位下行左近衛少將源有房以下ニ昇
殿ヲ聽ス、山槐記

廿一日、御即位敍位、玉葉 山槐記 吉記 皇帝紀抄 一代要記

公卿補任 類聚大補任

廿二日、紫宸殿ニ御即位ノ儀ヲ行ハセ給フ、是日、
攝政從一位基通、慶賀ヲ申ス、玉葉 山槐記 吉記 明月

治承四年四月

記 百練抄 歷代編年集成 皇代曆 皇代記 皇年代略記 類聚大補任
御即位次第 天祥禮記職掌錄 桃華藥葉 裝束抄 三僧記類聚 參考源
平盛衰記

廿三日、石清水臨時祭御馬御覽、是日、主殿官人懈
怠ノ者ヲ拘セシム、山槐記 吉記

廿四日、散位從五位下藤原忠光卒ス、山槐記 尊卑分脈

廿六日、石清水臨時祭、是日、御竈神ヲ奉遷ス、玉葉

山槐記 吉記 明月記 石清水八幡宮記錄

廿七日、臨時祭使還立、大嘗會國郡卜定、祈年穀奉
幣定、七瀬御祓、是日、中宮、大内ヨリ、上皇ノ御所
ニ行啓アラセラル、又、勸學院學生、攝政基通ノ第
ニ參賀ス、玉葉 山槐記 吉記 明月記 大嘗會延引勸例并諸卿申詞

廿八日、大僧正禎喜、僧正明雲ヲ護持僧ト爲ス、是
日、興福寺法成寺僧徒、攝政基通ノ第二參賀ス、山

槐記 吉記 護持僧次第 東寺長者補任 梶井門跡略譜

廿九日、颯風屋舎ヲ壞チ、電鳴雨雹アリ、玉葉 山槐記
明月記 方丈記 百練抄 皇帝紀抄 皇代曆 皇年代略記 長門本平家
物語

是月、前權中納言源雅賴ニ、本座ヲ聽ス、一代要記

神泉苑ニ零ス、東寺長者補任
多武峰常行三昧堂成ル、多武峰略記

五月大壬子朔盡

- 一日、法勝寺三十講始、山槐記
- 二日、園城寺僧徒、落書ノ張本ヲ捕フ、玉葉
- 三日、祈年穀奉幣、六角中納言親經卿記
- 正四位下左中將藤原行通卒ス、山槐記 尊卑分脈
- 四日、右近衛府荒手結、玉葉
- 五日、左近衛府眞手結、山槐記
- 六日、右近衛府眞手結、是日、左近衛少將源通資、左近衛將監親家繼嗣以下ヲ勘事ニ處ス、玉葉 山槐記
- 明月記
- 七日、權中納言藤原實家ヲ大嘗會檢校ト爲ス、山槐記
- 八日、女敍位、山槐記
- 左兵衛督平知盛疾ム、尋デ、平愈ス、玉葉
- 九日、樋口壬生燒亡ス、山槐記

- 十日、中宮、内裏ニ入御アラセラル、是日、法勝寺三十講結願、山槐記 明月記
- 平清盛、俄ニ上洛シ、明日復、福原ニ還ル、玉葉
- 十一日、不祥ノ雲アリ、異ヨリ乾ニ亘ル、山槐記
- 十二日、鳥羽殿ニ怪異アリ、參考源平盛衰記
- 十三日、賀茂神主重保、祈雨和歌ヲ社頭ニ講ズ、玉葉
- 藏人源通資、親家ノ勘事ヲ免ズ、明月記
- 十四日、伊勢大神宮、賀茂、平野兩社怪異、及ビ四月廿九日ノ颯風ヲ軒廊ニトス、是日、權中納言藤原忠親除服ス、玉葉 山槐記
- 法皇御不豫、依リテ、清盛、内藏頭藤原季能ノ八條坊門烏丸第二遷シ奉ル、玉葉 山槐記 百練抄 保曆間記 參考源平盛衰記
- 十五日、以仁王ニ源姓ヲ賜ヒ、名ヲ以光ト改メ、土佐ニ流シ、檢非違使源兼綱、源光長ヲ遣シ、以仁王ノ高倉第ヲ圍マシム、是ヨリ先、以仁王、園城寺ニ奔リ給ヒ、右兵衛尉長谷部信連、高倉第ヲ守ル、光

長等、乃チ信連ヲ捕ヘテ還ル、是日、新院、五壇法ヲ始行アラセラル、玉葉 山槐記 明月記 吾妻鏡 愚管抄 百練抄 歷代編年集成 皇代曆 皇年代略記 東寺長者補任 仁和寺諸院家記 三僧記類聚 保曆間記 參考源平盛衰記

- 十六日、以仁王ノ御子ヲ八條院御所ニ捕ヘ奉ル、王尋デ、御出家アラセラル、玉葉 明月記 山槐記 吾妻鏡
- 十七日、關白基通、興福寺僧徒ニ諭シ、園城寺ヲ援ケザラシム、又天台座主明雲ヲ召シ、之ヲ諭ス、山槐記
- 十八日、園城寺ニ僧綱ヲ遣シ、僧徒ニ諭シテ、以仁王ヲ出シ奉ラシム、僧徒聽カズ、興福寺、延曆寺ニ牒シテ援ヲ請フ、玉葉 山槐記 明月記 保曆間記 參考源平盛衰記
- 十九日、舞人等ノ勘事ヲ免ズ、明月記
- 二十日、權中納言藤原忠親、吉書ヲ奏ス、是日、御馬御覽アラセラル、山槐記
- 廿一日、平宗盛、賴盛、教盛、知盛、維盛、資盛、清經、重

- 衡、源賴政等ヲシテ園城寺ヲ攻メシム、玉葉
- 廿二日、源賴政、自第ヲ火キ、兵ヲ率キテ園城寺ニ據ル、是日、清盛ノ八條坊門第二行幸アラセラル、玉葉 山槐記 明月記 百練抄 吾妻鏡 皇代曆 參考源平盛衰記
- 廿三日、賴政、火ヲ法皇ノ山科御所ニ縱ツ、興福寺ノ僧徒、園城寺ニ應ズ、玉葉 山槐記 百練抄
- 廿四日、座主明雲、勅ヲ奉ジテ、衆徒ヲ諭シ、園城寺ヲ攻メントス、是日、源賴政ノ中山堂燒亡ス、玉葉 明月記 吾妻鏡 參考源平盛衰記
- 廿五日、攝政基通、使ヲ興福寺ニ遣シ衆徒ヲ諭ス、僧徒、怒リテ使ヲ辱ム、百練抄 參考源平盛衰記
- 源賴政、夜ニ乗ジ、六波羅ヲ攻メントシテ果サズ、參考源平盛衰記 吾妻鏡
- 廿六日、以仁王、源賴政等、奈良ニ奔ル、藏人頭平重衡、右近衛權少將平維盛等、二萬餘騎ヲ率キテ、之ヲ追撃シ、宇治河ニ戰フ、賴政、子仲綱、兼綱等ト共ニ之ニ死シ、以仁王流矢ニ中リテ薨ゼラル、玉葉

山槐記 明月記 吾妻鏡 百練抄 歷代編年集成 一代要記 皇代曆
愚管抄 六代勝事記 保曆間記 興福寺略年代記 元亨釋書 參考源平
盛衰記 本朝皇胤紹運錄 吉記 尊卑分脈 公卿補任 長明無名抄 今
物語 東齋隨筆 古今著聞集 風雅和歌集 從三位賴政卿集 今鏡
〔參考〕 參考源平盛衰記 月刈藻集

源仲綱ノ傳、和歌作者部類 續和歌作者部類 千載和歌集 玉
葉和歌集 新千載和歌集 新後拾遺和歌集 新續古今和歌集

廿七日、百座仁王講ヲ 太政官廳ニ修シ、院宣ヲ諸
國ニ下シテ、以仁王ノ令旨ヲ奉ズル者ヲ討タシ
メ、又新院殿上ニ於テ、興福、園城兩寺ノ事ヲ議セ
シム、是日、官軍、宇治御室戸ヲ燒ク、玉葉 山槐記 吾
妻鏡 百練抄 愚管抄 參考源平盛衰記

興福寺別當藏俊寂ス、僧官補任
廿八日、上皇、密ニ清盛ノ第二幸シ、賴政以下ノ首
級ヲ御覽アラセラル、百練抄

廿九日、太元帥御修法ヲ修ス、玉葉 三僧記類聚
上皇、百座仁王講ヲ修シ給フ、山槐記
三十日、戰功ヲ賞ス、敍任差アリ、又僧事ヲ行フ、是

五日、太元帥御修法結願、三僧記類聚
七日、祇園御輿迎、是日、興福寺ニ命ジテ、逆徒ヲ捕
ヘシム、玉葉

九日、大納言藤原實定、參議源通親等ヲ輪田ニ遣
シテ、新都ノ地ヲ相セシム、百練抄 賀茂皇大神宮記 參考
源平盛衰記

十日、平清盛及ビ室從三位平時子ヲ准三宮ト爲
ス、百練抄 公卿補任 皇代曆

少納言宗綱姓闕以下以仁王ノ遺黨ヲ捕フ、玉葉
十一日、新院ノ殿上ニ於テ、新都ノ區劃ヲ議ス、百
練抄

十三日、上皇、右大臣兼實ヲ召シテ、新都ノ計劃及
ビ大賞會ノ事ヲ諮問シ給フ、玉葉 〔參考〕 攝津名所圖會

高松院ノ御忌日ヲ、押小路殿御堂ニ修ス、明月記
禪定皇子御名闕、始メテ十八道ヲ受ケ給フ、三僧記類聚
十四日、祇園御靈會、明月記
十五日、小屋野ニ新都ヲ劃セシム、百練抄 玉葉

日、新院五壇法結願、玉葉 山槐記 明月記 三僧記類聚 百練
抄 一代要記 公卿補任 華頂要略 參考源平盛衰記
是月、早ス、玉葉

六月小 盡
壬午 朔

二日、清盛、奏シテ、攝津福原ニ行幸ヲ請ヒ、是日、
車駕、法皇、上皇ト御共ニ、京都ヲ御發輿アラセラ
ル、玉葉 山槐記 明月記 方丈記 愚管抄 神皇正統記 保曆間記
百練抄 皇代曆 六代勝事記 皇代記 皇年代略記 東寺長
者補任 類聚大補任 興福寺略年代記 如是院年代記 元亨釋書 華頂
要略 高野春秋 千載和歌集 古今著聞集 參考源平盛衰記 〔參考〕
攝津名所圖會 參考源平盛衰記

三日、寺江頓宮ヲ發シテ、福原ニ著御アラセラレ、
權中納言平賴盛ノ第ヲ御所トシ給ヒ、法皇ハ、參
議平教盛ノ第二、上皇ハ、清盛ノ別第二御シ給フ、
玉葉 百練抄 〔參考〕 攝津名所圖會
四日、清盛ノ別第二徙御アラセラレ、上皇、平賴盛
ノ第二徙ラセ給フ、是日、賴盛ヲ正二位ニ敍ス、玉
葉 一代要記 公卿補任

覺快法親王、無動寺檢校職ヲ法印全玄ニ讓リ給
フ、僧官補任 華頂要略 法中補任

十六日、小除日、玉葉
權大僧都慶清ヲ宇佐宮彌勒寺講師ニ補ス、石清水
八幡宮記錄

十八日、園城寺僧徒ノ罪ヲ議ス、玉葉
十九日、是ヨリ先、平清盛、諸國ノ源氏ノ以仁王ノ
令旨ヲ奉ズル者ヲ討伐センコトヲ謀ル、散位三
善康信、密ニ其子康清ヲ伊豆北條ニ遣シテ、源賴
朝ニ告ゲシム、吾妻鏡

二十日、園城寺ノ莊園ヲ收公シ、長吏圓惠法親王
ノ四天王寺檢校職ヲ罷メ、同寺僧綱等ノ見任ヲ
停ム、玉葉 百練抄 保曆間記 參考源平盛衰記

右大臣兼實、京都ニ還ル、玉葉
廿一日、法印全玄ヲ權僧正ニ任ジ、天台座主明雲
ヲ四天王寺別當ニ補ス、是日、三井寺僧綱等十三
人ヲ檢非違使ニ下ス、玉葉 明月記 百練抄 皇代曆 歷代

皇記裏書 梶井門跡略譜 四天王寺別當次第 僧官補任 東寺長者補任
東寺王代記 華頂要略

法勝寺ノ池ニ雙頭ノ蓮生ジタルヲトス、百練抄

廿三日、前權大納言藤原邦綱ヲシテ、周防ニ課シテ、宮城ヲ造營セシム、參考源平盛衰記

右近衛大將藤原良通、權中納言藤原兼雅ノ女ヲ娶ル、玉葉

廿四日、賴朝、以仁王ノ令旨ヲ奉ジ、平氏ヲ討タンコトヲ謀リ、密ニ藤九郎盛長、小中太光家ヲ遣シ、東國在住ノ家人ヲ招致セシム、吾妻鏡 愚管抄 神皇正統記 參考源平盛衰記 曾我物語

阿闍梨心譽寂ス、仁和寺諸師年譜 高野春秋

廿七日、七瀬御祓、明月記

三浦義澄、千葉胤頼、北條ニ赴キ賴朝ニ謁ス、吾妻鏡

廿八日、小除目、玉葉 辨官補任 職事補任
是月、東寺安居法供養、表白集

十二日、最勝光院御八講結願、山槐記

春日社若宮寶殿ニ怪異アリ、玉葉

藤原行頼頓死ス、玉葉

十三日、源資賢、京師ニ還ル、一代要記 公卿補任

十四日、上皇第四皇子^尊成、御誕生アラセラル、一代要記 皇代記 皇年代略記 類聚大補任 增鏡

十五日、諸寺孟蘭盆講、玉葉 山槐記 〔附錄〕 明月記

十六日、上皇御祈トシテ、如說仁王會ヲ法勝寺ニ行ヒ、怪異ヲ禳フ、山槐記 明月記

十八日、前豐前守藤原成光卒ス、玉葉 山槐記 尊卑分脈

本朝文集

十九日、流星アリ、大サ炬火ノ如シ、百練抄

右大臣兼實ノ女著袴、玉葉

入道前神祇伯顯廣王薨ズ、山槐記 尊卑分脈 白川家譜

古今著聞集

二十日、上皇御不豫、玉葉 山槐記 吉記

廿一日、御即位ヲ山陵ニ告ゲ奉ル、是日、陣定、山槐記

治承四年七月

七月^大 朔

一日、延曆寺僧徒、蜂起シテ、座主ヲ追ハントス、玉葉

二日、鳥羽天皇國忌、是日、最勝寺御八講結願、玉葉

三日、法勝寺御八講始、玉葉 山槐記 百練抄 寺門高僧記

五日、賴朝、走湯山ノ僧覺淵ヲ召シ、法華經八百部轉讀ノ功ヲ啓白セシム、吾妻鏡 參考源平盛衰記

七日、法勝寺御八講結願、玉葉 山槐記 明月記

八日、最勝光院御八講始、玉葉 山槐記 明月記

流人源資賢及ビ其子資時、同信賢、孫雅賢、高階經仲、平親宗ヲ召還ス、玉葉 山槐記 一代要記 公卿補任

九日、月次祭、神今食、玉葉 山槐記 明月記

十日、賊、春日社神體ヲ盜ミ去ラントス、興福寺僧徒、奪還シテ、之ヲ安ジ奉ル、玉葉

十一日、右大臣兼實ニ命ジテ、唐繪屏風ノ色紙形ヲ書カシム、玉葉

記 六角中納言親經卿記

護持僧禎喜ニ延命法ヲ、同房覺ニ不動法ヲ修セシム、護持僧次第 華頂要略

廿二日、祈雨奉幣定、山槐記

多武峯大織冠像破裂ス、大織冠像破裂集

廿三日、賴朝、佐伯昌長、大中臣賴隆ヲ召シ、門下ニ候セシム、吾妻鏡

廿五日、十三社ニ奉幣シテ、雨ヲ祈ラシム、玉葉 山槐記

二宮御不例、玉葉

廿七日、源兼時、藤原長親ヲ藏人ニ補ス、是日、前右近衛大將平宗盛、嚴島ニ詣ツ、山槐記

右近衛大將藤原良通、十口僧ヲ請ジ、百座仁王講ヲ修シテ、其室ノ病ヲ禱ル、玉葉

廿八日、上皇、藏人頭平重衡ノ第二徙御アラセラ

ル、是日、孔雀經法ヲ修シテ、御不豫ヲ祈禳ス、山槐記 東寺長者補任 孔雀經法記

記 東寺長者補任 孔雀經法記

六二七

六二七

廿九日、上皇、尊號及ビ隨身封戸ヲ辭シ給ヒ、又天下ノ政務一切ヲ關白基通ニ御委任アラセラル、

玉葉 山槐記 百練抄

是月、憲基、姓闕大推勘文ヲ進ル、玉葉

瀧口入道齋藤賴時出家シテ、高野山ニ入ル、高野春秋

五月以後早ス、是月ニ至リテ甚シ、玉葉 山槐記 百練抄

八月辛巳朔

二日、源賴政等誅ニ伏スルニ依リ、東國ノ武士大庭景親等、本國ニ歸ル、吾妻鏡

三日、入道前攝政基房ノ子生ル、山槐記

六日、東大寺定額僧等、狀ヲ上リ、定額上臈ヲ以テ、

專寺阿闍梨ノ闕ニ補セラレンコトヲ請フ、東寺文書

七日、釋奠、玉葉 山槐記

八日、攝政基通、疾愈ユ、玉葉 山槐記

十日、法印權大僧都勝國、造佛寫經ヲ高野山ニ供

養シ、故阿闍梨心覺ノ追善ヲ資ス、表白集

十一日、佐々木秀義、其子定綱ヲ北條ニ遣シ、大庭

景親ノ平氏ノ密旨ヲ承ケテ、異心アルヲ、賴朝ニ

告グ、吾妻鏡 參考源平盛衰記

十二日、皇居造營及ビ大賞會ノ事ヲ議ス、是日、權

中納言藤原忠親ニ、第地ヲ福原ニ賜フ、玉葉 山槐記

孔雀經法結願、是日、八條宮、僧正房覺ト御諍アリ、

百練抄 玉葉 東寺長者補任 孔雀經法記

十三日、藤原忠親、私ニ輪田ノ邸地ヲ點ズ、山槐記

十四日、冷泉院局卒ス、山槐記 尊卑分脈

十五日、石清水放生會、是日、鼠、石清水宮西御前御

劔ノ袋及ビ御茵ヲ噬ム、山槐記 石清水八幡宮記錄 參考

十六日、賴朝、住吉昌長ヲシテ、天曹地府祭ヲ行ヒ、

永江賴隆ニ一千度被ヲ勤メシメ、並ビニ戰捷ヲ

禱ラシム、吾妻鏡

二十日、七壇北斗法ヲ仁和寺大聖院ニ修シテ、上

皇ノ御不豫ヲ禱リ給フ、仁和寺御傳 三僧記類聚

賴朝、兵ヲ率キテ伊豆ヲ發シ、相模土肥ニ至ル、吾

妻鏡 參考源平盛衰記 參考 新編相模國風土記稿

廿一日、右近衛大將藤原良通疫瘡ヲ患フ、玉葉

廿二日、中宮御除服、山槐記

廿三日、大奉幣使ヲ發遣ス、山槐記

右大臣兼實、横河靈山院ノ額ヲ書ス、玉葉

賴朝、石橋山ニ陣ス、相模人大庭景親等、討チテ之

ヲ敗ル、吾妻鏡 玉葉 山槐記 愚管抄 歷代編年集成 皇代曆 類

聚大補任 興福寺略年代記 保曆間記 參考源平盛衰記 參考 新編

相模國風土記稿 附錄 武藏國淺草寺緣記

廿四日、千僧御讀經ヲ法勝寺ニ修シテ、上皇ノ御

不豫ヲ禱ラシム、玉葉 山槐記

權中納言藤原忠親ヲ福原ニ召シ、内裏差圖ノ可

否ヲ奏セシム、山槐記

治承四年八月

六二九

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

十七日、駒牽、是日、興福寺ノ僧權少僧都覺憲、範玄

以下ノ見任ヲ解却シ、所領ヲ沒官ス、山槐記 楊囊抄

百練抄

皇嘉門院大般若御讀經始、玉葉

源賴朝、兵ヲ伊豆ニ起シ、前檢非違使平兼隆等ヲ

八收ニ收メテ之ヲ殺ス、吾妻鏡 玉葉 山槐記 歷代編年集

成 如是院年代記 類聚大補任 保曆間記 參考源平盛衰記 參考

豆州志稿

十八日、園城寺僧徒ノ所職ヲ停メ、寺領ノ莊園ヲ

復ス、山槐記 百練抄

賴朝、伊豆法音尼ヲ召シ、毎日勤行ノ讀經ヲ代誦

セシム、吾妻鏡

山城守大中臣爲仲卒ス、二所大神宮例文 大中臣氏系圖 祭

主補任次第記

十九日、平清盛、嚴島社ニ詣ツ、玉葉 山槐記

權中納言平時忠ノ子生ル、山槐記

賴朝令シテ、史大夫知親ノ蒲屋御厨奉行職ヲ禁

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

治承四年八月

上醍醐持實王院供養、表白集
頼朝、石橋山ニ敗レ、土肥實平ト共ニ遁レテ杉山ニ入ル、箱根別當行實、其弟永實ヲ遣シ、頼朝ヲ餉シ、永實ノ舍ニ隱匿ス、是日、三浦義澄、頼朝ニ會セントシ、丸子河ニ至リ、其敗ヲ聞キテ還リ、途次由井濱ニ於テ、畠山重忠ト戦ヒテ、之ヲ破ル、吾妻鏡

参考源平盛衰記 「参考」 新編相模國風土記稿 〔附錄〕 武州文書 伊豫三島社縁起 宇都宮大明神奇瑞記

廿五日、俣野景久、駿河目代橘遠茂ト共ニ兵ヲ率キ、甲斐源氏ヲ撃タントシ、富士山ノ北麓ニ宿ス、安田義定、工藤景光等、頼朝ニ會セントシ、甲斐ヲ發シテ彼志太山ニ至リ、景久等ヲ破ル、行實ノ弟良暹、頼朝ヲ襲ハントス、頼朝、行實ノ告ニ依リテ遁レ、尋デ、土肥ニ赴ク、吾妻鏡 「参考」 新編相模國風土記稿
廿六日、大風雨、山槐記
畠山重忠、河越重頼、江戸重長等、兵ヲ率キテ、衣笠城ヲ攻ム、三浦義明、其子義澄、義盛等ニ諭シテ、圍

ヲ遁レ去ラシム、吾妻鏡 参考源平盛衰記
廿七日、宇佐使ヲ發遣ス、又丹生、貴布禰兩社ニ奉幣シテ、晴ヲ祈ル、是日、石清水、北野兩社ノ怪異ヲ軒廊ニトス、山槐記

成菩提院御念佛ヲ停ム、玉葉

衣笠城陥リ、三浦義明、之ニ死ス、大場景親、兵數千ヲ率キテ來リ、之ヲ聞キテ還ル、義澄、義盛等、安房ニ赴ク、是日、頼朝、實平ト眞鶴濱ヨリ安房ニ赴ク、吾妻鏡 参考源平盛衰記 「参考」 新編相模國風土記稿

廿八日、攝政基通、使ヲ多武峯ニ遣シ、告文ヲ上リ、尊像破裂ヲ謝ス、玉葉 山槐記

廿九日、頼朝、安房平北郡獵島ニ至ル、吾妻鏡 山槐記
「参考」 義經記 房總志料 大日本國誌

是月、藤原實綱ノ勅勘ヲ免ス、公卿補任 一代要記

熊野權別當湛増、其弟湛覺ノ莊園ヲ奪ヒ、民屋ヲ燒ク、玉葉
御神樂ヲ賀茂社ニ行ヒ、上皇ノ御不豫ヲ禱ル、玉

葉

九月 大 盡
庚戌 朔

一日、頼朝、安西景益ヲ召ス、吾妻鏡

二日、大庭景親、石橋山ノ戦狀ヲ六波羅ニ告グ、吾妻鏡 百練抄 参考源平盛衰記

三日、頼朝、武藏ノ家人等ヲ檄ス、是日、長狹常伴ヲ殺ス、吾妻鏡

四日、頼朝、平廣常、千葉常胤ヲ招致ス、吾妻鏡 参考源平盛衰記 「参考」 義經記

五日、右近衛權少將平維盛、薩摩守平忠度、參河守平知度等ヲシテ、東海東山兩道ノ兵ヲ發シ、源頼朝ヲ討タシム、是日、前越中守平盛俊ノ福原邸災ス、玉葉 山槐記 百練抄 参考源平盛衰記

頼朝、將士ノ歸服ヲ洲崎明神ニ祈ル、吾妻鏡 「参考」

安房國誌

七日、皇嘉門院、右大臣兼實ノ病ヲ訪ヒ給フ、玉葉
源義仲、以仁王ノ令旨ヲ奉ジ、兵ヲ信濃ニ起シテ、

頼朝ニ應ズ、吾妻鏡 保曆間記 玉葉

八日、頼朝、北條時政ヲ遣シ、甲斐信濃ノ諸源氏ヲ詢ヘシム、吾妻鏡

右大臣兼實ニ、地ヲ福原ニ賜フ、玉葉

右大臣兼實、戒ヲ佛嚴上人ニ受ク、玉葉

十日、武田信義、兵ヲ舉ゲテ、源頼朝ニ應ジ、信濃ニ入り、菅冠者ヲ大田切城ニ襲ヒ、之ヲ殺ス、吾妻鏡

十一日、頼朝、安房丸御厨ヲ巡見ス、吾妻鏡

十二日、祈年穀奉幣定、尋デ、陣定アリ、山槐記

十三日、追討使官符請印、是日、北斗法結願、山槐記

三僧記類聚

頼朝、兵ヲ率キテ、上總ニ入ル、千葉常胤、上總目代ヲ襲ヒテ之ヲ殺ス、玉葉

十四日、千葉常胤、千田判官代親政姓關ト戦ヒ、之ヲ擒ニス、吾妻鏡

十五日、皇嘉門院、最勝金剛院ニ御幸アラセラレ、故藤原宗子ノ忌日ヲ修シ給フ、是日、同院御懺法

始ヲ延引セラル、玉葉 山槐記

慶清ヲ豊前彌勒寺講師及ビ喜多院司ニ補ス、石清

水八幡宮記録

光物アリ、坤ヨリ艮ニ赴ク、明月記

武田信義、信濃ヲ從ヘ、甲斐ニ還ル、北條時政來リ

會ス、吾妻鏡

十六日、小除日、是日、皇嘉門院御灸治、玉葉 山槐記

宋國ノ商船、輪田ニ泊ス、山槐記

十七日、源賴朝、下總國府ニ入ル、千葉常胤、故源義

隆ノ子賴隆ヲ奉シ、兵三百餘騎ヲ率キテ之ニ會

ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

十九日、上總權介平廣常、兵二萬ヲ率キテ、賴朝ニ

隅田川ニ會ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記 (參考) 玉葉 新編武

藏國風土記稿

二十日、僧正房覺、權大僧都良顯ヲ護持僧ト爲ス、

山槐記

賴朝、土屋宗遠ヲ甲斐ニ遣シ、北條時政、武田信義

等ヲシテ、駿河黃瀬川ニ會セシム、吾妻鏡 (參考) 參

考源平盛衰記

廿一日、上皇、嚴島ニ御幸アラセラル、平清盛、宗盛

等、駕ニ從ヒ奉リ、上皇ニ迫リテ誓書ヲ請フ、玉葉

百練抄 古今著聞集 參考源平盛衰記

權大僧都實全ヲ護持僧ト爲ス、山槐記 護持僧次第

廿二日、追討使左近衛權少將平維盛等、福原ヲ發

ス、玉葉 山槐記 吾妻鏡 百練抄 愚管抄 保曆間記 參考源平盛衰

記

廿三日、政アリ、山槐記

廿七日、定考ヲ延引ス、玉葉

廿八日、祈年穀奉幣ヲ延引ス、是日、延曆寺僧徒蜂

起ス、玉葉

嚴島大地震、山槐記

賴朝、江戸重長ヲ召ス、吾妻鏡

廿九日、平維盛等、六波羅ヲ發ス、玉葉 山槐記 明月記

吾妻鏡 歷代編年集成 皇代紀抄 皇代曆

賴朝兵勢益振フ、江戸重長、未ダ到ラザルヲ以テ、

葛西清重ヲシテ、之ヲ討タシメントス、是日、使ヲ

遣シ、佐那田義忠ノ母ヲ迎ヘシム、玉葉 吾妻鏡

三十日、新田義重、上野ニ自立シ、兵ヲ聚メテ、寺尾

城ニ據ル、足利俊綱、平氏ニ黨シ、兵ヲ舉ゲテ、同國

府中ノ源氏ヲ襲ヒ、火ヲ放ツ、吾妻鏡

是月、京師ニ、以仁王、源賴政東國ニ赴ケリトノ流

言行ハル、玉葉

熊野別當範智、湛増ヲ援ク、近江ノ源氏、賴朝ニ應

ズル者アリ、屢平氏ノ黨ト戰フ、玉葉

十月小 庚辰朔 盡

一日、平座、山槐記

石橋山ノ殘兵、賴朝ニ驚沼ニ會ス、醍醐禪師全成

モ亦、來會ス、吾妻鏡

二日、護持僧明雲ニ、如意輪法ヲ始修セシム、護持

僧次第

賴朝、兵三萬餘ヲ率キ、武藏ニ赴ク、足立遠元、豊島

治承四年十月

清光、葛西清重等之ヲ迎フ、是日、小山宗朝加冠ス、

吾妻鏡 參考源平盛衰記 玉葉 (參考) 義經記 新編武藏風土記稿

三日、皇嘉門院御懺法始、玉葉

賴朝、千葉常胤ニ命ジ、兵ヲ上總ニ遣シ、伊北莊司

伊西常仲ヲ撃チテ之ヲ斬ラシム、吾妻鏡

四日、畠山重忠、河越重賴、江戸重長等、賴朝ニ降

ル、吾妻鏡 參考源平盛衰記

五日、賴朝、江戸重長ニ命ジ、武藏國在廳官人及ビ

諸郡司ニ舊ノ如ク、諸雜事ヲ行ハシム、吾妻鏡

六日、上皇、嚴島ヨリ福原ニ還御アラセラル、玉葉

山槐記 歷代編年集成 參考源平盛衰記

熊野山常住等ヲシテ、前別當湛増ヲ討タシム、百

練抄

清盛ノ室平時子、嚴島社及ビ宇佐宮ニ詣ヅ、玉葉

源賴朝、相模鎌倉ニ入ル、吾妻鏡 保曆間記

七日、大流星、是夜、群盜京師諸臣ノ舊宅ヲ襲フ、

山槐記 百練抄

梅宮社司、奏狀ヲ上ル、玉葉

高野山南谷ニ、内證上生院ヲ創造ス、高野春秋

前但馬守藤原親弘卒ス、山槐記 明月記 尊卑分脈

九日、流星、玉葉

十日、興福寺維摩會、玉葉

十一日、正三位行宮内卿兼式部大輔藤原永範、病ニ依リテ出家ス、山槐記 一代要記 公卿補任

十二日、賴朝、鶴岡祠ヲ 小林郷ノ北山ニ遷ス、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第 參考源平盛衰記

十三日、前右近衛大將平宗盛第二御方違行幸アラセラル、山槐記 玉葉

義仲、上野ヲ徇フ、吾妻鏡

十四日、攝政基通上表、聽サズ、是日、五節定、山槐記

北條時政、武田信義等、駿河目代橘遠茂及ビ長田入道等ト、駿河鉢田ニ戰ヒテ之ヲ敗リ、遠茂ヲ虜ニシ、長田父子ヲ梟ス、吾妻鏡 玉葉

十五日、賴朝、鎌倉第二徙ル、吾妻鏡

十六日、職事等、年中行事ノ分配ヲ定ム、山槐記

賴朝、平氏ノ軍東下スルヲ聞キ、鎌倉ヲ發シテ、國府ニ至ル、是日、長日大般若經ヲ鶴岡若宮ニ修ス、吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記 鶴岡八幡宮社務職次第

平維盛等、進ミテ駿河ニ至ル、玉葉 山槐記

十七日、祈年穀奉幣日時勘申、又伊勢大神宮高宮御裝束、及ビ石清水宮御劔袋調進日時勘申、山槐記

賴朝ノ先鋒、一條忠賴、使ヲ平軍ニ遣シ、戰期ヲ約ス、上總介平忠清、怒リテ維盛ニ勸メテ、使者ヲ斬ラシム、玉葉 山槐記 長門本平家物語

賴朝、下河邊行平ヲ遣シ、波多野義常ヲ擊タシム、義常之ヲ聞キテ自殺ス、吾妻鏡

十八日、長日法華御讀經、山槐記

賴朝、大軍ヲ率キテ、黃瀬河ニ到ル、北條時政、武田信義等、甲斐信濃ノ諸源氏ヲ率キテ之ニ會ス、荻野俊重、曾我祐信等來リ降ル、吾妻鏡

十九日、天野遠景、伊東祐親ヲ捕ヘテ賴朝ニ獻ズ、

是日、加々美長清、平氏ヲ去リテ賴朝ニ來附ス、吾妻鏡

二十日、延曆寺僧徒、奏シテ京都ニ還幸セラレンコトヲ請フ、玉葉

賴朝、軍ヲ賀嶋ニ進メ、平氏ノ軍ト富士川ヲ隔テ陣ス、是夜、平軍戰ハズシテ潰走ス、玉葉 山槐記

廿一日、權中納言藤原忠親、福原ノ新第二徙ル、山槐記 皇代曆 保曆間記 參考源平盛衰記 吾妻鏡

京師火アリ、玉葉

賴朝、平軍ヲ追ハントス、千葉常胤、三浦義澄、平廣常等ノ諫止ニ依リテ、軍ヲ還ス、是日、賴朝ノ弟源義經、奥州ヨリ來リ會ス、吾妻鏡 興福寺略年代記 參考源平盛衰記 義經記

廿三日、攝政基通第二度上表、山槐記 上卿故實

賴朝、相模ノ國府ニ到リ、功ヲ賞ス、是日、大庭景親、長尾爲宗、同定景、河村義秀、山内經俊等來降ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿四日、法勝寺大乘會始、是日、皇嘉門院御懺法結願、玉葉 山槐記

廿五日、賴朝、松田ノ第二到ル、吾妻鏡

廿六日、賴朝、大庭景親、河村義秀等ヲ斬ル、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿七日、祈年穀奉幣、山槐記 玉葉

七瀬御祓、明月記

賴朝、佐竹秀義ヲ訴タントシ、常陸ニ進ム、吾妻鏡

廿八日、法勝寺大乘會結願、玉葉 山槐記

廿九日、雷鳴雨雹、山槐記 吉記

十一月 己酉 朔 盡

一日、梅宮祭、是日、大僧正禎喜、權中納言藤原忠親ニ請ヒ、高野塔得達金剛院ノ額ヲ書セシム、山槐記 吉記

二日、結政、玉葉 吉記
故權中納言藤原實衡ノ室卒ス、山槐記 參考 尊卑分脈

四日、賴朝、常陸ニ入り、平廣常ヲシテ、佐竹義政ヲ殺サシメ、進ミテ金沙城ヲ攻ム、佐竹秀義之ヲ拒グ、吾妻鏡

五日、平維盛、知度等、遁レテ京師ニ還ル、玉葉 山槐

記 吉記 明月記 吾妻鏡 百練抄 歷代編年集成 興福寺略年代記

參考源平盛衰記

賴朝、平廣常ヲシテ、佐竹秀義ノ叔父藏人某ヲ召サシメ、間道ヨリ金沙城ヲ襲フ、秀義、城ヲ棄テ、逃走ス、吾妻鏡 (參考) 參考源平盛衰記

六日、右大辨藤原重方、侍從藤原實保、藤原隆保、因幡守藤原隆清等ニ昇殿ヲ聽ス、延曆寺僧徒、益蜂起シ、狀ヲ上リテ、舊都ヲ復センコトヲ請フ、山槐

記 參考源平盛衰記

七日、東海、東山、北陸三道ニ勅シテ、源賴朝ヲ討タシム、是日、伯耆守基輔姓闕等ニ内昇殿ヲ聽ス、玉葉

山槐記 吉記 百練抄

北斗七壇供ヲ修ス、三僧記類聚 仁和寺御傳

十四日、賴朝、土肥實平ヲ武藏ニ遣シ、社寺ノ狼藉ヲ禁ゼシム、吾妻鏡

十五日、藤原忠親、福原ニ赴ク、是日、右大臣兼實モ亦、病ヲ扶ケテ福原ニ赴カントス、清盛、慰籍シテ、之ヲ止ム、玉葉 山槐記

賴朝、武藏威光寺々領ニ、舊ノ如ク、課役ヲ免ゼシム、吾妻鏡

十六日、大原野祭、是日、右大臣兼實、寶劍一口ヲ春日社ニ奉納ス、玉葉

十七日、美濃尾張等ノ諸源氏悉ク蜂起ス、熊野權別當湛増、鎮西菊池權守名闕等ヲ宥ス、山槐記 玉葉

五節舞姫參入、是日、攝政基通、右大辨藤原經房ヲシテ、新嘗會及ビ賀茂臨時祭ノ事ヲ、右大臣兼實ニ謀ラシム、玉葉 山槐記 吉記 保曆間記 百練抄 參考源平盛

衰記

賴朝、鎌倉ニ還リ、和田義盛ヲ侍所別當ニ補ス、是日、曾我祐信ヲ宥ス、吾妻鏡

志太義廣、源行家等、常陸國府ニ於テ、賴朝ニ屬ス、吾妻鏡

八日、還幸ヲ諭シテ、延曆寺僧徒ヲ慰諭ス、玉葉

前齋宮功子内親王、攝津貴志莊ニ下リ給フ、明月記

賴朝、佐竹秀義ノ所領ヲ收メ、將士ヲ賞シ、秀義ノ家人十餘人ヲ捕フ、是日、賴朝、軍ヲ還ス、吾妻鏡

九日、中宮、春日祭使ヲ發遣セララル、吉記

入道前式部大輔藤原永範薨ズ、山槐記 明月記 吉記

中右記 一代要記 尊卑分脈 公卿補任 和歌作者部類 千載和歌集

古今著聞集

十日、春日、平野祭使ヲ發遣ス、吉記

賴朝、武藏丸子莊ヲ葛西清重ニ與フ、吾妻鏡

十一日、平清盛ノ福原第二徙御アラセララル、玉葉

吉記 山槐記 百練抄 參考源平盛衰記

十二日、清盛、諸卿ヲ會シテ、還都ノ可否ヲ議ス、玉葉 吉記 山槐記 續古事談 參考源平盛衰記

賴朝、荻野俊重ヲ殺ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

十三日、萬機旬、玉葉 吉記

舍利會、三僧記類聚

十八日、殿上淵醉、御前試、是日、小除目、山槐記 吉記

玉葉

孔雀經法ヲ修シテ、上皇ノ御不豫ヲ祈禳ス、仁和寺御傳

法印權大僧都行海寂ス、山槐記 歷代皇記裏書 東寺長者補任 尊卑分脈

任 尊卑分脈

十九日、五節童女御覽、是日、新嘗祭ヲ京都神祇官ニ行フ、山槐記 吉記 玉葉

賴朝、武藏長尾寺住侶僧圓、勸海、辨朗等ヲシテ、本坊ニ安堵セシム、吾妻鏡

二十日、豐明節會、山槐記 吉記

近江ノ源氏、賴朝ニ應ジ、飛驒守景家姓闕ノ家人

ヲ殺シ、勢多沿岸ノ船舶ヲ奪ヒテ、北陸道ノ運漕

ヲ塞ギ、其貢物ヲ虜掠ス、玉葉 山槐記 吉記 參考源平盛

衰記

大庭景義、賴朝ニ、右馬允義常姓闕ノ子ヲ宥サン

コトヲ請フ、吾妻鏡

廿一日、鶴岡八幡宮遷宮、鶴岡八幡宮社務職次第

廿二日、清盛奏シテ、舊都ニ復センコトヲ請フ、是日、上皇、清盛ノ別邸ニ御幸アラセラル、山槐記 吉記

參考源平盛衰記

天台座主ヲシテ、近江國所在ノ日吉社領及ビ寺領等ニ、凶徒ノ濫入ヲ禦ガシメ、且叛ク者ヲ誅セシム、吉記

攝津ノ源氏手島冠者、平氏ニ背キ、火ヲ福原ノ自第二放チテ、東國ニ出奔ス、玉葉 山槐記 參考源平盛衰記

廿三日、車駕、福原ヲ發シ、藤原邦綱ノ宇治第二著御アラセラル、玉葉 山槐記 吉記 愚管抄 百練抄 保曆間記

東寺長者補任 類聚大補任 參考源平盛衰記

廿四日、車駕、邦綱ノ寺江第二著御アラセラル、玉葉 山槐記 吉記

廿五日、車駕、唐崎ニ著御アラセラル、玉葉 山槐記

吉記 明月記 參考源平盛衰記

廿六日、車駕、京師ニ入ラセ給ヒ、藤原邦綱ノ五條

東洞院第二御シ、法皇、平重盛ノ六波羅故第二御シ、上皇、平賴盛ノ第二御ス、是日、熊野那智地震、三日止マズ、玉葉 山槐記 吉記 明月記 保曆間記 百練抄 歷代編年集成 皇代曆 皇年代略記 興福寺略年代記 華頂要略 古今著聞集 參考源平盛衰記

賴朝、山内經俊ノ死罪ヲ宥シ、之ヲ放免ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿七日、日吉祭、是日、上皇、天台座主及ビ園城寺僧綱十餘人ヲ召シ、僧徒ノ賴朝ニ應ズル者ヲ糾サシメ給フ、玉葉 吉記

賴朝、八田知家ヲ下野茂木郡地頭職トナス、茂木文書

廿八日、若狹國在廳等、近江ノ源氏ニ應ズ、玉葉

廿九日、甲賀入道義兼、兵ヲ遣シテ、京師ヲ窺フ、玉葉 吉記

平清盛、福原ヨリ上京ス、吉記

三十日、臨時仁王會ヲ行ヒ、兵革ヲ禱ル、又新院殿上ニ於テ、東國兵亂ノ事ヲ議ス、是日、新院七瀬御

祓、又法成寺御八講始、夜半六條坊門東洞院燒亡ス、玉葉 山槐記 吉記 明月記 百練抄 古今著聞集

十二月 己卯 盡

一日、改元ノ議アリ、例ナキニ依リテ止ム、是日、伊賀ノ人平田家次、手島冠者ヲ近江國ニ討ツ、玉葉 百練抄

二日、諸陣警固、將士ヲ分遣シテ、東國ノ諸源氏ヲ討タシム、左兵衛督平知盛ヲ近江ヨリ、右近衛權少將平資盛ヲ伊賀ヨリ、伊勢守平清綱ヲ伊勢ヨリ、並ニ進マシム、知盛、前右兵衛尉山木義經、柏木義兼等ト近江ニ戰ヒテ之ヲ敗ル、是日、伊勢大神宮以下十七社ニ奉幣シテ、兵革ヲ弭メンコトヲ禱ル、又齋院相嘗御神樂、玉葉 山槐記 吉記 明月記 吾妻鏡 百練抄 保曆間記 歷代編年集成 皇代曆 參考源平盛衰記

四日、法成寺御八講結願、玉葉 山槐記 勅シテ、入道前關白基房ヲ召還ス、山槐記

賴朝、阿闍梨定兼ヲ召シテ、鶴岡供僧職ト爲ス、吾妻鏡

五日、賀茂臨時祭試樂ヲ停ム、玉葉

六日、宗盛、兵ヲ遣シテ、前權中納言藤原雅賴ノ第ヲ圍ミ、家人前齋院次官親實ヲ捕フ、親實遁走ス、玉葉 山槐記 百練抄

是ヨリ先、前太政大臣忠雅、前關白基房ノ姻戚ニ依リテ、閉門蟄居ス、是日、上皇、開門セシメ給フ、山槐記

平知盛等、火ヲ勢多野地ノ民屋ニ放チ、進ミテ諸源氏ノ軍ヲ敗ル、興福寺堂衆等蜂起シテ、近江源氏ニ應ズ、玉葉

七日、賀茂臨時祭、玉葉 山槐記

八日、法皇、故平重盛ノ六波羅第ヨリ、上皇御所平賴盛第二徙御アラセラル、玉葉 山槐記 百練抄 古今著聞集

十日、院宣ヲ下シテ、糧米ヲ諸國ニ徵シ、又諸卿相ニ課シテ、兵士ヲ獻ゼシメ、禁衛ニ備ヘシム、玉葉

山槐記

山木義經、遁レテ鎌倉ニ至リ、賴朝ニ投ズ、吾妻鏡
十一日、延曆寺園城寺僧徒等、義經ニ黨セルヲ以テ、淡路守平清房ヲ遣シテ之ヲ討チ、堂舎僧房ヲ燒カシム、玉葉 山槐記 明月記 吾妻鏡 百練抄 保曆間記 如是院年代記 參考源平盛衰記

十二日、是ヨリ先、賴朝、第宅ヲ相模鎌倉大倉郷ニ營ム、是日、成ルニ依リテ之ニ徙ル、吾妻鏡

十三日、石清水八幡宮ニ新調御劔袋及ビ御茵ヲ奉獻ス、是日、中宮、新院ニ行啓アラセラル、玉葉 山槐記

槐記

前右中辨平親宗、密ニ賴朝ニ通ズルヲ以テ、其從者ヲ捕ヘ、之ヲ鞠ス、是日、平知盛、山木義經、義兼等ノ餘黨ヲ攻ム、玉葉 山槐記

十四日、尊勝寺灌頂、玉葉 山槐記

賴朝令シテ、武藏ノ住人等ニ本地行地主職ヲ舊ノ如ク執行セシム、吾妻鏡

十五日、最勝寺灌頂、法皇、中宮御所ニ御幸アラセラル、是夜、綾小路高倉燒亡ス、山槐記

十六日、法皇、千日講御懺法ヲ行ハセラル、是夜、前關白基房、京ニ還ル、山槐記 玉葉 古今著聞集 參考源平盛衰記

平知盛等、進ミテ山下城ヲ攻ム、玉葉

熊野那智山地震、玉葉 吉記 百練抄

賴朝、長日最勝王經講讚ヲ鶴岡社ニ行フ、吾妻鏡

十八日、平清盛、法皇ニ奏シテ、舊ノ如ク、政ヲ聽キ給ヒ、且ツ讚岐、美濃兩國ヲ御分國ト爲シ給ハンコトヲ懇請シ奉ル、玉葉

十九日、御佛名、僧事、是日、圓宗寺法華會、觀音院灌頂、又孔雀經法ヲ東寺ニ修シ、上皇ノ御不豫ヲ祈禳ス、玉葉 山槐記 東寺長者補任 孔雀經法記

法印覺成ヲ東寺長者ニ補ス、歷代編年集成 歷代皇記裏書 東寺長者補任 仁和寺諸院家記

地震、玉葉

僧正全玄ヲ無動寺檢校ト爲ス、玉葉 僧官補任

右馬允橘公長、其子公忠、公成ヲ以テ賴朝ニ投ズ、吾妻鏡

吾妻鏡

前權中納言藤原實綱薨ズ、山槐記 一代要記 尊卑分脈 公卿補任 和歌作者部類 千載和歌集 古今著聞集

二十日、除目始、玉葉 山槐記

三浦義澄、碗飯ヲ賴朝ニ獻ズ、是日、弓始ノ儀アリ、吾妻鏡

吾妻鏡

廿一日、除目入眼、是日、地震、玉葉 山槐記 一代要記 公卿補任

卿補任

入道前大宰大貳藤原重家薨ズ、玉葉 山槐記 一代要記 尊卑分脈 公卿補任 和歌作者部類 續和歌作者部類

尊卑分脈

廿二日、院御佛名、玉葉 山槐記 明月記

右近衛少將平維盛ヲ越前國ニ遣シ、叛徒ヲ討タシム、山槐記 玉葉

新田義重及ビ里見義成、鎌倉ニ至リ、賴朝ニ屬ス、吾妻鏡

吾妻鏡

廿三日、平經盛ヲ遣シ、東國追討使ヲ援ケシム、玉

葉

廿四日、除目下名、元日擬侍從及ビ荷前定、尋テ、荷前使ヲ發遣ス、是日、新院御佛供養、又御佛名、玉葉 山槐記 明月記

山槐記

興福寺別當玄緣寂ス、玉葉 山槐記 歷代編年集成 歷代皇記裏書 興福寺略年代記 興福寺寺務次第 興福寺三綱補任 參考 高階氏系圖

階氏系圖

源義仲、退テ信濃ニ入ル、吾妻鏡

廿五日、政、攝政基通ノ直廬ニ於テ、官奏ヲ行フ、是日、中宮御佛名、山槐記

山槐記

藏人頭平重衡ヲ遣シ、興福寺東大寺ノ僧徒ヲ討タシム、玉葉 山槐記 明月記 吾妻鏡 百練抄

玉葉

行實ノ徒弟、賴朝護身ノ觀音小像ヲ石橋山ノ洞窟ニ索メテ、之ヲ賴朝ニ進ム、吾妻鏡

吾妻鏡

廿六日、賴朝、佐々木義清ヲ捕ヘ、其兄盛綱ヲシテ之ヲ監セシム、吾妻鏡

廿七日、政、山槐記

廿八日、定考、官奏、東寺灌頂、孔雀經法結願、依リテ賞ヲ行ヒ、眞禎ヲ法眼ニ敍シ、圓教寺別當ニ補ス、是日、皇嘉門院御佛名、又侍從源通宗ニ昇殿ヲ聽ス、山槐記 孔雀經法記 東寺長者補任

平重衡、南都ヲ攻メ、火ヲ放チテ、東大寺、興福寺ヲ燒ク、玉葉 山槐記 明月記 吾妻鏡 愚管抄 百練抄 歷代編年集成

皇代曆 興福寺略年代記 東大寺別當次第 皇代記首書 如是院年代記 東寺長者補任 保曆間記 六代勝事記 類聚大補任 石清水八幡宮記 東大寺造立供養記 東大寺續要錄 東大寺緣起 東大寺八幡殿記 垂頂要略 高野春秋 三僧記類聚 參考源平盛衰記 皇年代略記

頼朝、出雲時澤ヲ雜色長ト爲ス、吾妻鏡
廿九日、平重衡、僧徒ノ首四十餘級ヲ將テ、京ニ還ル、玉葉 山槐記 保曆間記

是月、鎮西菊池氏、平氏ニ反シテ兵ヲ舉グ、熊野僧徒及ビ伊豫阿波等ノ源氏ニ應ズル者、亦蜂起ス、

皇代曆 皇帝紀抄 參考源平盛衰記

院宣ヲ紀伊在廳ニ下シ、高野山ノ訴ニ係ル荒川莊ノ押妨ヲ禁ゼシム、高野山文書

ノ莊園ヲ收ム、又左衛門尉平成宗、同知親、同知康、

左兵衛尉大江公友、源有義、同重清、藤原成仲等ヲ

解官ス、玉葉 明月記 百練抄 參考源平盛衰記

熊野山ノ僧徒等、伊勢志摩ノ海濱ヲ襲フ、玉葉 吾妻鏡

五日、敍位、玉葉 明月記 一代要記 公卿補任 辨官補任

六日、工藤景光、平井紀六ヲ捕フ、吾妻鏡

七日、白馬節會、加敍、是日、武士ヲ南都ニ遣シ、僧徒ノ餘黨ヲ討タシム、玉葉

八日、御齋會、後七日御修法、諸寺修正始、是日、地震、玉葉 百練抄 東寺長者補任 東寺長者續紙 榊葉集 參考源平盛衰記

裏記

諸國ニ反スル者益多シ、前右近衛大將平宗盛ヲ、五畿内及ビ伊賀、伊勢、近江、丹波等ノ惣管ト爲ス、

玉葉 百練抄 公卿宣下抄 參考源平盛衰記

施藥院使憲基、姓闕大推第三回勘文ヲ右大臣兼實ニ致ス、玉葉

養和元年正月

是冬、平氏、前武藏權守源義基ヲ河内ニ攻メテ之ヲ殺シ、其弟二人ヲ擒ニス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

玉葉

明雲ヲ四天王寺別當ニ、房覺ヲ園城寺長吏ニ補ス、四天王寺別當次第 法中補任

養和元年辛丑

正月 大 盡 戊申 朔

一日、兵革及ビ東大寺興福寺等ノ燒亡ニ依リテ、小朝拜、諸院拜禮ヲ停ム、節會ニ出御アラセラレズ、又國栖歌曲、立樂等ヲ停ム、玉葉 園太曆 百練抄 皇代曆 小朝拜部類記 三節會次第 達幸故實抄 保曆間記 參考源平盛衰記

源頼朝、鶴岡若宮ニ詣ツ、吾妻鏡

二日、殿上淵醉ヲ停ム、殿上燕醉部類 參考源平盛衰記

三日、皇居近邊ニ火アリ、是日、攝政基通參内ス、

玉葉 明月記

四日、東大寺、興福寺僧綱以下ノ見任ヲ解キ、寺領

十一日、梶原景時、始メテ頼朝ニ謁ス、吾妻鏡

十二日、伊勢及ビ西海道ニ令シテ、凶徒ヲ討タシム、玉葉

天台座主明雲ヲ僧正房覺ノ上首トナス、華頂要略

十四日、御齋會竟、加持香水ヲ停ム、是日、諸寺修正

終、玉葉 東寺長者補任 三僧記類聚

上皇、六波羅池殿ニ崩御アラセラル、即夜、清閑寺

ニ葬リ奉ル、玉葉 明月記 山槐記 百練抄 神皇正統記 歷代編年集成 一代要記 皇代曆 愚管抄 公卿補任 紹運要略 皇代記 皇

年代略記 三僧記類聚 保曆間記 本朝皇胤紹運錄 皇帝紀抄 六代勝事記 東大寺續要錄 高倉院升退記 源有房朝臣集 參考源平盛衰記

吉記 顯廣王記 禁祕抄 古今著聞集 〔參考〕 山陵志

十六日、流星、河鼓一星ニ入ル、玉葉 〔參考〕 和漢三才圖繪

繪

十七日、法皇、復政ヲ院中ニ視給フ、百練抄 皇年代略記

保曆間記 皇代曆 參考源平盛衰記

前齋宮功子内親王、攝津ヨリ歸京アラセラル、明月記

六四三

十八日、平氏ノ軍、進ミテ美濃ニ入ル、玉葉
二十日、高倉天皇初七日御法事、玉葉 明月記
平通盛、同維盛等、蒲倉城ヲ攻メテ之ヲ陷ル、玉葉

百練抄 長門本平家物語

廿一日、是ヨリ先、熊野僧徒、志摩伊勢ノ海濱ヲ掠
メ、進ミテ固瀬河ニ至ル、關信兼等、船江ニ逆撃シ
テ、之ヲ破リ、首魁、戒光ヲ斬ル、玉葉 吾妻鏡
廿三日、四條東洞院燒亡ス、明月記
賴朝、僧長榮ヲシテ、武藏長尾寺及ビ求明寺ヲ管
セシム、吾妻鏡

廿四日、高倉天皇遺詔奏、是日、倚廬ニ渡御アラセ
ラル、玉葉

廿五日、清盛、女御子 姫君ヲ法皇宮ニ進メ奉ル、玉葉 保

曆間記 參考源平盛衰記

法印信圓ヲ興福寺別當ニ、權少僧都覺憲ヲ同權
別當ニ補ス、玉葉 僧官補任 興福寺寺務次第 興福寺略年代記

歷代編年集成

廿六日、尊勝陀羅尼供養、仁和寺御傳
熊野僧徒、伊勢宇治山田兩郷ヲ襲ヒ、人家ヲ燒キ、
資財ヲ掠ム、吾妻鏡

攝政基通、興福寺燒失後ノ處分ヲ、右大臣兼實ニ
諮ル、玉葉

廿七日、高倉天皇二七日御法事、玉葉

廿八日、源行家、進ミテ尾張ニ入ル、同國目代、使ヲ
六波羅ニ遣シテ、援ヲ請フ、玉葉 皇代曆 保曆間記 長門

本平家物語 參考源平盛衰記

廿九日、右大臣兼實、高倉天皇ノ御爲ニ、喪服ヲ著
シ、御陵ニ於テ、諷誦ヲ修シ、經供養ヲ行フ、玉葉

是月、東寺長者禎喜、大僧正ヲ辭シ、定遍ヲ權少僧
正ニ任セラレンコトヲ請フ、歷代皇記裏書

京中ノ人家ヲ點ジテ、兵士ノ宿舍ニ充ツ、是ニ依
リテ、兵士ノ狼籍至ラザルナク、庶民恟々タリ、玉

葉 百練抄 長門本平家物語

二月小 戊寅 朔 盡

一日、賴朝、北條時政ノ女ヲ足利義兼ニ、平廣常ノ
女ヲ加々美長清ニ嫁セシム、吾妻鏡
二日、法皇、最勝光院内ノ故建春門院ノ御所ニ徙
御アラセラル、玉葉

攝政基通、興福寺佛像及ビ佛事ノ處置ヲ、左大臣
經宗、右大臣兼實以下ニ諮ル、玉葉

三日、越後權守大中臣親通卒ス、大中臣氏系圖

四日、平時忠、高倉天皇ノ遺詔ト稱シ、故建春門院
ノ御莊及ビ京地ヲ中宮ノ御領トナス、玉葉

五日、倚廬ヨリ出御アラセラル、玉葉

中原師尙、東大寺燒亡ノ勘文ヲ上ル、東大寺續要錄

高倉天皇御齋會定、是日、開關、玉葉

右大臣兼實ノ女疾ム、尋デ、平愈ス、玉葉

六日、中宮、高倉天皇ノ御佛事ヲ修シ給フ、玉葉 明

月記

七日、春日祭ヲ停ム、玉葉

左右京職官人及ビ官使檢非違使ヲシテ、京中在

養和元年二月

家ヲ計注セシメ、又官使檢非違使ヲ美濃ニ遣シ
テ、渡船ヲ點檢セシム、又五畿七道諸國神社佛寺
及ビ諸司諸家ヲシテ、不動明王像ヲ圖シ、尊勝陀
羅尼ヲ書寫シテ、之ヲ供養シ、兵禍ヲ禳ハシム、是
日、前越中守平盛俊ヲ丹波諸莊園總下司ト爲ス、
玉葉 百練抄 一代要記 保曆間記 參考源平盛衰記

九日、前武藏權守源義基ノ首ヲ梟シ、生虜、石川義
資、紺戸義廣ヲ左獄ニ下ス、玉葉 吾妻鏡 百練抄 保曆間

記 尊卑分脈 諸系圖 參考源平盛衰記

律師寬顯寂ス、諸門跡譜 尊卑分脈

十日、賴朝、安房國在廳ヲシテ、須宮ノ雜事ヲ免除
セシム、吾妻鏡

皇嘉門院ノ侍、過怠ニ依リテ、上日衆五人ヲ召籠
ム、玉葉

十一日、高倉天皇四七日御法事、明月記
鎮西ニ令シテ、菊池高直ヲ討タシム、玉葉 保曆間記

參考源平盛衰記

東寺長者法印權大僧都任覺寂ス、歷代皇記裏書 東寺王

代記 尊卑分脈 東寺長者補任 仁和寺諸院家記 本朝高僧傳

十二日、高倉天皇結緣經供養、玉葉 明月記

東國追討使左兵衛督平知盛、病ニ依リテ歸洛ス、

玉葉 吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記 [附錄] 參考源平盛衰記

法印能覺ヲ遍昭寺別當ニ補ス、仁和寺諸院家記

十六日、小河重清、蓑浦義明等ノ首ヲ京都ニ傳フ、

玉葉 吾妻鏡 百練抄 參考源平盛衰記

十七日、權中納言平賴盛ノ八條第二行幸アラセ

ラル、是日、從三位藤原通子ヲ准三后ト爲ス、玉葉

百練抄

伊豫國、河野通信、額西寂ヲ殺シ、國人多ク之ニ從

ヘル狀ヲ奏ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

熊野僧徒等、阿波ヲ掠ム、玉葉

十八日、高倉天皇五七日御法事、玉葉 明月記

賴朝、大河戶廣行、弟秀行、行元、行平等ヲ免ス、又

其父流人重行ヲ伊豆ヨリ召還ス、重行、途ニシテ

死ス、吾妻鏡

十九日、皇嘉門院、故關白忠通ノ忌日ヲ修シ給フ、

是日、攝政基通、淨光明院ニ詣ツ、玉葉

廿三日、右大臣兼實ノ第二五體不具ノ穢アリ、玉

葉

廿四日、權中納言藤原朝方ノ皇太后宮大夫ヲ罷

ム、一代要記 公卿補任

皇嘉門院小御堂修二月會、玉葉

廿五日、高倉天皇ノ御爲ニ、御齋會ヲ最勝光院ニ

行ハセラル、玉葉 明月記

民部卿藤原資長出家ス、玉葉 明月記 一代要記 公卿補任

越後守城資永卒ス、玉葉 吉記 長門本平家物語 吾妻鏡 諸

家系圖纂 參考源平盛衰記 玉葉

廿六日、最勝光院修二月會、玉葉

是ヨリ先、平宗盛奏請シテ、自ラ追討使ト爲リ、是

日、將ニ發セントス、清盛ノ疾ニ依リテ止ム、玉葉

參考源平盛衰記 平家物語

遠江安田義定、平氏ノ軍大ニ至ルヲ以テ、急ヲ賴

朝ニ告グ、吾妻鏡

廿八日、中宮御不例、玉葉

志太義廣、常陸鹿嶋社領ヲ掠ムルヲ以テ、賴朝、之

ヲ禁ゼシム、是日、賴朝、和田義盛、岡部忠綱、狩野

親光、宇佐美祐茂、土屋義清等ヲ遠江ニ遣シ、安田

義定ヲ援ケシム、吾妻鏡

廿九日、高倉天皇御法事、右大臣兼實モ亦、私ニ高

倉天皇ノ御爲ニ、佛經ヲ御陵ニ供養ス、中宮臨御

アラセラル、玉葉 明月記 三僧記類聚

刑部卿藤原賴輔、鎮西ノ亂ニ依リテ、將ニ豊後ニ

赴カントシ、右大臣兼實ニ辭別ス、玉葉

是月、左兵衛督丹波守平知盛ヲ罷ム、公卿補任

肥後人原田種直、西海ノ兵二千ヲ募リ、菊池隆直、

緒方維能ヲ擊ツ、吾妻鏡

閏二月 大 未 朔 盡

養和元年閏二月

死ス、吾妻鏡

十九日、皇嘉門院、故關白忠通ノ忌日ヲ修シ給フ、

是日、攝政基通、淨光明院ニ詣ツ、玉葉

廿三日、右大臣兼實ノ第二五體不具ノ穢アリ、玉

葉

廿四日、權中納言藤原朝方ノ皇太后宮大夫ヲ罷

ム、一代要記 公卿補任

皇嘉門院小御堂修二月會、玉葉

廿五日、高倉天皇ノ御爲ニ、御齋會ヲ最勝光院ニ

行ハセラル、玉葉 明月記

民部卿藤原資長出家ス、玉葉 明月記 一代要記 公卿補任

越後守城資永卒ス、玉葉 吉記 長門本平家物語 吾妻鏡 諸

家系圖纂 參考源平盛衰記 玉葉

廿六日、最勝光院修二月會、玉葉

是ヨリ先、平宗盛奏請シテ、自ラ追討使ト爲リ、是

日、將ニ發セントス、清盛ノ疾ニ依リテ止ム、玉葉

參考源平盛衰記 平家物語

二日、御不豫、玉葉

三日、高倉天皇七々日御法事、是日、中宮、六波羅泉

殿ニ行啓アラセラル、玉葉 明月記

前權大納言藤原邦綱出家ス、玉葉 一代要記 皇代曆 公

卿補任

四日、入道前太政大臣平清盛薨ズ、玉葉 明月記 大乘

院古日記殘闕 吾妻鏡 愚管抄 百練抄 歷代編年集成 一代要記 皇

代曆 公卿補任 興福寺略年代記 東寺王代記 高野春秋 東大寺續要

錄 尊卑分脈 保曆間記 參考源平盛衰記 古事談 大槐祓抄 伯耆國

大山寺緣起 [附錄] 長講堂過去帳 參考源平盛衰記

五日、右大臣兼實、佛經ヲ供養ス、玉葉

六日、公卿ヲ院ノ殿上ニ會シ、賴朝以下追討ノ事

ヲ議ス、玉葉 明月記 百練抄 參考源平盛衰記 長

故清盛ノ八條坊門第燒亡ス、百練抄 參考源平盛衰記 長

門本平家物語

七日、清盛ヲ愛宕ニ茶毗シ、後骨ヲ經島ニ藏ム、吾

妻鏡 百練抄 保曆間記 參考源平盛衰記 賴朝、乳母摩々ヲ召シ、屋敷田畠ヲ與フ、吾妻鏡

八日、右大臣兼實、不動尊畫像及ビ尊勝陀羅尼ヲ
供養ス、玉葉
十日、前檢非違使景高姓闕ヲシテ、兵千餘ヲ率キ、
源賴朝ヲ討タシム、玉葉 吾妻鏡
十二日、中宮、八條第ヨリ、故清盛ノ六波羅第ニ移
御アラセラル、玉葉

十四日、入道前太政大臣平清盛薨奏、廢朝三日、是
日、高倉天皇ノ女房等、普賢菩薩銀像一體及ビ一
品經ヲ供養シ、御冥福ヲ資ケ奉ル、玉葉

十五日、平重衡ヲシテ、一萬三千餘騎ヲ率キ、院宣
ヲ齎シテ、東國ニ諭シ、源賴朝ヲ討タシム、玉葉 明
月記 吾妻鏡 百練抄 皇帝紀抄 皇代曆 保曆間記 參考源平盛衰記

十七日、和田義盛等、遠江ニ到リ、安田義定ニ會シ、
進ミテ橋本ニ宿シ、平氏ノ軍ノ到ルヲ待ツ、吾妻鏡
二十日、賴朝ノ叔父志田義廣、鎌倉ヲ襲ハントシ、
兵數萬ヲ率キテ下野ニ到ル、賴朝、乃チ小山宗政、
關政平ヲ遣シ、下河邊行平、小山朝政等ヲ援ケシ

ム、政平、反シテ義廣ニ投ズ、吾妻鏡
廿一日、賴朝、七日ヲ限り、鶴岡若宮ニ詣テ、戰捷ヲ
祈ル、吾妻鏡

廿三日、入道前權大納言藤原邦綱薨ズ、玉葉 皇代曆
一代要記 高倉院升遐記 尊卑分脈 公卿補任 參考源平盛衰記 賀茂
皇太神宮記

小山朝政、志田義廣ト戰ヒ、之ヲ却ク、吾妻鏡 保曆間
記

廿四日、藤原邦綱ヲ葬ル、玉葉 明月記

廿五日、法皇、鳥羽殿ヨリ法住寺殿ニ徙御アラセ
ラル、玉葉 百練抄 歷代編年集成 保曆間記 參考源平盛衰記

足利忠綱、義廣ノ敗ヲ聞キ、遁レテ西海ニ奔ル、吾
妻鏡

廿六日、攝政基通疾ム、玉葉

廿七日、小山朝政、捷ヲ賴朝ニ報ズ、吾妻鏡

廿八日、賴朝、常陸上野下野ノ義廣ニ黨與セル者
ノ所領ヲ收メ、小山朝政、朝光ヲ賞ス、吾妻鏡

三十日、大、晝御座御劍ノ裝具ヲ嚙ム、百練抄
是月、火星、南斗ヲ守ル、玉葉

三月 丁丑 朔盡

一日、興福寺、東大寺ノ莊園及ビ僧綱ノ官ヲ復ス、
玉葉 興福寺略年代記 東大寺文書 參考源平盛衰記

攝政基通御燈、是日、上西門院、法皇御所ニ渡御ア
ラセラル、吉記

賴朝、亡母ノ忌日ヲ土屋義清ノ龜谷堂ニ修ス、吾
妻鏡

二日、賀茂社怪異、吉記

三日、諒闇ニ依リテ、御燈ヲ停ム、是日、廢務、吉記

四日、皇嘉門院御所災ス、玉葉 吉記 百練抄

六日、小除目、兵部少丞藤原忠兼、右衛門少尉源光
長ヲ解官ス、長日十一面御供始、是日、右大臣兼實
除服ス、吉記 玉葉

大中臣能親、書ヲ中八維平ニ贈リ、熊野僧徒ノ伊

雜宮ニ狼藉スルヲ訴フ、吾妻鏡

七日、地震、月、鎮星ヲ犯ス、吉記

賴朝、武田信義ヲ疑ヒ、誓書ヲ致サシム、吾妻鏡

八日、高倉天皇御月忌ヲ最勝光院ニ修ス、是日、藏
人頭藤原經房、賀茂社造營以下條々ノ事ヲ法皇
ニ奏ス、吉記

九日、法皇、賀茂社造營ノ事ヲ、左大臣經宗ニ問ハ
シメ給フ、吉記

大炊御門富小路燒亡ス、吉記

十日、法勝寺阿彌陀堂御念佛始、吉記

平重衡、平通盛、平維盛、平忠度等、源行家ト洲股河
ニ戰ヒ、大ニ之ヲ破リ、郷公義圓ヲ斬ル、玉葉 吉記

吾妻鏡 百練抄 皇帝紀抄 一代要記 皇代曆 歷代編年集成 保曆
間記 參考源平盛衰記 尊卑分脈

十一日、法皇、賀茂社造營ノ事ヲ、右大臣兼實ニ問
ハシメ給フ、玉葉 吉記

十二日、法勝寺御念佛結願、吉記

攝政基通、使ヲ遣シテ、興福寺造營ノ事ヲ、右大臣兼實ニ諮ル、玉葉

賴朝、神領ヲ常陸鹿島社ニ寄セ奉リ、鹿島政幹ヲ同社惣追捕使ト爲ス、吾妻鏡 鹿島社文書〔參考〕 鹿島大禰

宜文書

十三日、安田義定、使ヲ鎌倉ニ遣シ、淺羽宗信、相良三郎ヲ罪センコトヲ請フ、吾妻鏡

十四日、政始、高倉天皇御月忌、是日、除目御修法阿闍梨ヲ定ム、吉記

十五日、祇園一切經會、玉葉

出納職景姓關ヲ遣シ、閑院ヲ檢セシム、吉記

十六日、藏人經泰姓關ヲ遣シ、閑院ヲ檢セシム、吉記

十八日、石清水八幡宮記録ズ、石清水八幡宮記録

東大寺興福寺燒失ノ跡ヲ檢シ、尋デ、仗議ヲ行ヒ、造寺官ヲ任ズ、玉葉 吉記 一代要記 東大寺續要錄

法皇皇子、承明雲僧正ニ御入室アラセラル、華頂要

廿九日、除目下名、是夜、五條坊城燒亡ス、玉葉 吉記

是月、前參議藤原光能ニ朝參ヲ聽ス、公卿補任

入道前太政大臣師長、尾張ヨリ京ニ還ル、玉葉

東寺長者大僧正禎喜ノ、法勝寺別當ヲ罷ム、東寺長者補任

四月大 丙午 朔 盡

一日、平座、是日、中宮御所ニ五體不具穢アリ、吉記

賴朝、鶴岡社ニ詣ツ、吾妻鏡

三日、平野祭、諒闇ニ依リテ、使ヲ發遣セズ、是日、鎮星、輿鬼ヲ犯ス、吉記 玉葉〔參考〕和漢三才圖會

四日、梅宮祭、吉記

六日、皇嘉門院、御方違御幸アラセラル、玉葉

七日、閑院行幸御裝束始、吉記

參議正三位藤原賴定薨ズ、玉葉 吉記 明月記 一代要記 尊卑分脈 公卿補任

二十日、祈年穀奉幣定、尋デ、宣命草ヲ奏ス、玉葉 吉記

廿一日、除目御修法始、吉記

皇嘉門院御所右大臣兼實第等火アリ、玉葉 吉記

百練抄

觀音院御影供、是日、高野山奧院御影堂ニ諷誦ヲ修ス、三僧記類聚 表白集

廿四日、除目始、玉葉 吉記 除目抄

廿五日、除目中夜、吉記

平重衡、京ニ還ル、玉葉

廿六日、除目入眼、玉葉 吉記 明月記 除目抄 一代要記 公卿補任 辨官補任

廿七日、一字金輪法ヲ修セシメ給フ、是日、法皇、新日吉社ニ御參籠アラセラル、玉葉 吉記

賴朝、片岡常春ノ所領ヲ收ム、吾妻鏡

賴朝、昵近ノ勇士ヲ撰ビ寢室ニ侍セシメ、不虞ニ備フ、吾妻鏡

八日、大神祭使ノ發遣ニ依リテ、灌佛ヲ停ム、皇嘉門院御灌佛、玉葉〔參考〕師光年中行事

仁王講ヲ閑院ニ修シ給フ、吉記

九日、參議藤原經房、神宮ノ觸穢及ビ日吉社ノ怪異、明日行幸雜事等ヲ法皇ニ奏ス、吉記

十日、小除目、玉葉 吉記

八條第ヨリ、閑院ニ遷御アラセラル、吉記 百練抄

十一日、禁中每事舊規ニ復セシム、吉記

十四日、平宗盛ヲシテ、菊池高直ヲ討タシム、吉記

百練抄

十六日、賀茂祭、玉葉 吉記 明月記

十七日、院判官代源時綱ヲ藏人ニ補ス、吉記

十八日、高野山僧心蓮寂ス、本朝高僧傳 高野春秋

十九日、吉田祭、玉葉

賴朝、平井紀六ヲ腰越ニ斬ラシム、吾妻鏡

二十日、祈年穀奉幣、吉記

小山田重成、賴朝ノ命ニ背キテ蟄居ス、吾妻鏡

廿五日、八條院、内裏ニ入御シ、即日、退出シ給フ、吉記

廿六日、平宗盛、參院シ、平重衡、參内ス、吉記

廿七日、七瀬御祓、吉記

廿八日、平時忠、母ノ病ニ依リテ、檢非違使別當ヲ辭センコトヲ請フ、公卿補任

院宣ヲ陸奥ノ住人藤原秀衡ニ下シテ、源賴朝ヲ討タシム、玉葉 參考源平盛衰記

廿九日、左女牛堀河焼亡ス、吉記

三十日、御撫物使ニ違例アリ、是日、法皇、十度御講ヲ行ヒ給フ、吉記 玉葉

賴朝、淺羽宗信ノ所領ヲ復ス、吾妻鏡

是月、京師餓死スル者途ニ滿ツ、吉記

五月大 丙子 朔 盡

一日、法勝寺三十講始、吉記

二日、法皇、伊勢以下九社ニ銀劍及ビ唐錦等ヲ奉リ、住吉社ニ甲冑一具ヲ加ヘ奉リ給フ、是日、藏人源時綱從事、吉記

三日、六衛府、菖蒲輿ヲ進獻ス、吉記

四日、宮中菖蒲ヲ葺ク、是日、春日社第四殿神鏡、自ラ墜チテ壞ル、吉記 百練抄

諒闇ニ依リテ、右近衛府荒手結ヲ停ム、玉葉

六日、右近衛府眞手結、玉葉

吉野ノ僧徒、以仁王ノ御子ト稱スル者ヲ奉ジテ蜂起ス、法皇、奈良ノ僧徒ヲシテ、之ヲ索捕セシメラル、玉葉

八日、園城寺僧日慧、鎌倉ニ至リ、其師日胤ノ遺命ヲ賴朝ニ傳フ、吾妻鏡

九日、新日吉小五月會、競馬アリ、玉葉

十一日、院御所ニ怪異アリ、吉記

十四日、三合御祈二十二社奉幣定、吉記

十五日、月食、是日、院供花始、玉葉 明月記

十六日、賴朝、村山賴直ヲシテ、本領ヲ安堵セシム、吾妻鏡 〔參考〕 尊卑分脈

十八日、法橋實顯ヲ法勝寺御八講導師ト爲ス、吉記

十九日、明年三合厄ニ値ルヲ以テ、二十二社ニ奉幣シテ、之ヲ祈禳セシム、吉記

源行家、告文及ビ幣帛ヲ伊勢兩大神宮ニ奉リ、戰捷ヲ祈ル、吾妻鏡 參考源平盛衰記 〔參考〕 玉葉

廿一日、法金剛院中ノ上西門院御所災ス、吉記 百練抄

廿二日、中宮及ビ攝政基通、右大臣兼實以下諸臣、五部大乘經ヲ供養シ、高倉天皇ノ御冥福ヲ資シ奉ル、吉記

東寺長者大僧正禎喜、六勝寺別當ヲ辭ス、東寺長者 補任

廿六日、伊勢神宮及ビ日吉社怪異ヲ軒廊ニトス、

養和元年六月

一日、法勝寺三十講始、吉記

二日、法皇、伊勢以下九社ニ銀劍及ビ唐錦等ヲ奉リ、住吉社ニ甲冑一具ヲ加ヘ奉リ給フ、是日、藏人源時綱從事、吉記

三日、六衛府、菖蒲輿ヲ進獻ス、吉記

四日、宮中菖蒲ヲ葺ク、是日、春日社第四殿神鏡、自ラ墜チテ壞ル、吉記 百練抄

諒闇ニ依リテ、右近衛府荒手結ヲ停ム、玉葉

六日、右近衛府眞手結、玉葉

吉野ノ僧徒、以仁王ノ御子ト稱スル者ヲ奉ジテ蜂起ス、法皇、奈良ノ僧徒ヲシテ、之ヲ索捕セシメラル、玉葉

八日、園城寺僧日慧、鎌倉ニ至リ、其師日胤ノ遺命ヲ賴朝ニ傳フ、吾妻鏡

九日、新日吉小五月會、競馬アリ、玉葉

十一日、院御所ニ怪異アリ、吉記

是日、小除目、平重衡ヲ左近衛中將ニ任ジ、從三位ニ敘ス、玉葉 吉記 皇代曆 公卿補任 職事

廿七日、季御讀經始、賑給定、玉葉 吉記 補任

廿八日、左衛門督平時忠母卒ス、吉記 玉葉 公卿補任

廿九日、伊勢兩大神宮禰宜等、源行家ノ請ヲ容レズ、吾妻鏡

大僧正信圓ヲ興福寺別當ニ補ス、興福寺三綱補任

三十日、季御讀經結願、僧事ヲ行ヒ、阿闍梨解文ヲ下ス、是日、藏人ヲ補ス、玉葉 吉記

六月小 丙午 朔 盡

一日、忌火御飯ヲ供ス、吉記

三日、法皇、園城寺ニ御幸アラセラル、長門本平家物語

五日、皇嘉門院、僧正覺智ノ六條壬生第二御幸アラセラル、玉葉

六日、神泉苑ニ雩ス、是日、春日殿周忌法事、吉記

六五三

ラセラレ、祇園神輿ヲ避ケ給フ、是日、祈雨奉幣、小除目、右近衛少將平維盛ヲ右近衛中將ニ任ズ、玉

葉 吉記 明月記 皇代曆 一代要記 職事補任

十一日、月次祭、神今食、吉記

十三日、仗議、玉葉

鴨社怪異、吉記

是ヨリ先、賴朝、新第ヲ鎌倉ニ營ミ、是ニ至リテ成リ、之ニ徙ル、吾妻鏡

十四日、天台座主明雲、僧徒ト和セズ、玉葉

十五日、八條第ヨリ閑院ニ還御アラセラル、吉記

造興福寺定、尋テ、小除目、右中辨藤原兼光ヲ造興福寺長官ト爲ス、又僧事ヲ行ヒ、覺快法親王ヲ無動寺檢校ト爲ス、是日、神泉苑及ビ龍穴御讀經定、

玉葉 吉記 百練抄 一代要記 辨官補任 僧官補任 華頂要略

十六日、孔雀經法ヲ神泉苑ニ修シテ雨ヲ祈ル、是

日、内舍人功ヲ募リ、木工寮葺屋ヲ造ラシム、吉記

東寺長者補任

十八日、招魂祭、從三位平重衡慶ヲ申ス、是日、京中ニ光物アリ、吉記

十九日、藏人頭平經盛、慶ヲ申ス、吉記

賴朝、三浦ニ遊ビ、三浦義連ノ第二宿シ、明日、鎌倉ニ還ル、吾妻鏡

二十日、石清水八幡宮ニ奉幣使ヲ遣ス、是日、造興

福寺木作始、吉記 一代要記 興福寺略年代記 石清水八幡宮記錄

廿二日、炎旱及ビ鴨社春日社怪異ヲ軒廊ニトス、

是日、神泉苑御讀經結願、吉記 東寺長者補任 仁和寺諸院家

記 廿四日、右大臣兼實、泰山府君祭ヲ行フ、玉葉

廿五日、客星、北極ニ見ハル、玉葉 明月記 吾妻鏡 百練抄

〔參考〕和漢三才圖會

廿六日、造東大寺定知識詔書ヲ下ス、尋テ、行事除

目ヲ行ヒ、左少辨藤原行隆ヲ長官ト爲ス、玉葉 吉

記 百練抄 一代要記 辨官補任 東大寺續要錄 東大寺造立供養記

源空上人傳 東大寺緣起 元亨釋書 參考源平盛衰記

法勝寺ノ池ニ雙頭蓮花開ク、吉記 百練抄

入道前關白基房ノ書籍ヲ、其家ニ還付ス、百練抄

廿九日、大祓、是日、北極祭ヲ行フ、吉記 〔附錄〕玉葉

是月、中納言平時忠ノ、檢非違使別當ヲ罷ム、一代

要記 皇代曆

城長茂、六萬餘騎ヲ率キテ信濃ニ入ル、義仲、二千

餘騎ヲ以テ、逆擊シテ之ヲ破ル、玉葉 吉記 皇代紀抄

歷代編年集成 一代要記 皇代曆 參考源平盛衰記

七月 大 乙亥 盡

二日、復任除目、玉葉 公卿補任

三日、造東大寺大佛日時定、一代要記

五日、賴朝、長尾定景ヲ免ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

七日、右大臣兼實家乞巧奠、玉葉

八日、最勝光院御八講始、是日、皇嘉門院、右近衛大

將藤原良通ノ爲ニ、大般若讀經ヲ行ヒ、病ヲ祈禳

セシメラル、玉葉

臨時太元法ヲ修セシム、是日、興福寺造佛司ヲ補

養和元年七月

ス、玉葉 吉記 一代要記 參考源平盛衰記

十二日、最勝光院御八講結願、法皇、今熊野ヨリ之

ニ御幸アラセラル、是日、頭辨藤原經房ヲ、右大臣

兼實ノ第二遣シ、今年孟蘭盆ヲ行フベキヤ否ヤ

ヲ謀ラシム、玉葉

十四日、養和ト改元ス、吉記 玉葉 槐林記 改元部類記 元

祕別錄 吾妻鏡 百練抄 歷代編年集成 皇代紀抄 一代要記 保曆間

記 公卿補任 東寺長者補任 元亨釋書 皇代記 皇年代略記 鳩嶺年

代記 如是院年代記 興福寺略年代記 改元鳥兔記 類聚大補任 參考

源平盛衰記 十六日、法皇、密ニ平宗盛ノ六波羅第二御幸アラ

セラル、玉葉

十八日、平通盛ヲ北陸道ニ遣シ、源氏ニ應ズル者

ヲ討タシム、玉葉

二十日、鎌倉鶴岡若宮上棟、賴朝、之ニ臨ム、是日、

下河邊行平、刺客左中太常澄ヲ捕フ、賴朝、行平ヲ

賞シテ、其所領ニ毎年ノ貢馬ヲ免ス、吾妻鏡

廿一日、播磨ニ國司ニ乖ク者アリ、玉葉

六五五

賴朝、刺客左中太常澄ヲ斬ラシム、吾妻鏡

廿三日、臨時太元法結願、玉葉

廿四日、是ヨリ先、多武峰尊像破裂ス、是ニ至リテ、

攝政基通、告文ヲ多武峯椎岡ニ奉リ、兼テ造興福

寺ノ事ヲ告ゲ奉ル、玉葉 多武峰略記

廿八日、興福寺講堂上棟、玉葉 一代要記 興福寺略年代記

從五位下大中臣隆賴卒ス、大中臣氏系圖

八月小乙巳朔盡

○一日、是ヨリ先、賴朝、密ニ法皇ニ奏シテ、平氏ト和

シ、並ニ朝廷ニ仕ヘンコトヲ請フ、法皇、狀ヲ以テ

宗盛ニ示シ給フ、宗盛、肯ゼズ、玉葉

勸修寺八講始、吉記

二日、從五位下大中臣親光卒ス、大中臣氏系圖

三日、臨時仁王會定、諒闇ニ依リテ釋奠ヲ停ム、是

日、法皇、清水寺ニ御幸アラセラレ、又莊園ヲ諸社

ニ奉リ、兵禍ヲ禱ラント欲シ給ヒ、藏人頭左中辨

藤原經房ニ命ジ、左大臣經宗ニ諮ラシメラル、吉記

太白、辰星相犯ス、玉葉

平貞能ヲ鎮西ニ遣シ、菊池原田諸氏ノ源氏ニ應

ズル者ヲ討タシム、玉葉 保曆間記 參考源平盛衰記

四日、藏人敍爵、僧事、吉記 玉葉 百練抄

上醍醐清瀧會、表白集

五日、軒廊御卜、吉記

六日、法皇、鳥羽ニ御幸アラセララル、玉葉

法皇又、藤原經房ヲシテ、諸社ニ兵革御祈ノ爲ニ、

諸社ニ莊園寄進ノ事ヲ右大臣兼實ニ諮ラシム、

玉葉

七日、鳥羽成菩提院念佛始、玉葉

藤原賴輔ノ室出家ス、玉葉

九日、仁王會ヲ太政官廳ニ修シテ、天變兵革ヲ祈

禳ス、吉記 參考源平盛衰記

皇嘉門院、壬生ヨリ藤原賴輔ノ九條第二還御ア

ラセララル、玉葉

十日、祈年穀奉幣定、吉記

皇嘉門院御所上棟、玉葉

造東大寺大佛事始、一代要記 興福寺略年代記

十一日、大極殿料ノ用材ヲ以テ、興福寺講堂料ニ

充ントス、物議ニ依リテ果サズ、玉葉

八條院廳、宣ヲ下シ、伯耆一宮ノ加納ヲ免ズ、玉葉

十二日、權僧正全玄ヲシテ、藥師法ヲ其本坊ニ修

セシム、吉記

十四日、鳥羽成菩提院念佛結願、法皇、仁和寺ニ御

幸アラセラレ、理趣三昧ヲ行ハセ給フ、玉葉

中宮亮平通盛、但馬守平經正ヲ北陸道ニ遣シテ、

源義仲ヲ討タシム、百練抄 吾妻鏡 長門本平家物語

十五日、石清水放生會、玉葉 吉記 石清水八幡宮記錄

藤原秀衡ヲ陸奥守ニ、平親房ヲ越前守ニ、平助職

ヲ越後守ニ任ジ、竝ニ諸國ノ源氏ヲ討タシム、玉

葉 吉記 吾妻鏡 百練抄 參考源平盛衰記

養和元年八月

藤原經房ニ命ジ、左大臣經宗ニ諮ラシメラル、吉記

太白、辰星相犯ス、玉葉

平貞能ヲ鎮西ニ遣シ、菊池原田諸氏ノ源氏ニ應

ズル者ヲ討タシム、玉葉 保曆間記 參考源平盛衰記

四日、藏人敍爵、僧事、吉記 玉葉 百練抄

上醍醐清瀧會、表白集

五日、軒廊御卜、吉記

六日、法皇、鳥羽ニ御幸アラセララル、玉葉

法皇又、藤原經房ヲシテ、諸社ニ兵革御祈ノ爲ニ、

諸社ニ莊園寄進ノ事ヲ右大臣兼實ニ諮ラシム、

玉葉

七日、鳥羽成菩提院念佛始、玉葉

藤原賴輔ノ室出家ス、玉葉

九日、仁王會ヲ太政官廳ニ修シテ、天變兵革ヲ祈

禳ス、吉記 參考源平盛衰記

皇嘉門院、壬生ヨリ藤原賴輔ノ九條第二還御ア

鶴岡若宮遷宮、是日、平經正、北陸道ニ進發ス、吉記

吾妻鏡

十六日、祈年穀奉幣、信濃、馬ヲ貢セザルヲ以テ、駒

牽ヲ停ム、百練抄 櫻囊抄 吉記

春日社託宣、玉葉 吉記

伊勢守平清綱、上總介藤原忠清等ヲ遣シ、源賴朝

ヲ討タシム、是日、平通盛、北陸道ニ進發ス、吉記 吾

妻鏡 參考源平盛衰記

十七日、皇太后宮權大輔藤原隆輔、季隆ト改名ス、

吉記 公卿補任

十八日、月、畢大星ヲ犯ス、玉葉

二十日、東大寺知識詔書覆奏、是日、阿闍梨解文ヲ

下ス、吉記

月、天關ヲ犯ス、玉葉

廿三日、平通盛、越前國府ニ至ル、加賀ノ源氏、火ヲ

放チテ、大野坂北兩郷ヲ燒ク、吉記

廿七日、右大臣兼實家政所所宛、玉葉

頼朝、澁谷重國父子ヲ賞シ、其領澁谷下郷ノ所濟乃貢ヲ免ス、吾妻鏡

廿八日、右大臣兼實家ニ五體不具穢アリ、玉葉

廿九日、法皇ノ皇子承仁法親王、延曆寺ニテ、御受戒アラセラル、玉葉 明月記 皇代曆 華頂要略 飾抄

頼朝、大般若經、仁王經等ヲ鶴岡若宮及ビ近國ノ寺社ニ轉讀セシム、吾妻鏡

是月、伊豫在廳河野通有殺サル、吉記

東大寺、黒田莊ノ新莊出作田數及ビ四至ヲ注進シ、院廳下文ニ載セラレンコトヲ請フ、東大寺古文書

九月大 朔

三日、右大辨藤原重方、疾ニ依リテ出家ス、玉葉 辨

官補任

四日、平野社恠異、行事辨ノ不參ニ依リテ、御トヲ停ム、吉記

院供花、玉葉 明月記

義仲軍ノ先鋒根井太郎、越前ニ入り、平通盛ノ軍ト水津ニ戰フ、吾妻鏡

五日、法皇、十一日ヲ期シ、四天王寺ニ詣デントシ給フ、平宗盛ノ議ニ依リテ、之ヲ停メラル、玉葉

六日、熊野權別當湛増、兵ヲ起シテ頼朝ニ應ズ、鎮西ノ菊池、原田ノ二氏相合シテ、平貞能ヲ逆撃セントスルヲ聞キ、貞能、備中ニ留リ、糧食ヲ請フ、玉葉

平通盛ノ軍敗レ、退キテ敦賀城ニ據ル、玉葉 吉記

百練抄 長門本平家物語 參考源平盛衰記

七日、頼朝、和田義茂ヲ下野ニ遣シ、足利俊綱ヲ討タシム、吾妻鏡 玉葉

八日、右大臣兼實、四天王寺ノ額ヲ書ス、玉葉

九日、平座、吉記

十一日、例幣、玉葉 吉記 長門本平家物語 參考源平盛衰記

十四日、金銅ノ鎧ヲ伊勢大神宮ニ奉ル、玉葉 吉記

百練抄 大中臣氏系圖 吾妻鏡 長門本平家物語 參考源平盛衰記

十六日、是ヨリ先、足利俊綱ノ臣桐生六郎、俊綱ヲ

斬リ、和田義茂ニ降ル、義茂、乃チ六郎ヲシテ、俊綱ノ首ヲ鎌倉ニ傳ヘシム、吾妻鏡

伊勢大神宮ニ恠異アリ、吉記 吾妻鏡

十八日、法皇、藏人頭右中辨藤原經房ニ命ジテ、伊勢大神宮伊雜宮寶殿破損ノ造營及ビ給料藤原季光、文章生藤原宗業方略ヲ請フノ兩條ヲ、右大臣兼實ニ諮ラシム、玉葉

頼朝、桐生六郎ヲ斬ラシム、是日、和田義茂ニ命ジテ、俊綱等ノ遺族ヲ綏撫セシム、吾妻鏡

熒惑、哭星ヲ犯ス、玉葉

十九日、皇居閑院殿上ニ白鷺アリ、吉記

二十日、皇嘉門院、御處分狀ヲ法皇ノ御覽ニ供ヘ給フ、玉葉

廿一日、平宗盛、兵ヲ遣シテ、故源頼政ノ臣彌太郎盛兼姓闕ヲ捕ヘントス、盛兼自殺ス、尋デ、前少納言宗綱姓闕ヲ權大納言源資賢ノ第二捕フ、玉葉 吉

記 吾妻鏡

廿二日、春日社神體鏡奉懸日時ヲ勘申ス、是日、藤原經房、社寺ヲ巡拜ス、吉記

院太白星祭御鏡ノ破損ヲトス、玉葉 吉記

廿三日、小除目、右衛門督藤原實家ヲ檢非違使別當ニ補シ、藏人頭右中辨藤原經房ヲ右大辨ニ任ジ、藤原光能ヲ參議ニ還任シ、參議平知盛ヲ罷ム、尋デ、僧事アリ、玉葉 吉記 皇代曆 一代要記 公卿補任 辨官補任

右大臣兼實、私ニ春日社ニ幣帛及ビ告文ヲ奉ル、玉葉

廿四日、源氏ノ黨二川三郎、平宗盛ノ大和大福莊ノ民家ヲ燒クトノ風聞アリ、玉葉

大中臣有定卒ス、大中臣氏系圖

廿七日、右大辨藤原經房、慶ヲ申ス、玉葉 吉記

京中ニ恠光アリ、玉葉

田口成良、平氏ノ命ニ依リ、河野氏ヲ伊豫ニ撃チ

テ、之ヲ破ル、吾妻鏡

廿八日、熊野僧徒、鹿背山ヲ塞ギ、源賴朝ニ應ズ、權中納言平賴盛ヲ遣シテ之ヲ討タシム、高野山モ亦、賴朝ニ應ズル者アリ、平宗盛、郎從ヲ伊勢美濃ニ遣シ、東國ノ兵ヲ防ガシム、玉葉

左馬頭平行盛、薩摩守平忠度ヲ遣シ、平通盛ヲ援ケシム、玉葉 百練抄 皇代曆 長門本平家物語

和田義茂、鎌倉ニ還ル、吾妻鏡

是月、山城守藤原行隆ヲ罷ム、辨官補任

三笠山ニ惟光アリ、玉葉

十月小 甲辰 朔 盡

二日、蓮華王院總社祭試樂、玉葉

伊勢ニ行幸シテ、兵革ヲ大神宮ニ祈ラレントシ、攝政及ビ左右大臣ヲシテ、之ヲ議セシム、例ナキニ依リテ、果シ給ハズ、玉葉 百練抄

院宣ヲ下シテ、東大寺領黒田莊出作竝ニ新莊所

當ヲ免ズ、東大寺古文書

前東大寺別當法印敏覺寂ス、東大寺別當次第

三日、蓮華王院總社祭、玉葉

更ニ平維盛ヲ遣シ、北陸道ノ平軍ヲ援ケシム、玉葉

吾妻鏡

五日、高階榮子、法皇皇女子 觀ヲ生ミ奉ル、女院小傳

右大臣兼實、法皇ニ奏シテ、世事ヲ避ケンコトヲ請フ、勅シテ之ヲ聽サズ、玉葉

六日、東大寺大佛ノ螺髮ヲ鑄始ム、玉葉 東大寺造立供

養記 東大寺續要錄

法皇、蓮華王院ニ御參籠アラセラル、玉葉

賴朝、大法師禪寂ヲ鶴岡若宮長日大般若經供僧職ニ、大法師玄信ヲ同最勝講供僧職ニ補ス、吾妻鏡

八日、平宗盛、相少納言入道宗綱ヲ糺問シ、尋デ、備中ニ流ス、玉葉

九日、造東大寺勸進僧重源、法皇、皇嘉門院以下洛中諸家ニ奉加ヲ請フ、玉葉

十日、興福寺維摩會、玉葉

十一日、院ニ於テ、心經千卷ヲ柿葉ニ書シテ、供養シ、東海西海ニ流ス、百練抄

熊野ノ源氏ニ應ズル者、法眼行命ヲ撃チ、其子及ビ郎從ヲ殺ス、玉葉

十二日、源賴朝、鹿嶋社ニ神領ヲ寄進ス、吾妻鏡

十三日、金峰山僧徒蜂起ス、玉葉

十四日、法皇、八萬四千基塔ヲ供養シ給ハントシ、右大臣兼實ヲシテ、五寸塔五百基ヲ造ラシム、玉葉

葉

十六日、陸奥守藤原秀衡、官軍ニ屬スベキ領狀ヲ上ル、玉葉

加賀守平爲盛ヲ遣シテ、熊野ノ僧徒ヲ討タシム、百練抄

二十日、法皇御願八萬四千基塔供養ノ爲ニ、皇嘉門院ニ五寸塔五百基ヲ造ラシメ、其他院宮ニ之ヲ課ス、玉葉

伊勢大神宮權禰宜度會光倫、鎌倉ニ至リ、源賴朝ニ謁ス、吾妻鏡

廿一日、東大寺火災ノコトヲ議定ス、皇嘉門院新造御所王相祭、是日、右大臣兼實ノ室、土公鬼氣祭ヲ修ス、玉葉 百練抄

五壇法ヲ日吉社ニ修シテ、兵革ヲ祈禳セシメラル、百練抄

廿二日、鴨社遷宮、百練抄 賀茂社御造營纂書

廿三日、皇嘉門院新造御所ニ、安鎮法ヲ修セララル、玉葉

葉

廿五日、定考及ビ大乘會日時僧名定、是日、皇嘉門院新造御所ニ大將軍祭ヲ行フ、玉葉

廿六日、右大臣兼實、泰山府君祭ヲ修ス、玉葉

法皇皇子承仁ヲ一身阿闍梨ニ補ス、華頂要略

廿七日、皇嘉門院新造御所ニ、仁王最勝講ヲ行フ、玉葉

保曆間記 參考源平盛衰記

法印覺算頓滅ス、玉葉 百練抄 僧官補任 尊卑分脈

廿八日、五壇法ヲ東寺ニ修シテ、兵革ヲ祈禳セシム、一代要記

右大臣兼實家ニ五體不具穢アリ、玉葉

圓勝寺執行法眼任祐、賊ノ爲ニ殺サル、百練抄

京中ニ強盜横行ス、吉記

是月、平宗盛、諸將ノ部署ヲ定メ、大舉シテ、東海、

東山、北陸、南海諸道ノ諸源氏ヲ討タントシテ、果

サズ、玉葉

十一月大 癸酉朔 盡

一日、梅宮祭、御曆奏、忌火御膳、吉記

二日、皇嘉門院、新造御所ニ御移徙アラセラル、玉

葉

三日、故攝政基實ノ女從三位藤原通子ニ、輦車ヲ

聽ス、是日、通子、里第二退出ス、吉記〔參考〕 尊卑分脈

皇嘉門院、舊御所ニ還御アラセラル、玉葉

五日、從三位藤原通子侍始、吉記

源賴朝、弟義經、足利義兼等ヲ遣シテ、平氏ノ軍ヲ防ガシメントス、佐々木秀能ノ議ニ依リテ、之ヲ停ム、吾妻鏡〔參考〕 玉葉

六日、僧事、法眼道快ヲ法印ニ敍シ、實圓ヲ權少僧都ニ任ジ、僧正房覺ニ牛車ヲ聽ス、玉葉 吉記 歷代皇

記裏書 華頂要略

天台座主覺快法親王薨ズ、玉葉 吉記 歷代皇記裏書 參

考源平盛衰記 本朝皇胤紹運錄 華頂要略 青蓮院門跡系譜 天台座主

記 本朝高僧傳

七日、從三位藤原通子、入内ス、吉記

法印道快ヲ極樂寺法興院等ノ別當ニ補ス、華頂要

略

九日、冷泉油小路燒亡ス、吉記

十日、法印道快ヲ楞嚴院、三昧院、成就院等ノ檢校

ニ補ス、是日、石清水別當慶清、兵ヲ構ヘ、八幡宮附

近ニ於テ、相戰フ、玉葉 吉記 華頂要略

右大辨藤原經房、先考光房ノ遠忌ニ依リテ、佛經

ヲ供養ス、吉記

十一日、故源賴政ノ一族加賀堅者、鎌倉ニ來リ、賴

朝ニ歸ス、吾妻鏡

十二日、春日祭、平野祭、是日、藤原秀光、同宗業ニ

學問料ヲ給ヒ、周防守藤原定輔ニ昇殿ヲ聽ス、玉

葉 吉記

十三日、日前國懸社遷宮及ビ吉田社御裝束調始

等ノ日時ヲ勘申ス、吉記

法印道快ヲ常壽院別當ニ補ス、華頂要略

十五日、前齋院ノ世尊寺亭災ス、百練抄〔參考〕 拾芥抄

十六日、大原野祭、是日、月食、仁王經御讀經ヲ内教

坊ニ修シテ、之ヲ祈禳セシム、玉葉 吉記

十八日、鎮魂祭、吉御裝束行事所始、吉記

十九日、新嘗祭、玉葉 吉記

皇嘉門院、新造御所ニ御幸アラセラル、玉葉

二十日、女王祿、解齋御粥ヲ供ス、是日、法皇、小塔

ヲ蓮華王院ニ供養シ給フ、玉葉 吉記

養和元年十一月

廿一日、中宮亮平通盛、左馬頭平行盛、北陸道ヨリ

歸洛シ、但馬守平經正、若狹ニ留ル、吉記 吾妻鏡

廿二日、高倉天皇周闕御齋會定、尋テ、行事所始ヲ

行フ、玉葉 吉記

權僧正實寬ヲ無動寺檢校ニ補ス、尋テ、阿闍梨解

文ヲ下ス、玉葉 吉記 法中補任

廿四日、吉田祭、吉記

廿五日、中宮平德子ノ院號ヲ定メテ、建禮門院ト

爲ス、法皇、六波羅泉殿ニ御幸アラセラル、玉葉 吉

記 山槐記 參議定長卿記 明月記 歷代編年集成 皇紀紀抄 一代要

記 皇代曆 女院小傳 后宮略傳 證號雜記 參考源平盛衰記 保曆間

記 公卿補任

廿六日、法皇、八條院ニ御幸アラセラル、吉記

廿八日、除目、權中納言藤原朝方ヲ從二位ニ敍ス、

廿九日、四條坊門富小路燒亡ス、吉記

賴朝、早河莊所領ノ乃貢ヲ免ズ、吾妻鏡

三十日、豐受大神宮御器御倉鎌鎰造進日時勘申、是日、法皇、嵯峨ニ御幸アラセラル、夜、大炊御門室町焼亡ス、吉記

十二月小癸卯盡

一日、建禮門院殿上始、法皇、臨御アラセラル、尋テ、院司別當以下ヲ加補ス、玉葉 參議定長卿記 明月記

公卿補任

四日、除目下名、參議定長卿記 明月記 一代要記 皇代曆 公卿

補任 辨官補任 職事補任 達幸故實抄〔參考〕玉葉 吉記

皇嘉門院崩御アラセラル、玉葉 興福寺略年代記 參考源

平盛表記 百練抄 皇帝紀抄 皇代曆 一代要記 保曆間記 尊卑分脈

女院小傳 長門本平家物語 中右記

五日、皇嘉門院御葬送、玉葉

七日、源賴朝ノ室疾ム、吾妻鏡

十一日、帥公日慧、鎌倉ニ寂ス、吾妻鏡

十三日、法皇及ビ八條院、新造法住寺殿御所ニ遷御アラセラル、是日、建禮門院、内裏ニ入御アラセ

ラル、玉葉 參議定長卿記 明月記 上皇度々御移徙記 參考源平盛表記

十六日、院御佛名、玉葉

源賴朝、鶴岡若宮ノ華表ヲ慶ス、鶴岡八幡宮寺社務職次第 十八日、皇嘉門院二七日御法事、是日、右大臣兼實及ビ子右近衛大將良通、素服ヲ著ス、玉葉

廿二日、法印信圓、佛經ヲ供養シテ、皇嘉門院ノ御冥福ニ資シ奉ル、玉葉

廿五日、解陣、是日、東寺灌頂、百練抄 東寺長者補任

右大臣兼實、皇嘉門院御墓所ニ於テ、隨意曼陀羅一鋪及ビ自筆八名經ヲ供養ス、玉葉

廿九日、追儺、是日、小除目、敍位、僧事、大僧正明雲ヲ白河六勝寺別當ニ補ス、玉葉 華頂要略

權大僧都最忠及ビ藤原基輔、佛經ヲ供養シテ、皇嘉門院ノ御冥福ニ資シ奉ル、玉葉

是冬、法印權大僧都覺成ヲ東寺長者ニ、法印信圓

ヲ興福寺別當ニ補ス、東寺長者補任 仁和寺諸院家記 法中補

任

前權大納言源資賢ニ、朝參ヲ聽ス、公卿補任 是歲、天下飢饉、餓死スル者多シ、百練抄 歷代編年集成

參考源平盛表記

故攝政基實ノ遺子某逝ス、玉葉

壽永元年壬寅

正月大壬申盡

一日、諒闇ニ依リテ、節會ヲ停ム、保曆間記 參考源平盛

表記

賴朝、鶴岡若宮ニ詣ツ、吾妻鏡

二日、諒闇ニ依リテ、殿上淵醉ヲ停ム、是日、雷鳴、

殿上燕醉部類 百練抄

三日、皇嘉門院四七日御法事、玉葉

賴朝出行始、吾妻鏡

五日、諒闇ニ依リテ、敍位ヲ停ム、玉葉

七日、諒闇ニ依リテ、白馬節會ヲ停ム、玉葉

養和元年是歲——壽永元年正月

八日、御齋會始、太元帥御修法、後七日御修法、是

日、僧事アリ、養和二年後七日御修法記 東寺長者補任 東寺長者

續紙 玉葉 歷代皇記裏書 法中補任 仁和寺諸師年譜 仁和寺諸院家

記 華頂要略

賴朝、長日不動十一面等ノ供養法ヲ、鶴岡若宮ニ

行フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮寺社務職次第

十日、道法法親王、院御所法住寺殿ニ御參向ノ途次、御車ノ軸故ナクシテ折ル、依リテ御占ヲ行ハセラル、是日、月、東井ニ入ル、養和二年記〔參考〕和漢三

才圖繪

十二日、建禮門院土公祭、養和二年記

故皇嘉門院ノ舊臣女房等、結緣經ヲ供養ス、玉葉

十三日、大僧正禎喜ヲ罷メ、權大僧都定遍ヲ權僧

正ニ任ズ、歷代皇記裏書 東寺長者補任

月、鎮星ヲ犯ス、養和二年記

十四日、御齋會竟、高倉天皇國忌ニ依リテ、論義及ビ加持香水ヲ停ム、是日、攝政基通、始メテ直廬ニ

參入ス、玉葉 東寺長者補任 興福寺略年代記 年中行事抄

諒闇竟大祓日時勘申、師守記

十六日、踏歌節會ヲ停ム、百練抄 參考源平盛衰記

十七日、諒闇竟ルヲ以テ、大祓ヲ行フ、玉葉 養和二年

記 師守記 百練抄

十八日、蓮華王院修正、法皇及ビ八條院、之ニ臨御アラセラル、吉記 達幸故實抄

皇嘉門院御佛事、玉葉 吉記

廣隆寺別當法眼寬敏寂ス、吉記 尊卑分脈

十九日、伊勢大神宮御調度造始日時勘申、吉記

二十日、皇嘉門院ノ舊臣等、結緣經ヲ供養ス、玉葉

廿一日、民部卿藤原成範ニ帶劔ヲ聽ス、是日、藏人ヲ補ス、吉記

東寺長者禎喜ヲシテ、廣隆寺別當ヲ兼ネシム、東

寺長者補任

廿二日、侍從藤原信清ニ内昇殿ヲ聽ス、是日、延曆寺僧徒蜂起ス、吉記

右大臣兼實、自筆玄妙經等ヲ供養シ、皇嘉門院ノ

御冥福ニ資シ奉ル、玉葉

廿三日、火星、木星ヲ犯シ、歲星、熒惑ト相犯シ、太白、昴星ヲ犯ス、玉葉 養和二年記 參考源平盛衰記

大納言平時忠ノ子伯耆守時家、賴朝ニ歸ス、吾妻鏡

廿四日、皇嘉門院七七御正日佛事、玉葉 吉記

内裏ニ五體不具ノ穢アリ、玉葉 養和二年記

廿五日、右中辨藤原光雅ノ第災ス、吉記 山槐記抄出

廿六日、政始、吉記 山槐記抄出

皇嘉門院御月忌始、玉葉

廿八日、源賴朝、大神宮ニ、奉獻ノ料ノ神馬砂金ヲ、諸士ニ進ゼシム、吾妻鏡

三十日、賀茂下社權禰宜長平卒ス、養和二年記

是月、前權僧正公顯ヲ還任シ、園城寺長吏ニ補ス、

歷代皇記裏書 僧官補任 法中補任

二月小 王寅 朔

二日、院尊勝陀羅尼供養、是日、内裏ノ穢ニ依リテ、

大原野祭ヲ延引ス、玉葉

三日、院中ニ穢アリ、玉葉 養和二年記

五日、月、畢ヲ犯ス、養和二年記

七日、春日祭、玉葉 吉記

八日、内御物忌、仁王講ヲ二間ニ修ス、是日、法勝寺常行堂修二月會、吉記

源賴朝、神馬砂金ヲ大神宮ニ奉ル、吾妻鏡

九日、修理權大夫信基姓關ニ内昇殿ヲ聽ス、是日、

皇嘉門院非藏人俊長姓關ヲ檢非違使ニ下ス、吉記

是ヨリ先、入道前關白基房、皇嘉門院勝金剛院御

領ヲ法皇ニ訴フ、是ニ至リテ、法皇、之ヲ右大臣兼

實ニ諮リ給フ、玉葉

十一日、祈年祭ヲ追行ス、是日、七瀬御祓アリ、吉記

右大臣兼實、皇嘉門院ノ御處分狀ヲ法皇ニ上ル、

玉葉

十二日、園、韓神祭、吉記

壽永元年二月

十四日、大原野祭ヲ追行ス、吉記

源賴朝、伊東祐親ヲ赦ス、祐親、之ヲ聞キテ自殺ス、

吾妻鏡 尊卑分脈 參考源平盛衰記 (參考) 曾我物語

十五日、源賴朝、祐親ノ子伊東祐泰ヲ放ツ、吾妻鏡

(參考) 曾我物語

十七日、日前宮ノ恠異ヲ軒廊ニトス、是日、轉輪院

修二月會、吉記

十八日、右大臣兼實、皇嘉門院御手寫ノ如意輪繪

像及ビ蛤貝經ヲ供養ス、玉葉

二十日、賴朝ノ大神宮奉幣使、鎌倉ニ歸ル、吾妻鏡

廿一日、女御藤原琮子ノ三條高倉殿燒亡ス、吉記

百練抄

太白、歲星ヲ犯ス、吉記

廿三日、地震、是日、太白、昴星ヲ犯ス、吉記 玉葉 養和

二年記 歷代編年集成 保曆間記 長門本平家物語

廿五日、權中納言平教盛ヲ北陸道ニ遣シテ、源義

仲ヲ討タシム、吉記

廿六日、最勝金剛院修二月會、玉葉
廿七日、太白、熒惑ニ迫ル、養和二年記 百練抄
廿九日、守覺法親王、五部大乘經ヲ仁和寺ニ供養
セラル、法皇臨幸アラセラレ、賞ヲ行ヒ、權大僧都
實任ヲ法印ニ敍ス、玉葉 吉記 百練抄 一代要記

三月 大 辛未 朔 盡

三日、御燈御祓、是日、宇治一切經會、吉記
四日、太白、熒惑ヲ犯ス、吉記 養和二年記
五日、法皇今熊野御精進始、養和二年記
源賴朝、山田重澄ニ一村地頭職ヲ與フ、吾妻鏡
六日、除目始、玉葉 吉記 達幸故實抄
七日、除目中夜、是日、法皇、新熊野ニ御幸アラセラ
レ、尋テ、新日吉社ニ參籠シ給ヒ、十座仁王講ヲ行
ハセラル、吉記 養和二年記
八日、除目入眼、玉葉 吉記 養和二年記 一代要記 皇代曆 公
卿補任 辨官補任

九日、源賴朝ノ室著帶ス、吾妻鏡
十一日、下名、玉葉 吉記
十二日、平宗盛、頭辨平親宗ヲ責ム、玉葉
十三日、月、太微ニ入ル、養和二年記
十五日、院武者所衆、競馬及ビ流鏑馬ヲ、新日吉社
ニ行フ、是日、祇園一切經會ヲ延引ス、吉記
内裏泰山府君祭及ビ建禮門院長日泰山府君祭、
招魂祭、養和二年記
前權少僧都顯眞、諸人ヲ勸メ、法華經ヲ轉讀シ、金
泥如法經ヲ書寫セシム、法皇ヲ始メ奉リ、貴賤結
緣スル者多シ、玉葉 歷代皇記裏書 華頂要略
賴朝、由比濱ヨリ鶴岡ニ至ル新道ヲ作ラシム、吾
妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第
十六日、延曆寺、戒狀ヲ上ル、吉記
十七日、院宣ヲ下シテ、兵糧ヲ諸國諸莊ニ徵ス、吉
記
十九日、地震、吉記

右近衛少將藤原良經拜賀、玉葉

法印圓雲寂ス、吉記 尊卑分脈

二十日、小除目、玉葉 吉記

晝御座御劔ヲ竊マル、吉記 百練抄

右大臣兼實、戒及ビ三衣ヲ受ケ、密ニ法號ヲ附ス、
玉葉

前大納言源資賢出家ス、吉記 皇代曆

廿一日、北陸道ノ源氏、進ミテ越前ニ入ル、鎮西ノ
兵亂モ亦未ダ平定セズ、是日、九條堂八講定文ヲ
頒ツ、吉記 参考 一代要記

晝御座御劔ノ盜難ヲ藏人所ニトス、是日、行願寺
ノ鐘ヲ改鑄ス、養和二年記

廿二日、石清水臨時祭試樂、吉記

廿三日、法皇、顯眞ノ勸ニ依リ、法華經ヲ轉讀シ給
フ、是日、權中納言藤原實守、慶賀ヲ申ス、吉記
建禮門院御祓、是日、右大臣兼實、代厄祭ヲ行フ、

養和二年記

壽永元年是春

廿四日、石清水臨時祭、吉記 石清水八幡宮記錄

廿五日、石清水臨時祭使還立、是日、押小路高倉火
アリ、吉記

廿六日、權中納言藤原實守ノ大炊御門高倉第火
アリ、吉記 百練抄

權大納言大宰帥藤原隆季ヲ罷ム、吉記 玉葉 公卿補任

廿八日、權大納言藤原兼雅、慶賀ヲ申ス、吉記

金星、東井左轅第一星ニ迫ル、養和二年記

廿九日、太白、東井左轅第一星ヲ掩食ス、養和二年記

三十日、鎮西追討使平貞能、國務ヲ押領シ、目代ヲ
逐フ、吉記

是月、賀茂神主重保、年六十以上ノ七叟ヲ會シテ、
尙齒會ヲ行フ、古今著聞集

是春、京師飢疫シ、盜賊火ヲ放チ、百姓嬰兒ヲ棄テ、
死者巷ニ滿ツ、養和二年記 吉記 方丈記 百練抄 皇代曆 皇紀抄

皇代曆 皇年代略記 參考源平盛衰記

五日、源賴朝、江島辨才天祠供養ニ臨ム、吾妻鏡
九日、陣ニ於テ、大嘗會ノ事ヲ議ス、是日、直物、小
除目ヲ行フ、玉葉 百練抄 一代要記 公卿補任 辨官補任
守覺法親王、高野山ニ御參詣アラセラル、仁和寺御

十一日、鎮西菊池高直、平貞能ニ降ル、玉葉 吾妻鏡

一代要記 參考源平盛衰記

十三日、藤原賴輔ヲ從三位ニ敍ス、一代要記 公卿補任

十四日、法皇、日吉社ニ御幸アラセラレ、法華萬部
轉讀ニ結緣シ給フ、右大臣兼實モ亦、結緣ノ爲ニ、
卒都婆ヲ送ル、玉葉 百練抄 濫觴抄 保曆間記 參考源平盛衰

記

十五日、京師ニ、山僧、法皇ヲ要シ奉ラントスルノ
風聞アリ、宗盛、大ニ驚キ、重衡ヲシテ、兵ヲ率キ
テ、法皇ヲ迎ヘ奉ラシム、法皇、乃チ俄ニ日吉社ヨ
リ還御アラセラル、玉葉 百練抄 長門本平家物語 參考源平

廿七日、右近衛大將藤原良通除服ス、玉葉
廿九日、樂人左近將監伯光近卒ス、樂所補任 體源抄

五月大 庚午朔

四日、右近衛府荒手結、是日、日吉社競馬、玉葉
五日、權中納言平時忠ヲ、大嘗會御襖裝束使長官
ト爲ス、公卿補任

六日、右近衛府眞手結、玉葉

九日、新日吉社競馬、玉葉

十一日、源賴朝、藤原廣綱ヲ右筆ト爲ス、吾妻鏡

十二日、法印能覺寂ス、仁和寺諸院家記 尊卑分脈

十五日、法皇、今熊野ヨリ還御アラセラル、玉葉

十六日、右大臣兼實、服後始メテ參院ス、玉葉

豐受大神宮禰宜爲保、鎌倉ニ到リ、安田義定ノ爲
ニ、遠江鎌田御厨ヲ押領セラレタルコトヲ訴フ、
吾妻鏡

十七日、參議左大辨藤原經房ヲ大嘗會檢校ト爲

盛衰記

十六日、右大臣兼實、如法經ヲ金剛院ノ山ニ埋メ、
皇嘉門院ノ御冥福ニ資シ奉ル、玉葉

十九日、以仁王ノ御子及ビ源仲綱ノ子ヲ、源義仲
ノ許ニ送レル罪ニ依リ、延曆寺僧永雲ヲ薩摩ニ、
同顯眞ヲ土佐ニ流ス、參考源平盛衰記

二十日、二十二社ニ奉幣シテ、飢疫ヲ祈禳ス、平家
物語 長門本平家物語

源賴朝武藏蓮生寺ニ、田五町、桑田五町ヲ寄進ス、
吾妻鏡

廿一日、賀茂祭、玉葉

廿二日、賀茂祭使還立、玉葉

廿四日、鶴岡若宮社頭ニ池ヲ穿ツ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮
寺社務職次第

廿六日、小除目、攝政基通ニ内舍人隨身ヲ賜フ、即
日、基通拜賀、是日、右大臣兼實家ニ五體不具穢ア
リ、玉葉 皇代紀抄 公卿補任 攝關補任次第

僧文覺、鎌倉ニ到リ賴朝ニ謁ス、吾妻鏡

ス、吉記

廿四日、權大納言藤原隆季、病ニ依リテ出家ス、公
卿補任 皇代曆

廿五日、相模金剛寺住侶等、解狀ヲ進リ、古莊郷司

近藤某ヲ訴フ、吾妻鏡

廿七日、大嘗會行事所始、是日、壽永ト改元ス、非常
赦ヲ行フ、玉葉 壽永改元定記 元祕別錄 吾妻鏡 百練抄 皇代紀

抄 歷代編年集成 一代要記 公卿補任 改元鳥兔記 皇代記 皇年代
略記 鳩嶺年代記 興福寺略年代記 保曆間記 如是院年代記 參考源
平盛衰記 平家物語

三十日、源賴朝、熊谷直實ノ功ヲ賞シテ、武藏舊領
ノ地頭ト爲ス、吾妻鏡

是月、旱炎疾疫アリ、玉葉 吉記

六月小 庚子朔

一日、源賴朝、愛妾ヲ小中太光家ノ邸ニ置ク、吾妻
鏡

二日、洪水、玉葉 吉記

四日、仁王會ヲ法勝寺ニ行ヒテ、疾疫ヲ禳フ、是日、大嘗會行事所定、吉記
右大臣兼實、一尺三寸十一面觀音像ヲ造リ始ム、玉葉

七日、源賴朝、牛追物ヲ由井浦ニ覽ル、吾妻鏡

八日、非常赦拘留者ノ事ヲ議ス、是日、大嘗會本文及ビ和歌作者ヲ定ム、大神宮穢アリ、吉記
源賴朝、加藤景康ノ疾ヲ視ル、吾妻鏡

十一日、月次祭、神今食、吉記

法皇、新日吉ヨリ還御アラセラル、玉葉

十二日、大内ニ行幸アラセラレ、祇園ノ神輿ヲ避ケ給フ、是日、改元詔書覆奏、吉記 庭槐抄

十三日、改元詔書加署、玉葉 吉記

十四日、祇園御靈會、玉葉 吉記

十五日、祇園臨時祭、是日、大内ヨリ還御アラセラル、玉葉 吉記 庭槐抄

十六日、改元後政始、是日、大嘗會大祓ヲ朱雀門ニ

行フ、吉記
右大臣兼實、一尺三寸十一面觀音像及ビ同經ヲ供養ス、玉葉

二十日、鎌倉ニ光物アリ、吾妻鏡

廿三日、雷、唐橋東洞院ニ震ス、玉葉

廿五日、法皇、八條院御所ニ渡御アラセラル、玉葉

廿六日、八條院御惱、玉葉

廿七日、攝政基通、内大臣ヲ罷ム、是日、法皇、園城寺宮靜惠法親王ヲ五辻齋院頌子内親王ノ御猶子ト爲シ給フ、玉葉 吉記 皇帝紀抄 公卿補任

檢非違使別當藤原實家著陣、吉記

廿九日、大祓、吉記

七月大 巳 朔

一日、最勝寺御八講、是日、法皇、八條院ノ御方ニ渡御アラセラレ、護持シ給フ、玉葉 吉記

二日、法皇、安樂壽院ニ御幸アラセラレ、鳥羽天皇

ノ國忌ヲ修シ給フ、是日、免物アリ、玉葉 吉記

三日、法勝寺御八講始、法皇臨御アラセラル、是日、孔雀經法ヲ法住寺殿ニ修ス、玉葉 吉記 東寺長者補任

孔雀經法記

四日、廣瀨龍田祭、是日、軒廊御卜、吉記

五日、盜、豐受大神宮外幣殿ノ神寶ヲ竊ム、類聚大補任

六日、擬階奏、吉記

七日、法勝寺御八講結願、玉葉 吉記

八日、最勝光院御八講始、法皇臨御アラセラル、玉葉 吉記

上西門院、入道前關白基房ノ子家房ヲ御猶子ト爲シ給フ、玉葉

九日、雷、藤原賴輔第ノ庭ニ震ス、吉記

十日、檢非違使宣旨及ビ阿闍梨解文ヲ下ス、吉記
權僧正實寬、玉葉 吉記 歷代皇記裏書 法中補任 尊卑分

賑

十一日、院孔雀經法結願ニ依リテ、輕囚八人ヲ免シ、法眼眞禎ヲ權大僧都ニ任ズ、吉記 一代要記 孔雀經法記

十二日、源賴朝ノ室、比企谷ノ第二遷ル、吾妻鏡

十三日、大中臣永親卒ス、大中臣氏系圖

十四日、右大臣兼實、皇嘉門院ノ御爲ニ、釋迦如來畫像一鋪及ビ經ヲ供養ス、玉葉

源賴朝、新田義重ノ其女ヲ納レザルヲ怒リ、之ヲ勸氣ス、吾妻鏡

十五日、大膳大夫信業姓闕、薙髮ス、吉記

十六日、是ヨリ先、兼實、右大臣ヲ罷メンコトヲ法皇ニ請ヒ奉ル、法皇、聽シ給ハズ、玉葉

二十日、右近衛大將藤原良通、除服ノ後著陣ス、是日、右近番長兼重姓闕、賊ニ殺サル、玉葉

入道前關白基房ノ子家房、元服ノ儀ヲ上西門院御所ニ行フ、愚昧記 公卿補任

廿二日、季御讀經定、殿上所宛、吉記

廿四日、藏人ヲ補ス、吉記
廿六日、季御讀經始、玉葉 吉記
僧事、玉葉 歷代皇記裏書

廿八日、是ヨリ先、前馬允行光、姓闕奈越家澄等五十餘人、款ヲ源氏ニ通ジ、東國ニ赴カントス、是日、之ヲ近江ニ捕フ、吉記 玉葉
廿九日、季御讀經結願、是日、法印慈圓ヲ無動寺檢按ト爲ス、吉記 玉葉 華頂要略
三十日、法皇、嵯峨ニ御幸アラセラル、吉記

八月大 盡亥 朔

一日、勸修寺八講始、吉記
二日、法勝寺御八講、法皇臨御アラセラル、吉記
四日、立后宣旨ヲ前齋宮亮子内親王ニ賜フ、是日、立后雜事定ヲ行フ、愚昧記 吉記
五日、平野、吉田兩社怪異ヲ軒廊ニトス、尋テ、復任除目ヲ行フ、上卿故實

立后御所裝束始、愚昧記 吉記
源賴朝、鶴岡供僧禪窟ノ在家役及ビ自作畠地子ヲ免除ス、吾妻鏡

八日、權大納言源資賢ヲ罷ム、公卿補任
九日、釋奠、吉記
十一日、前讚岐守重季、姓闕以仁王ノ御子ヲ奉ジテ、越前ニ入ル、玉葉
源賴朝、伊豆、相模、武藏、常陸、上總、下總、安房等ノ諸社ニ奉幣シテ、室政子ノ平産ヲ祈ル、吾妻鏡
十二日、前齋宮亮子内親王、立后ニ依リテ、東山南殿ニ渡御アラセラル、上西門院モ亦、茲ニ御幸アラセラル、吉記
源賴朝ノ子生ル、吾妻鏡 興福寺略年代記
十三日、源賴朝ノ家人等、賴朝ノ男子生誕ヲ祝シ、刀劍馬等ヲ進ム、吾妻鏡
十四日、前齋宮亮子内親王ヲ皇后ト爲ス、皇后宮司除目ヲ行フ、玉葉 愚昧記 吉記 皇紀抄 女院小傳 后宮

略傳 一代要記 公卿補任

十五日、石清水放生會、吉記 石清水八幡宮記錄
源賴朝、鶴岡ニ六齋講ヲ始ム、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務

職次第

十六日、駒牽ヲ停ム、楊叢抄
立后奉幣及ビ行啓始日時勘申、及ビ行啓始雜事定、愚昧記 吉記
十七日、法皇、鳥羽ニ御幸アラセラル、玉葉
十八日、檢非違使廳政、愚昧記
十九日、皇后宮奏請、尋テ、廳始、又所宛アリ、愚昧記 吉記
右大臣兼實家所宛、玉葉
二十日、伯耆ノ人成盛、姓闕基保、姓闕ト鬪爭ス、吉記
廿一日、内文、吉記
廿二日、政、内侍除目、吉記 山槐記抄出
廿四日、右大臣兼實、念珠十連ヲ法皇ニ獻ズ、玉葉
廿五日、成菩提院御念佛結願、玉葉 吉記 達幸故實抄

廿七日、法皇、石清水八幡宮ニ御幸アラセラル、是日、道清ヲ法眼ニ敘ス、玉葉 石清水八幡宮記錄
廿八日、祈年穀奉幣定、吉記
廿九日、石清水以下八社ニ奉幣シテ、立后ヲ告ゲ奉ル、是日、請印、大賞會御禊點地アリ、愚昧記 吉記
入道信業、姓闕卒ス、玉葉
三十日、幣料闕如セルヲ以テ、祈年穀奉幣ヲ延引ス、吉記

九月小 盡巳 朔

一日、建禮門院御不豫、吉記
群盜、法勝寺上座泰覺ノ房ニ亂入シテ又傷ス、吉記
二日、祈年穀奉幣、是日、皇后宮御燈御被、愚昧記 吉記
三日、御燈御被、吉記
四日、小除目、前右近衛大將平宗盛ヲ權大納言ニ任ズ、玉葉 吉記 達幸故實抄 長門本平家物語 一代要記 公卿補任

職事補任

五日、大嘗會御禊定、法皇、今日吉社ニ御幸アラセラル、吉記 公卿補任 辨官補任

入道藤原賴輔、如法經十種供養ヲ行フ、玉葉

七日、大嘗會官符請印、吉記

十一日、例幣、是日、但馬守平經正ノ僕、平重衡ノ郎從ヲ辱ム、吉記

十二日、蓮華王院ニ三十壇千手供ヲ始メ行フ、吉記

十三日、四天王寺一乘會、吉記

十四日、大嘗會御禊侍從代定、是日、院供花始、法皇、賀茂社ニ御幸アラセラル、吉記 達幸故實抄

院宣ヲ下シテ、諸國ノ追討使ヲ停ム、吉記

右大臣兼實、自寫經十種供養ヲ西山ニ行フ、玉葉

十五日、北陸道ノ官軍、京ニ還ル、吾妻鏡 吉記 玉葉

十七日、權大納言平宗盛、慶賀ヲ申ス、吉記

二十日、參議左大辨藤原經房ヲ大嘗會檢校ト爲

ス、吉記

法眼圓曉、鎌倉ニ到ル、吾妻鏡 鶴岡八幡宮寺社務職次第

廿五日、土佐ノ住人蓮池家綱、平田俊遠等、土佐冠者源希義ヲ襲ウテ之ヲ殺ス、夜須行家、遁レテ紀伊ニ入ル、吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

廿六日、大藏卿高階泰經、法皇ノ逆鱗ニ觸レ、恐懼

ニ處セラル、玉葉 吉記

源賴朝、鶴岡宮寺別當房ヲ社ノ傍ニ建ツ、是日、上棟ス、吾妻鏡 鶴岡八幡宮寺社務職次第

廿八日、城永用、小河莊赤谷ニ城キテ、之ニ據ル、吾妻鏡

十月 大 戊 朔 盡

二日、閑院殿ヨリ、大内ニ行幸アラセラル、玉葉

檢非違使ヲシテ、京中ノ人屋ヲ毀ツコトヲ禁ゼシム、百練抄

三日、權大納言平宗盛ヲ内大臣ニ、權中納言藤原

良通ヲ權大納言ニ、權中納言平時忠、藤原忠親、平

賴盛ヲ中納言ニ、前參議平知盛ヲ權中納言ニ、正

三位藤原基家ヲ參議ニ任ズ、玉葉 吉記 參考源平盛衰記

保曆間記 皇帝紀抄 歷代編年集成 皇代曆 一代要記 公卿補任

六日、權中納言平知盛ニ帶劔ヲ聽ス、公卿補任

院中ニ穢アリ、玉葉

七日、内大臣平宗盛ニ隨身兵仗ヲ賜フ、是日、權大

納言藤原良通ニ右近衛大將ヲ、中納言平時忠ニ

左衛門督ヲ、中納言平賴盛ニ按察使ヲ、參議藤原

基家ニ右京大夫ヲ兼ネシム、玉葉 皇帝紀抄 一代要記

歷代編年集成 公卿補任 長門本平家物語

九日、盜、勘解由次官藤原惟基ヲ傷ク、惟基、尋テ卒

ス、百練抄 尊卑分脈

源義仲、城永用ト信濃筑摩河ニ戰ヒテ、之ヲ破ル、

吾妻鏡

十一日、前權大納言藤原實長出家ス、一代要記 公卿補

任

ス、吉記

法眼圓曉、鎌倉ニ到ル、吾妻鏡 鶴岡八幡宮寺社務職次第

廿五日、土佐ノ住人蓮池家綱、平田俊遠等、土佐冠者源希義ヲ襲ウテ之ヲ殺ス、夜須行家、遁レテ紀伊ニ入ル、吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

廿六日、大藏卿高階泰經、法皇ノ逆鱗ニ觸レ、恐懼

ニ處セラル、玉葉 吉記

源賴朝、鶴岡宮寺別當房ヲ社ノ傍ニ建ツ、是日、上棟ス、吾妻鏡 鶴岡八幡宮寺社務職次第

廿八日、城永用、小河莊赤谷ニ城キテ、之ニ據ル、吾妻鏡

十月 大 戊 朔 盡

二日、閑院殿ヨリ、大内ニ行幸アラセラル、玉葉

檢非違使ヲシテ、京中ノ人屋ヲ毀ツコトヲ禁ゼシム、百練抄

三日、權大納言平宗盛ヲ内大臣ニ、權中納言藤原

十三日、内大臣平宗盛、慶賀ヲ申ス、皇后、内裏ニ入御アラセラル、是日、敍位、玉葉 吉記 達幸故實抄 一代要

記 公卿補任 參考源平盛衰記 保曆間記

十五日、石清水八幡宮寺領ニ、大嘗會召物ヲ免除

ス、石清水八幡宮記錄

十七日、廷尉盛綱、^{姓闕}藤原惟基ヲ殺害セル犯人ヲ

捕フ、百練抄

源賴朝ノ室及ビ子、營中ニ歸ル、吾妻鏡

十八日、權大納言右近衛大將藤原良通、慶賀ヲ申

ス、玉葉

廿一日、大嘗會御禊、玉葉 大嘗會御禊日例 御禊行幸服飾部類

皇代曆 皇年代略記 保曆間記 參考源平盛衰記

廿七日、三井寺宮、御入寺アラセラル、達幸故實抄

内大臣宗盛直衣始、參考源平盛衰記

是月、天變アリ、玉葉

十一月 小 戊 辰 朔 盡

五日、春日祭、玉葉

七日、權大納言藤原良通著陣ス、玉葉
 十日、源賴朝ノ室政子、賴朝ノ寵妾ヲ匿セルヲ以テ、收宗親ヲシテ、伏見廣綱ノ家ヲ毀タシム、吾妻鏡
 十一日、大嘗會國司除目、玉葉
 大嘗會神服使ノ事ニ依リテ議アリ、百練抄
 十二日、院七壇北斗法、卷數集
 源賴朝、收宗親ヲ責メテ、其髻ヲ切ル、吾妻鏡
 十三日、伊勢大宮司大中臣有長卒ス、大中臣氏系圖
 十四日、北條時政、收宗親ノ事ニ依リ、賴朝ト隙アリ、伊豆ニ歸ル、吾妻鏡
 十五日、月食、依リテ、右大臣兼實及ビ室、右近衛大將良通等、念誦ヲ修ス、玉葉
 清暑堂御神樂拍子合ヲ院ニ行フ、玉葉 御遊抄
 十七日、吉田祭、是日、法皇、伊勢神宮禰宜等、欸ヲ源賴朝ニ通ズルヲ以テ、其處罰ノ可否ヲ右大臣兼實ニ問ハセ給フ、玉葉 吾妻鏡

十八日、清暑堂御神樂拍子合ヲ、攝政基通ノ第二行フ、玉葉 御遊抄
 皇嘉門院周闕御法事、玉葉
 二十日、源賴朝、伊豆有綱ヲ土佐ニ遣シ、蓮池家綱、平田俊遠等ヲ討タシム、吾妻鏡
 廿一日、大原野祭、玉葉
 法皇、莊園ヲ高雄神護寺ニ寄進セサセ給フ、神護寺舊記
 廿三日、大嘗會敍位、是日、左大臣經宗ニ輦車ヲ聽ス、尋デ、牛車ノ宣旨ニ改ム、玉葉 皇紀抄 一代要記
 公卿補任 辨官補任 諮問抄
 廿四日、大嘗會、玉葉 吉記 百練抄 歷代編年集成 皇代曆 皇代記 皇年代略記 參考源平盛衰記 滿佐須計裝束抄 千載和歌集
 廿五日、辰日節會、玉葉 蓬幸故實抄 類聚大補任
 廿六日、巳日節會、清暑堂御神樂、玉葉 御遊抄 體源抄
 廿七日、午日節會、玉葉 蓬幸故實抄
 十二月 大 丁酉 盡 朔

二日、大内ヨリ、閑院ニ還御アラセラル、玉葉
 源賴朝、書ヲ伊勢大神宮禰宜等ニ寄セ、平家嫌疑ノ非理ヲ慰諭ス、吾妻鏡
 三日、祭主神祇大輔大中臣親隆ヲ罷ム、公卿補任 類聚大補任
 四日、法成寺御八講結願、玉葉
 法皇寵妃丹後局、淨土寺堂ヲ供養ス、百練抄 玉葉
 五日、皇嘉門院御正日御法會、玉葉
 六日、法印慈圓、灌頂ヲ大僧正全玄ニ受ク、玉葉 華頂要略
 七日、除目、玉葉 公卿補任 二所太神宮例文 類聚大補任 皇代曆 辨官補任 職事補任
 源賴朝、夜鶴岡ニ詣ツ、吾妻鏡
 九日、賀茂臨時祭、玉葉
 十日、除目下名、是日、仗議アリ、玉葉 職事補任
 入道前大納言藤原隆季、雲居寺内金山堂ヲ供養ス、百練抄

源賴朝、愛妾龜前ヲ小中太光家ノ第二徙ラシム、吾妻鏡
 十五日、觀音院結緣灌頂、法皇、八條院、之ニ臨御アラセラル、仁和寺御傳 觀音院恒例結緣灌頂記
 十六日、源賴朝ノ室政子、伏見廣綱ヲ遠江ニ流ス、吾妻鏡
 十七日、法勝寺大乘會定、玉葉
 十九日、多武峯墓守等、前武者所當麻倫康ノ宅ヲ襲フ、倫康等、拒デ之ヲ殺ス、多武峯略記
 右大臣兼實、彌勒講ヲ修ス、玉葉
 二十日、官奏、是日、左近衛中將藤原良經、慶賀ヲ申ス、玉葉
 權僧正昌玄ヲ僧正ニ任ズ、歷代皇記裏書
 廿六日、四天王寺別當大僧正明雲ヲ罷ム、僧官補任 華頂要略
 廿七日、入道前權大納言藤原實長薨ズ、公卿補任 尊卑分脈
 廿八日、東寺灌頂、東寺長者補任

右大臣兼實、藤原光長ヲ家司ト爲ス、玉葉

三十日、追儺、小除目及ビ僧事、玉葉 仁和寺諸院家記

源賴朝、安堵狀ヲ上總周西助忠以下ニ與フ、吾妻鏡

是月、僧正公顯、權僧正全玄ヲ罷ム、歷代皇記裏書

權大納言藤原實國、母ノ喪ニ依リテ服解ス、公卿補任

壽永二年癸卯

正月 小 朔 盡

一日、小朝拜、節會、諸院拜禮、玉葉 保曆間記 參考源平盛

衰記

二日、攝政基通臨時客、玉葉 御遊抄

權大納言藤原實國薨ズ、公卿補任 皇代曆 一代要記 尊卑

分脈

三日、殿上淵醉ヲ停ム、殿上燕醉部類

四日、前大僧正禎喜ニ、輦輿ヲ聽ス、是日、右中辨藤

原光雅ニ、皇后宮亮ヲ兼ネシム、東寺長者補任 仁和寺諸

院家記 辨官補任

五日、敍位、玉葉 一代要記 公卿補任 辨官補任 類聚大補任

七日、白馬節會、是日、加敍アリ、玉葉 慈眼院關白白馬節

會次第 一代要記 公卿補任

八日、後七日御修法、東寺長者補任 東寺長者續紙

十一日、圓勝寺修正、法皇、之ニ臨御アラセラル、

玉葉

延尉平知康、群盜ヲ逮捕ス、百練抄

十三日、僧正俊證ヲ法印ニ敍ス、仁和寺諸院家記

十四日、御齋會竟、加持香水、玉葉

十五日、法皇、日吉社ニ御幸アラセラル、是日、右近

衛大將正二位藤原良通著陣ス、玉葉

權僧正實全、權少僧都實宴ヲ法印ニ敍ス、法中補任

華頂要略

十六日、政始、玉葉

十八日、蓮華王院修正、法皇、之ニ臨御アラセラル、

玉葉

十九日、始メテ最勝光院御八講ヲ修シテ、高倉天

皇ノ御冥福ニ資シ奉ル、爾後著シテ、永式ト爲ス、

玉葉 年中行事抄 師光年中行事

二十日、除目始、玉葉

廿二日、除目入眼、是日、最勝光院御八講結願、玉葉

一代要記 皇代曆 公卿補任 辨官補任 職事補任 皇代紀抄 保曆間

記

廿四日、東大寺勸進聖人重源、右大臣兼實ノ第二

到リ、宋國ノ狀ヲ談ズ、玉葉

廿七日、除目下名、是日、右近衛中將藤原良經、慶賀

ヲ申ス、玉葉

廿八日、法皇、密ニ石清水八幡宮ニ御幸アラセラ

ル、玉葉 石清水八幡宮記錄

二月 大 朔 盡

丙申

一日、春日祭、是日、白河宮、五辻齋院ニ渡御アラセ

ラル、玉葉 吉記

二日、釋奠、是日、右大臣兼實家ニ五體不具穢アリ、

玉葉 吉記

四日、法皇、賀茂社ニ御幸アラセラル、吉記 御遊抄

壽永二年二月

五日、法皇、賀茂社ヨリ 祇園稻荷兩社ニ御幸アラ

セラレ、尋デ、今熊野御精進屋ニ御ス、是日、參議藤

原泰通、慶賀ヲ申ス、吉記 達幸故實抄

六日、園韓神祭、是日、院尊勝陀羅尼供養、法皇、之

ニ臨御アラセラル、吉記

九日、院御逆修始、是日、入道前太政大臣師長、東山

妙音堂ヲ供養ス、法皇、之ニ臨御アラセラル、大納

言藤原忠親、慶賀ヲ申ス、吉記 玉葉 百練抄

十一日、復任除目、吉記 達幸故實抄

十五日、最勝光院修二月會、法皇、之ニ臨御アラセ

ラル、吉記

十七日、皇后、御入内アラセラル、是日、故大納言藤

原實國ノ中陰法事アリ、吉記

十八日、權中納言藤原實宗ニ帶劔ヲ聽ス、一代要記

公卿補任

廿一日、法皇御所法住寺殿ニ朝覲行幸アラセラ

ル、院司以下ニ賞ヲ賜ヒ、昇敍差アリ、玉葉 吉記 百

練抄 參考源平盛衰記 保曆間記 裝束抄 達幸故實抄 御遊抄 一代要記 公卿補任

右衛門督平清宗、大納言平頼盛ノ女ヲ娶ル、吉記

廿四日、大藏卿高階泰經、慶賀ヲ申ス、吉記

前施樂院使丹波憲基出家ス、吉記 丹波氏系圖

廿六日、最勝金剛院修二月會、院御佛供養、玉葉 吉記

廿七日、祈年穀奉幣定、是日、内大臣平宗盛ヲ罷ム、吉記 達幸故實抄 皇代曆 公卿補任 保曆間記

參考源平盛衰記

源頼朝、武藏相模ノ内ニ於テ、神領ヲ鶴岡新宮若宮ニ寄進ス、相州文書〔參考〕新編相模國風土記稿

參議藤原光能出家ス、尋テ薨ズ、一代要記 尊卑分脈 公卿補任

廿八日、祈年穀奉幣、是日、院御逆修曼陀羅供アリ、玉葉 吉記 達幸故實抄

廿九日、院御逆修結願、輕囚ヲ免ス、又院ニ穢アリ、是日、法皇御不豫、尋テ、平愈シ給フ、玉葉 吉記

是月、法皇、藤原俊成ヲシテ、千載和歌集ヲ撰バシメ給フ、拾芥抄 千載和歌集

三月 丙寅 盡

八日、除目、山槐記

十日、源頼朝、神領ヲ鹿嶋社ニ寄進ス、鹿島大綱宜文書

十三日、法皇、千僧御讀經ヲ法勝寺ニ行ハセ給フ、玉葉 百練抄 一代要記

十四日、法皇、御使ヲ遣シテ、公卿勅使發遣ノ事ヲ、右大臣兼實ニ詢ラシム、玉葉

十六日、季御讀經定、達幸故實抄 天王寺舊記

十七日、源頼朝、伊豆三島社色掌伍人ノ在家ノ雜役ヲ免除ス、伊豆國三島古證文

十八日、快仙教阿上人、高野山ニ隱栖ス、高野春秋

西京上人寂ス、百練抄

二十日、季御讀經始、玉葉 達幸故實抄

廿二日、雷雨、玉葉

九日、小除目、内大臣實定ニ、舊ノ如ク、左近衛大將ヲ兼ネシム、是日、神祇官人ヲシテ、五日ヲ限り、伊勢大神宮以下十六社ニ參籠シテ、兵禍ヲ禱ラシム、玉葉 一代要記 公卿補任

十三日、賀茂祭警固召仰、是日、官軍、京中ニ充滿シ、狼藉甚シ、玉葉 百練抄

十五日、賀茂祭、玉葉

十六日、解陣、玉葉

十七日、大納言平時忠著陣、玉葉

右近衛中將平維盛、中宮亮平通盛、左馬頭平行盛、參河守平知度、但馬守平經正、淡路守平清房等ヲ將トシ、兵十萬ヲ率キテ、源義仲ヲ討タシム、玉葉

源義仲、平軍大舉シテ、北陸道ニ入ルト聞キ、仁科守弘等ヲ遣シテ、燧城ヲ守ラシム、參考源平盛衰記

十八日、吉田祭、玉葉

十九日、法皇、新熊野ニ御參籠アラセラル、百練抄

廿三日、季御讀經結願、僧事、是日、雨雹、玉葉

前右馬頭藤原長方出家ス、玉葉

廿六日、兵ヲ發シテ、源義仲ヲ討タシム、吉記 參考源平盛衰記

廿九日、右大臣兼實、春日社ニ奉幣シ、心經一千卷ヲ轉讀セシム、玉葉

是月、頼朝、義仲ト隙アリ、義仲、子義高ヲ送リテ質ト爲シ、和ヲ請フ、頼朝、乃チ之ヲ許ス、一代要記 歷代

皇記裏書 保曆間記 參考源平盛衰記

四月 乙未 盡

一日、平座、玉葉

二日、平野祭、玉葉

三日、梅宮祭、玉葉

五日、權大納言藤原實定ヲ内大臣ニ任ズ、以下任官差アリ、玉葉 達幸故實抄 歷代編年集成 皇代曆 一代要記 公卿補任

八日、灌佛、達幸故實抄

二十日、伊勢公卿勅使定、玉葉

廿一日、石清水臨時祭、玉葉 石清水八幡宮記録

廿二日、權大納言平頼盛、慶賀ヲ申ス、玉葉 達幸故實抄

廿五日、神宮穢中公卿勅使發遣ノ延否ヲトス、是日、平宗盛ニ勅シテ、源頼朝、武田信義ヲ討タシム、玉葉

廿六日、參議源通親ヲ遣シ、宸筆宣命ヲ伊勢大神宮ニ奉リ、天變兵革ヲ祈禳セシム、玉葉 二所大神宮例文 伊勢公卿勅使雜例「參考」保曆間記

廿七日、攝政基通、内舍人隨身ヲ辭ス、是日、内大臣實定、慶賀ヲ申ス、玉葉 一代要記 公卿補任

平氏ノ軍、進ミテ越前ニ入り、燧城ヲ拔キ、勝ニ乘ジテ、三條野篠原等ニ諸源氏ヲ破ル、玉葉 百練抄

一代要記 歷代皇記裏書 保曆間記 參考源平盛衰記

五月 甲子 朔

二日、平氏ノ軍、加賀ニ入り、林光明ノ據城ヲ陷ル、

玉葉 一代要記 歷代皇記裏書 保曆間記 參考源平盛衰記

三日、賀茂社ノ怪異ヲ軒廊ニトス、玉葉

法皇、北斗七壇法ヲ修セシメ給フ、卷數集

四日、公卿勅使參議源通親、伊勢ヨリ歸京復命ス、玉葉

五日、圓宗寺御八講始、玉葉

九日、平、源ノ兩軍、般若野ニ會戰ス、平軍利アラズシテ敗退ス、參考源平盛衰記

義仲、兵五萬ヲ率キ、越後ヲ發シテ越中ニ入り、願文ヲ白山權現ニ奉リテ、戰勝ヲ祈ル、參考源平盛衰記

十一日、義仲、進ミテ砥波山ノ東ニ陣シ、願文ヲ新八幡ニ奉リテ、戰勝ヲ祈ル、參考源平盛衰記

義仲、夜ニ乘ジテ、平軍ヲ襲フ、平軍、狼狽敗走シ、崖谷ニ投ジテ死スル者夥シ、右兵衛佐平爲盛及ビ館貞康等之ニ死ス、明日、維盛、敗兵ヲ收メテ、加賀ニ退ク、玉葉 百練抄 一代要記 歷代皇記裏書 保曆間記 參考源平盛衰記

考源平盛衰記

十二日、源行家、部兵ヲ率キテ、志雄山ニ至ル、軍利アラズ、義仲踵デ至リ、大ニ篠原ニ戰フ、平知度、戰死ス、平盛俊、兵ヲ收メテ加賀ニ奔リ、佐良山ヲ保ツ、義仲、北グルヲ逐ヒテ、平岳野ニ至ル、一代要記

歷代皇記裏書 參考源平盛衰記 平家物語 尊卑分脈

十五日、參議藤原親宗ヲ佐保山陵ニ遣シ、東大寺大佛像ノ燒亡ヲ謝シ奉ル、是日、院供花、玉葉

十六日、月食、御讀經ヲ内裏ニ修シテ、之ヲ祈禳ス、玉葉

十七日、權中納言藤原實宗ヲ石清水八幡宮ニ遣シテ、東大寺大佛像ノ燒亡ヲ謝シ奉ル、玉葉

十九日、最勝講始、是日、賑給定、玉葉

東大寺大佛像ヲ鑄造ス、玉葉 百練抄

廿一日、五壇法ヲ院ニ修シテ、兵禍ヲ祈禳ス、玉葉

廿二日、紅旗ニ似タル雲、東北ニ見ハル、詔シテ服御常膳ヲ減ジ給フ、是日、位記請印、玉葉

廿三日、最勝講結願、玉葉

壽永二年六月

民部大夫忠能ヲシテ、兵二千ヲ率キ、北陸道ノ追討使ヲ援ケシム、一代要記 歷代皇記裏書

廿五日、平軍、退キテ安宅ヲ保ツ、參考源平盛衰記

廿九日、三日ヲ限り、御神樂ヲ内侍所ニ奏シテ、兵革ヲ祈禳ス、玉葉 御神樂部類

是月、早スルヲ以テ、神泉苑ニ雩ス、百練抄

六月 甲午 朔

一日、天皇、南殿南階ヨリ溜下ニ墜チ給フ、玉葉

源義仲、行家ノ軍ヲ合セ、進ミテ平軍ト安宅ニ戰ヒ、之ヲ破ル、平軍ノ將股野景尙、高橋長綱、齋藤實盛等戰死シ、妹尾景康、長吏齋明捕ヘラル、玉葉 吉記 保曆間記 參考源平盛衰記 吾妻鏡 尊卑分脈

二日、法皇、御劔ヲ諸社ニ奉リテ、兵革ヲ祈禳シ給フ、是日、上西門院御不豫、吉記

三日、伊勢大神宮以下十社ニ奉幣シテ、兵革ヲ祈禳セシム、是日、法皇、密ニ日吉社ニ御幸アラセラ

五日、法皇、日吉社ヨリ還御アラセラル、是日、五壇法結願、吉記

六日、法皇、左大臣經宗、右大臣兼實以下重臣五人ニ勅シテ、源義仲追討ノ謀ヲ議セシム、玉葉 吉記 百練抄 參考源平盛衰記

七日、法皇新熊野御精進始ヲ行ヒ給ヒ、又不動尊四天像ヲ供養アラセラル、吉記

祇園御輿迎、玉葉

八日、從五位下大中臣範隆卒ス、大中臣氏系圖

十日、源義仲、進ミテ越中ノ國府ニ入り、尋デ、延曆寺ニ牒シテ僧徒ヲ誘ヒ、道ヲ開カシム、保曆間記 參考源平盛衰記

十一日、月次祭、神今食、祭主大中臣親俊ヲシテ、亂ヲ靖メンコトヲ大神宮ニ禱ラシム、是日、法皇、千僧ヲシテ、藥師御讀經ヲ延曆寺ニ行ハシメ、又藥師法ヲ中堂ニ修シテ、兵禍ノ鎮定ヲ祈ラシメ給フ、吉記 百練抄 參考源平盛衰記

肥後守平貞能、鎮西ヨリ福原ニ還ル、一代要記 吉記

十二日、石清水八幡宮修理日時勘申、尋デ、伊勢大神宮ノ怪異ヲ軒廊ニトス、是日、大内ニ行幸アラセラレ、祇園ノ神輿ヲ避ケ給フ、又近江諸莊ノ兵士、院北面及ビ平宗盛ノ家人ヲ遣シテ、野海山ヲ守ラシム、吉記 石清水八幡宮記錄

十三日、筑後前司源重貞、單騎六波羅ニ來リ、義仲ノ兵、近江ニ到ルト告グ、京師騒然タリ、吉記 參考源平盛衰記

十四日、祇園御靈會、吉記

十五日、祇園臨時祭、大内ヨリ閑院ニ還御アラセラル、是日、法皇、六月會ヲ新熊野ニ行ハセ給フ、吉記 鹿槐抄

十六日、法皇、新熊野ヨリ還御アラセラル、吉記

十七日、内大臣實定及ビ權中納言藤原賴實著陣ス、吉記

十八日、仁王會定、法皇、清水寺ニ御幸アラセラル、

八座仁王講ヲ石清水以下十社ニ行ヒ、靖亂ヲ祈ル、是日、肥後守平貞能、兵千餘ヲ率キテ京ニ入ル、吉記 一代要記 歷代皇記裏書 參考源平盛衰記

廿一日、使ヲ柏原以下ノ山陵ニ遣シ、兵亂ノ鎮定ヲ禱ラシム、吉記 百練抄

廿二日、祭主大中臣親俊、神託ニ依リテ、神宮ノ銀劍ヲ法皇ニ奉ル、是日、用途ナキヲ以テ、仁王會ヲ延引ス、法皇、上西門院及ビ皇后宮並ニ御不豫、吉記 百練抄

廿三日、仗座ニ於テ、伊勢兩宮修造遲怠ノ事ヲ議ス、吉記 百練抄

廿八日、最勝寺御八講始、臨時仁王會、吉記

法皇、石清水八幡宮ニ御幸アラセラレ、明日、還御アラセラル、玉葉

廿九日、大祓、玉葉 吉記

是月、京師降雨多シ、吉記

七月 大 癸亥 朔 盡

壽永二年七月

一日、法皇、賀茂社ニ御幸アラセラル、是日、僧事アリ、玉葉

二日、鳥羽天皇國忌、法皇、賀茂社ヨリ、直ニ鳥羽ニ御幸アラセラル、是日、僧事ヲ行ヒ、又輕囚ヲ免ズ、玉葉 吉記

法皇、義仲ノ軍、京師ニ入ラントスルヲ聞キ給ヒ、右大辨平親宗ヲ遣シテ、車駕及ビ内侍所等、兵亂ヲ避クベキヤ否ヲ議セシム、玉葉

延曆寺僧徒、返牒ヲ源義仲ニ遣リテ、其求ニ應ズ、參考源平盛衰記

三日、法勝寺御八講始、吉記

小除目、玉葉 吉記 一代要記 皇代曆 公卿補任 職事補任 辨官補任 (附錄) 吉記

八條院、仁和寺御所ニ渡御アラセラル、玉葉

六日、法皇、新熊野御精進屋ニ入御アラセラル、吉記

七日、法勝寺御八講結願、法皇之ニ臨御アラセラ

ル、是夜、大納言平賴盛第焼亡ス、玉葉 吉記

八日、詔書覆奏、最勝光院御八講始、法皇、之ニ臨御アラセラル、是日、義仲ノ軍、近江ニ到ルノ報ニ依リ、警固召仰アリ、玉葉 吉記 百練抄

平宗盛、書ヲ延曆寺ニ遣リ、援ヲ請ヒ、本寺ヲ氏寺ニ準ジ、日吉社ヲ氏社ト爲サントス、僧徒聽カズ、吉記 百練抄 六代勝事記 參考源平盛衰記

九日、神宮ノ訴訟ヲ院ニ議ス、是日、多武峰金峰山僧徒、蜂起シテ、源氏ニ應ズ、吉記 百練抄

十日、法皇、祇園社ニ御幸アラセラレ、御經供養ヲ行ハセ給フ、吉記

十二日、最勝光院御八講結願、吉記 源義仲ノ兵、進ミテ勢多ニ抵ル、吉記 歷代皇記裏書 一

十三日、平氏ノ軍、丹波ノ源氏ニ應ズル者ヲ平グ、吉記

十四日、法皇、新熊野ヨリ還御アラセラル、吉記

葉 吉記 百練抄 一代要記 歷代皇記裏書 參考源平盛衰記

廿二日、公卿ヲ院ニ會シテ、行幸日時ヲ議セシメ、北面等ヲシテ、甲冑ヲ帶シ、院中ヲ警固セシム、玉

葉 吉記 百練抄 源義仲、覺明ヲ先導トシ、琵琶湖ヲ渡リ、比叡山ニ登リ、總持院ニ次ス、玉葉 吉記 百練抄 一代要記 歷代皇記

裏書 保曆間記 參考源平盛衰記

權中納言平知盛、左近衛中將平重衡等、二千騎ニ將トシテ、近江ニ赴ク、尋デ、權大納言平賴盛モ亦赴ク、吉記 一代要記 愚管抄 保曆間記 參考源平盛衰記

源行家、大和ヨリ、矢田義康、丹波ヨリ、源行綱、攝津ヨリ並ニ京師ニ迫ル、平忠度、退キテ大江山ニ次ス、玉葉 吉記 一代要記 歷代皇記裏書 參考源平盛衰記

平資盛、宇治ヨリ、平知盛、平重衡、勢多ヨリ、皆兵ヲ率キテ退ク、知盛、加賀ノ住人大田兼定ト粟津ニ戰ヒテ克タズ、遂ニ京師ニ還ル、參考源平盛衰記

廿三日、法皇、法住寺殿ニ御幸アラセラル、是日、天

源行家、伊賀ニ入ル、吉記

十五日、法勝寺孟蘭盆講、吉記 大原護法寺ニ於テ、千日阿彌陀護摩ヲ始行シ、又種々ノ行法ヲ始ム、相蓮房圓智記

十六日、賀茂、祇園兩社ニ怪異アリ、吉記

薩摩守平忠度ヲ遣シ、兵ヲ率キテ、丹波ニ赴カシム、是日、源義仲ヲ推問スベキ廳下文ヲ草セシム、玉葉 吉記

十七日、伊勢大神宮ニ怪異アリ、玉葉

十八日、上西門院、法金剛院御所ニ御幸アラセラル、吉記

十九日、諸社ノ訴ヲ院ニ議定ス、吉記

二十日、左大辨藤原經房、石清水八幡宮ニ詣ツ、吉記

廿一日、法皇、法住寺殿ニ御幸アラセラル、是日、左近衛中將平資盛、備中守平師盛、筑前守平定俊、肥後守平貞能等、兵千餘騎ヲ率キテ近江ニ進ム、玉

台座主明雲入京ス、玉葉 吉記

廿四日、源義仲ヲ推問スベキ廳下文ノ事ヲ院ニ議ス、是日、雷、石清水八幡宮ニ震ス、吉記 百練抄

夜、法住寺殿ニ行幸アラセラル、平氏、天皇、法皇ヲ奉ジテ西海ニ奔ラントス、法皇、依リテ潜ニ延曆寺ニ御幸アラセラル、玉葉 吉記 愚管抄 百練抄 皇帝紀抄

歷代編年集成 皇代曆 歷代皇記裏書 一代要記 皇代記 保曆間記

參考源平盛衰記

廿五日、平宗盛、天皇、建禮門院ヲ奉ジ、神器ヲ携へ、攝政基通及ビ平氏ノ一族ヲ率キテ、京都ヲ出奔シ、西海ニ赴ク、攝政基通、途ヨリ歸京シ、平賴盛モ亦京ニ留ル、是日、行家木幡山ニ、義仲勢多ニ次ス、玉葉 吉記 愚管抄 百練抄 吾妻鏡 神皇正統記 皇帝紀抄 一

代要記 皇代曆 歷代皇記裏書 皇代記 皇年代略記 公卿補任 類聚 大補任 女院小傳 東寺長者補任 華頂要略 如是院年代記 興福寺略 年代記 東寺王代記 元亨釋書 高野春秋 春日權現驗記 保曆間記 參考源平盛衰記

廿六日、入道前關白基房、右大臣兼實以下ノ公卿、

延曆寺ノ法皇御所ニ候ス、玉葉 吉記 歷代皇記裏書 保
曆間記 參考源平盛衰記

廿七日、法皇、延曆寺ヨリ蓮華王院ニ還御アラセ
ラル、右大臣兼實以下之ニ供奉ス、玉葉 吉記 百練抄

愚管抄 皇紀抄 歷代編年集成 一代要記 歷代皇記裏書 華頂要略
保曆間記 參考源平盛衰記

廿八日、法皇、權大納言平時忠ニ勅シテ、平宗盛ニ
諭シ、天皇及ビ神器ヲ京都ニ還シ奉ラシム、又民
部卿藤原成範ヲシテ、其内旨ヲ平貞能ニ傳ヘシ
ム、玉葉 吉記 一代要記 長門本平家物語

公卿ヲ院ニ會シテ、劔璽ノ事ヲ議セシム、是日、源
義仲勢多ヨリ、源行家宇治ヨリ並ニ京師ニ入ル、
法皇、兩將ヲ蓮華王院ニ召シ、平氏追討ノ宣旨ヲ
下シ給ヒ、詔シテ第宅ヲ賜フ、又院廳官ヲ鎌倉ニ
遣シテ、源賴朝ヲ召サシム、玉葉 吉記 百練抄 皇紀抄

一代要記 歷代皇記裏書 歷代編年集成 保曆間記 皇年代略記 如是
院年代記 六代勝事記 參考源平盛衰記

廿九日、法皇、御念誦ヲ始メ給フ、是日、六波羅密寺

常光院焼亡ス、玉葉 吉記 百練抄 皇年代略記 〔參考〕山城
名勝志

三十日、公卿ヲ院ニ會シテ、賴朝、義仲、行家等ノ勸
賞、及ビ關東北陸莊園及ビ京中ニ狼藉制止ノ事
ヲ議ス、又官寮ヲシテ、神器ノ西遷ヲトセシメ、尋
デ、院宣ニ依リ、民部卿藤原成範ヲシテ、神器奉還
ノ事ヲ、平時忠ニ諭サシム、是日、源義仲ヲ京師ノ
守護ト爲ス、玉葉 吉記 百練抄 歷代皇記裏書 參考源平盛衰記

是月、平宗盛等、京都ヲ發シテ、福原ニ至リ、清盛ノ
墓ニ詣テ、終夜樂ヲ奏シ、經ヲ誦ス、尋デ、福原ノ宮
殿及ビ第宅ヲ燒キ、海ニ泛ビテ大宰府ニ赴ク、上
總介平忠清、檢非違使貞賴出家シテ、京中ニ隠ル、
吉記 保曆間記 參考源平盛衰記

八月 大 癸巳 朔 盡

安樂寺草創日記

四日、右大臣兼實、大原野社ニ奉幣シ、又七日ヲ限
リ、仁王講ヲ修ス、玉葉

五日、釋奠、是日、法皇、新主踐祚ノ事ヲトセシメ給
フ、大夫尉知康、名器玄上ヲ途ニ獲テ院ニ奉ル、百
練抄 一代要記 歷代皇記裏書 絲竹口傳

法皇、新主ヲ立ントシ給ヒ、高倉天皇ノ皇子三宮、
雅 成、四宮 成、ヲ召見シ給フ、増鏡 保曆間記 長門本平家物語
參考源平盛衰記

六日、法皇詔シテ、前内大臣平宗盛ヲ除名シ、權大
納言平賴盛以下、其族二百餘人ノ官爵ヲ削ル、玉
葉 百練抄 皇紀抄 歷代編年集成 一代要記 皇代曆 歷代皇記裏
書 保曆間記 興福寺略年代記 公卿補任 參考源平盛衰記

右大臣兼實、新主ヲ立テ奉ルベキ議ヲ法皇ニ奏
ス、玉葉

七日、右大臣兼實、細劔ヲ春日社ニ、鏡匣ヲ伊勢大
神宮ニ奉ル、玉葉

十日、法皇、左右大臣、内大臣ヲ院ニ召シ、新主踐祚

ノ事ヲ議セシム、是日、源義仲ヲ左馬頭兼越後守
ニ、源行家ヲ備後守ニ任ジ、並ニ從五位下ニ敍ス、
玉葉 百練抄 皇紀抄 皇代曆 一代要記 皇年代略記 濫觴抄 參
考源平盛衰記

平時忠、備中下津井ヨリ答書ヲ法皇ニ上リ、京師
平定ノ後ニ非ラザレバ、天皇、神器ノ還御アルベ
カラザル旨ヲ奏ス、玉葉 吾妻鏡

十二日、法皇、石清水八幡宮ノ觸穢ニ依リテ、放生
會ヲ延行セシメ給フ、石清水八幡宮記錄

十四日、源義仲、大藏卿高階泰經ニ依リテ、故以仁
王ノ御子ヲ、帝位ニ即ケ奉ラン事ヲ奏ス、法皇、法
印俊堯ヲ遣シ、繼體ノ事、守文ヲ先ト爲スベキ旨
ヲ諭サシメ給ヒ、尋デ、泰經ヲシテ、之ヲ右大臣兼
實ニ詢ハシメ給フ、玉葉 參考源平盛衰記

十五日、法皇、神祠ヲ成勝寺中ニ建テ、崇徳天皇
ノ靈ヲ祀ラントシ給ヒ、其可否ヲ右大臣兼實ニ
問ハセ給フ、是日、法印慈圓、二十五度三昧念佛ヲ

御堂二行フ、玉葉

式部大輔藤原俊經、神器勘文ヲ進ム、伊呂波字類抄

十六日、法皇、源義仲ヲ伊豫守ニ、源行家ヲ備前守

ニ轉ジ、安田義定ヲ近江守ニ任ゼシメ、權大納言

平時忠ヲ解官セシム、玉葉 百練抄 皇代曆 一代

要記 保曆間記 公卿補任 參考源平盛衰記

駒牽ヲ停ム、楊囊抄

十八日、法皇、公卿ヲ院ニ會シテ、神鏡劍璽及ビ踐

祚ノ事ヲ議セシム、是日、法皇、平氏ノ所領ノ没官

セル五百餘所ヲ頒チ、百四十餘所ヲ源義仲ニ、九

十餘所ヲ源行家ニ賜フ、玉葉 百練抄 保曆間記 參考源平

盛衰記

安徳天皇

後鳥羽天皇

壽永二年癸卯

八月 癸巳 盡

二十日、後鳥羽天皇、法皇ノ詔ニ依リテ、閑院ニ踐

祚アラセラル、攝政基通、左大臣經宗、右大臣兼實

内大臣實定以下ヲ舊ノ如クナラシム、玉葉 廷尉故

實 愚管抄 百練抄 增鏡 神皇正統記 皇代編年集成 皇

代曆 皇代記 保曆間記 六代勝事記 類聚大補任 興福寺略年代記

東寺長者補任 高野春秋 一代要記 公卿補任 職事補任 參考源平盛

衰記

廿一日、兵士、大原野、稻荷、梅宮等ノ諸社ニ亂入

ス、百練抄 參考源平盛衰記

右大臣兼實疾ム、玉葉

廿五日、除目、權中納言藤原師家ヲ權大納言ニ、左

近衛中將藤原兼房、參議藤原親信ヲ權中納言ニ

任ズ、玉葉 一代要記 公卿補任

廿八日、法皇、宸筆宣命ヲ伊勢大神宮ニ奉ラント

シ給ヒ、式部權少輔藤原範季ヲシテ、右大臣兼實

ニ議セシメ給フ、是日、兵士十人ヲ七條河原ニ斬

ル、玉葉

平宗盛等、安徳天皇ヲ奉ジテ、大宰府ニ至ル、原田

種直等、行宮ヲ營ミテ護衛シ奉ル、玉葉 保曆間記 參

考源平盛衰記

三十日、法皇、公卿勅使御精進屋ニ入御アラセラ

ル、是日、右大臣兼實家所宛、玉葉

九月 癸亥 盡

一日、右大臣兼實、瀧口名簿ヲ藏人頭藤原隆房ニ

送ル、玉葉

二日、法皇、參議藤原脩範ヲ伊勢ニ遣シ、幣ヲ大神

宮ニ奉ラシム、百練抄 濫觴抄 保曆間記 參考源平盛衰記

政始、女官除目、是日、開關解陣、玉葉

法皇、高野山衆徒ニ兩部大法ヲ修セシメ給フ、高

野春秋 高野山文書

六日、院供花始、玉葉

八日、右大臣兼實恒例念佛ヲ始行ス、玉葉

十一日、例幣、達幸故實抄

十二日、權大僧都勝賢ニ命ジテ、轉法輪法ヲ醍醐

寺ニ修セシム、壽永二年轉法輪法記

十三日、後鳥羽天皇御即位女房裝束ノ事ヲ定ム、

親經卿記

高野山檢校宗賢寂ス、粉川寺緣起

十五日、後鳥羽天皇御即位ノ延否ヲ攝政基通ノ

直廬ニ定ム、參議定長卿記 親經卿記 百練抄

石清水放生會ヲ追行ス、石清水文書 石清水八幡宮記錄 神

葉集 長門本平家物語

法皇、日吉社ニ御幸アラセラレ、天台座主明雲、日

吉別當昌雲ヲ賞シ、前權少僧都顯眞ヲ法印ニ、一

身阿闍梨眞性ヲ法眼ニ敍セラル、百練抄 華頂要略 參

考源平盛衰記

十九日、法皇、宮内權少輔藤原親經ヲ遣シテ、右大

臣兼實ニ、後鳥羽天皇御即位ノ間ノ事ヲ諮ハシ

メ給フ、玉葉 親經卿記

ル、玉葉

是ヨリ先、法皇、故以仁王ノ御子北陸宮ヲ迎へ奉ル、是日、宮、延曆寺ニ到リ給フ、玉葉 百練抄

二十日、源義仲、京師ヲ發シ、途ニ石清水八幡宮ニ詣テ、播磨ニ向フ、玉葉 百練抄 一代要記 參考源平盛衰記

廿二日、八條院御不豫、玉葉

廿九日、權僧正定遍ヲ東寺寺務ニ補シ、東大寺別當ヲ兼ネシム、東寺長者補任 仁和寺諸院家記

是月、吉田社ニ恠異アリ、玉葉

平宗盛、上書シテ、法皇ニ背キ奉ル意ナキヲ陳シ、謹ンデ詔命ヲ奉ズベキ旨ヲ奏ス、玉葉

天文博士安倍泰親卒ス、安倍氏系圖 系圖纂要 玉葉 顯廣

王記 續古事談 參考源平盛衰記

賴朝、僧文覺ヲシテ、義仲等ノ追討懈怠及ビ京中狼藉ノ事ヲ院ニ勘發セシム、玉葉

京師貴賤、義仲及ビ兵士ノ狼藉ニ苦ミ、切ニ賴朝ノ上洛ヲ待ツ、玉葉

中原康定、鎌倉ヨリ還リ、源賴朝奏スル所ノ三事ヲ復命ス、玉葉

阿闍梨乘遍寂ス、表白集 尊卑分脈

十月 大 盡 壬辰朔

一日、東寺長者法務大僧正禎喜寂ス、歷代編年集成 歷代皇記裏書 尊卑分脈 東寺長者補任 仁和寺諸師年譜 仁和寺諸院家記 (參考) 本朝高僧傳

六日、賴朝、使ヲ遣シテ、義仲ノ異心ヲ挾ムコトヲ訴フ、玉葉

七日、右大臣兼實、法皇ニ奏シテ、最勝金剛院領伊賀四箇莊ノ停廢ヲ解カレンコトヲ請フ、玉葉

八日、法皇、石清水八幡宮ニ御幸アラセラル、玉葉

石清水文書

九日、小除目、日吉七社及ビ紀伊丹生高野社二位一階ヲ加へ、前兵衛佐源賴朝ヲ本位ニ復ス、是日、左馬頭源義仲、播磨ニ入ル、玉葉 百練抄 公卿補任 柱史

抄 日吉山王新記 高野山文書 高野春秋

十二日、源義仲、備中ニ入り、妹尾兼康ヲ殺ス、一代

要記 參考源平盛衰記

十三日、法皇、賀茂社ニ御幸アラセラル、親經卿記

法皇、重ネテ中原康定ヲ鎌倉ニ遣シ給フ、是日、雷鳴、玉葉 百練抄

十四日、法皇、賀茂社ヨリ祇園社ニ御幸アラセラ

ル、親經卿記
大地震、是日、鎮星、太微ニ入ル、玉葉 百練抄 皇代曆 皇

年代略記

法皇、平氏ノ侵奪セシ東海東山二道諸國ノ貢稅、及ビ神社佛寺王臣家領莊園等ヲ、各本主ニ還付

セシメ給フ、百練抄

十七日、虹二條見ハル、又東方ニ赤光アリ、玉葉

十八日、紀伊持田莊ヲ神護寺ニ寄進ス、神護寺舊記

法印慈圓、延曆寺無動寺ニ歸ル、玉葉

平賴盛、鎌倉ニ赴ク、玉葉 百練抄 一代要記 公卿補任

二十日、右近衛大將藤原良通ノ家ニ穢アリ、玉葉

壽永二年十月

藤原賴經、緒方惟能ト謀リ、兵ヲ發シテ、大宰府ヲ

侵ス、平宗盛等、安德天皇ヲ奉ジ、箱崎ヲ經テ、藤原

秀遠ノ山鹿城ニ遷ル、尋デ、惟能等追跡セルニ依

リ、船ニ御シ奉リテ、柳浦ニ至ル、玉葉 吉記 保曆間記

參考源平盛衰記 吾妻鏡
廿二日、官宣旨ヲ下シテ、紀伊高野山領、播磨揖東

郡福井莊所當地利ヲ以テ、大塔長日ノ大法及ビ所々佛事用途ニ充テ、又勅事院事國役等ヲ免除

ス、高野山文書
廿三日、院ニ於テ御占アリ、右大臣兼實、賀茂在宣

玉葉

法皇、左馬頭源義仲ニ上野信濃二國ヲ賜ヒ、源賴

朝ト和セシム、玉葉

廿六日、義仲、播磨ヨリ歸京シ、賴朝ト争ハントノ

說京師ニ傳ヘラル、玉葉

是月、平氏、安德天皇ヲ奉ジテ、鎮西ヲ發シ、海路讚岐ニ至リ、行宮ヲ屋嶋ニ營ム、田口成良、阿波ヨリ

來り屬シ、四國ノ將士皆之ニ應ズ、玉葉 吾妻鏡 參考

源平盛衰記

閏十月壬戌 朔

一日、日食、玉葉 參考源平盛衰記

源義仲ノ將足利義清、海野幸廣等、平重衡等ト備中水島ニ戰ヒテ敗死ス、玉葉 吾妻鏡 百練抄 一代要記

皇代曆 保曆間記 參考源平盛衰記

二日、法皇、御使ヲ右大臣兼實ノ第二遣ハサレ、崇徳天皇ノ御改葬及ビ改元等ノ事ヲ問ハシメ給フ、玉葉

五日、是ヨリ先、賴朝、遠江ニ至リ、陸奥藤原秀衡、兵數萬ヲ率キ、白川關ニ出ヅルヲ聞キテ、鎌倉ニ還レリトノ說、京都ニ行ハル、玉葉

七日、是ヨリ先、四天王寺舍利三粒紛失ス、是日、之ヲ搜出ス、百練抄

十一日、今年ノ五節ヲ停メシム、玉葉 參議定長卿記 百

練抄

金剛勝院領近江富永莊ヲ延曆寺ニ寄進シテ、千僧供料ト爲サシム、華頂要略

十五日、法皇、今年改元ノ可否ヲ右大臣兼實ニ問ハシメ給フ、玉葉 百練抄

義仲、法皇ノ詔ニ背キ、兵ヲ引キテ京師ニ還ル、玉葉 一代要記

十六日、義仲、法皇ノ宮ニ詣リ、平軍ノ近狀憂フルニ足ラザルヲ奏シ、又賴朝遣ス所ノ義經等ノ入京ヲ拒ガンコトヲ請フ、玉葉

十九日、法皇、新日吉ニ御幸アラセラレ、直ニ還御アラセラル、玉葉

二十日、平氏ノ軍、大ニ振ヒ、播磨以西之ニ從フ、是日、參議藤原基家、京師ヲ出奔ス、玉葉

廿二日、是ヨリ先、義仲、法皇ヲ奉ジ、北陸道ニ奔ラント欲ス、行家、聽カズシテ法皇ニ奏ス、法皇、乃チ法印靜賢ヲ遣シテ、義仲ヲ詰ラシメ給フ、義仲、依

リテ法皇ヲ怨ミ奉ル、是日、義仲又、法皇ノ宮ニ詣リ、重ネテ行家奏聞ノ無實ナル事ヲ陳奏シ、且源義廣ヲシテ、平氏ヲ討タシメンコトヲ請ヒ、又賴朝追討ノ院宣ヲ請フ、玉葉

廿四日、義仲、更ニ法皇ニ奏シ、源義廣ニ備後ヲ賜ヒ、以テ平氏ヲ討タシメンコトヲ請フ、法皇聽シ給ハズ、玉葉

廿五日、右大臣兼實、鳳笙二管ヲ賀茂兩社ニ、琵琶一面ヲ、春日社ニ笛一管ヲ熊野ニ奉リ、家門ノ繁榮ヲ祈ル、玉葉

廿六日、法皇、義仲ニ命ジテ、平氏ヲ討タシメ給フ、義仲、興福寺僧徒ニ牒シテ、賴朝ヲ討タシム、僧徒聽カズ、玉葉

廿八日、法皇、密ニ興福寺別當權僧正信圓ヲシテ、大和ノ兵ヲ徵シテ、平軍ニ備ヘシメラル、玉葉

十一月大 朔

壽永二年十一月

練抄

一日、冬至、百官賀表ヲ上ル、尋テ、御曆奏アリ、玉葉 吉記 朔旦冬至部類記 百練抄

大僧正定遍ヲ東大寺別當ニ補ス、仁和寺諸院家記 東寺長者補任

二日、義仲、法皇ノ宮ニ詣ル、玉葉

四日、主稅助時晴姓關ノ宅燒亡ス、吉記

源賴朝、弟義經及ビ齋院次官中原親能ヲシテ、租稅ヲ監送セシム、是日、義經等、不破關ニ抵ル、玉葉 吉記 參考源平盛衰記

六日、春日祭、玉葉 吉記

右大臣兼實ノ家ニ穢アリ、玉葉

七日、梅宮祭、玉葉

義仲、院中警衛ニ候セズ、玉葉

八日、源行家、兵ヲ率キテ京師ヲ發シ、平氏ヲ討ツ、玉葉 吉記 百練抄 一代要記 皇代曆

九日、平重衡、備前ニ入り、檢非違使惟資國武等ヲ

左大辨藤原經房ノ女最妙尼寂ス、吉記

敗り、進ンデ室泊ニ次ス、玉葉 吉記

十日、法皇、蓮華王院内北斗堂ヲ供養アラセラル、

玉葉 百練抄

法皇、法印澄憲ヲ義仲ニ遣シ、源頼朝ノ弟義經等ノ入京ヲ許サンコトヲ諭サシメ給フ、玉葉

十一日、大夫尉中原康定、鎌倉ヨリ還ル、玉葉 吉記

十四日、法皇、御使ヲ平宗盛ニ遣シテ、神器ヲ奉還

セシムル可否ヲ、攝政基通、左大臣經宗、右大臣兼

實等ニ議セシメ給フ、玉葉

十六日、院中ヲ戒嚴シ、法皇、法住寺南殿ニ還御アラセラル、玉葉 吉記

十七日、法皇、兵ヲ法住寺殿ニ集メ、源義仲ニ備ヘ

給ヒ、御使ヲ義仲ニ遣シテ、京師ヲ退去セシメラ

ル、是夜、八條院、八條殿ニ還御アラセラル、高倉宮

密ニ法住寺殿ヲ脱出シ給フ、吉記 百練抄

權中納言藤原頼實ニ帶劔ヲ聽ス、一代要記 公卿補任

十八日、吉田祭、玉葉 吉記

右大臣兼實、法皇ノ宮ニ詣リ、御輕舉ヲ切諫シ奉ル、是日、後鳥羽天皇、密ニ法住寺殿ニ行幸アラセラレ、上西門院及ビ皇后竝ニ、雙輪寺ノ邊ニ渡御アラセラレテ、共ニ兵亂ヲ避ケ給フ、玉葉 吉記 百練抄 皇代曆 參考源平盛衰記

十九日、左馬頭源義仲、軍ヲ率キテ、法住寺殿ヲ犯

シ奉リ、火ヲ放チテ之ヲ燒ク、官兵敗レ、後鳥羽天

皇、御母藤原殖子ノ七條第二遷御アラセラレ、法

皇、攝政基通ノ五條第二潛幸アラセラル、玉葉 吉

記 愚管抄 神皇正統記 百練抄 皇代曆 一代要記 東寺

長者補任 皇年代略記 如是院年代記 保曆間記 六代勝事記 近江國

別浦八幡緣起 參考源平盛衰記 本朝皇胤紹運錄 歷代皇記裏書 園城

寺長更次第 今鏡 尊卑分脈 歷代編年集成 法中補任 天台座主記

堀井門跡略譜 華頂要略 和歌作者部類 徒然草〔參考〕本朝高僧傳

尊卑分脈 清原氏系圖

二十日、後鳥羽天皇、閑院ニ還御アラセラル、上西

門院、皇后竝ニ五辻御所ニ渡御アラセラル、是日、

義仲、伯耆守光長姓闕以下百餘人ノ首ヲ五條河原

ニ梟ス、吉記 百練抄 參考源平盛衰記

參議藤原修範出家ス、吉記 百練抄 參考源平盛衰記

廿一日、源義仲、入道關白基房ト謀リ、法皇ニ要請

シ奉リ、攝政基通、内大臣實定ヲ罷メ、權大納言藤

原師家ヲ内大臣攝政ト爲シ、自ラ院御厩別當ト

爲ル、玉葉 山槐記抄出 吉記 愚管抄 百練抄 皇代曆

歷代編年集成 一代要記 興福寺略年代記 公卿補任 攝關補任次第

保曆間記 春日權現驗記 天王寺舊記 參考源平盛衰記

法皇、御使ヲ源義經ニ遣シテ、義仲ノ反狀ヲ告ゲ

給ヒ、即頼朝ニ報ゼシメラル、平知康モ亦、法住寺

殿ヲ遁レ、尋テ、鎌倉ニ到リ戰狀ヲ頼朝ニ告グ、玉

葉 保曆間記 參考源平盛衰記

廿二日、穢ニ依リテ、大原野祭ヲ停ム、是日、藏人光

兼姓闕出家ス、玉葉 吉記

廿四日、吉田ノ邊燒亡ス、吉記

廿五日、天台座主以下ノ事ヲ院ニ議ス、百練抄

寶幢院檢校、權少僧都實宴ヲ罷ム、法中補任

廿六日、兩女院、齋院ノ五辻殿ニ御幸アラセラル、

吉記 壽永二年十二月

廿七日、法眼經尊寂ス、吉記 尊卑分脈

廿八日、義仲ヲシテ、平氏ノ所領八十餘所ヲ總領

セシム、玉葉 吉記 百練抄

法皇、勅シテ平氏ヲ討タシム、吉記

中納言藤原朝方以下文武四十餘人ノ官職ヲ解

キ、權大納言藤原兼雅ノ出仕ヲ停ム、玉葉 吉記 山槐

記抄出 百練抄 一代要記 公卿補任 參考源平盛衰記

法皇、右大臣兼實、左大辨藤原經房等ニ勅シテ、後

鳥羽天皇御即位ノ儀ノ事ヲ議セシム、玉葉 吉記

廿九日、源行家、平教盛、平重衡等ト室山ニ戰ヒテ

敗績ス、玉葉 吉記 皇代曆 一代要記 保曆間記 參考

源平盛衰記

三十日、法成寺御八講始、吉記

是月、義仲密ニ書ヲ平宗盛ニ贈リ、相和シテ頼朝

ヲ拒ガン事ヲ勸ム、宗盛之ニ應ゼズ、玉葉 吉記 保曆

間記 參考源平盛衰記

十二月 大 辛酉 朔 盡

一日、攝政師家、吉書ヲ奏ス、吉記 玉葉
攝政師家ニ、帶劔ヲ聽ス、一代要記 公卿補任 攝關補任次第
權大納言藤原兼雅ニ出仕ヲ聽シ、大貳藤原實清
以下殿上人及ビ武士等ノ召籠メラレタルヲ免
ス、吉記 公卿補任 保曆間記 參考源平盛衰記

三日、佐渡守源重隆以下八人ヲ解官ス、吉記
是ヨリ先、義仲、部下ヲ遣シ、賴朝ノ兵ヲ追フ、是
日、參院シテ之ヲ奏ス、義仲、益院中ノ守護ヲ嚴ニ
ス、玉葉

五日、右大臣兼實、皇嘉門院ノ御忌日ヲ九條堂ニ
修ス、玉葉

七日、延曆寺僧徒、日吉神輿ヲ山上ニ迎へ、中堂ニ
安置ス、吉記 玉葉

八日、攝政師家、慶賀ヲ申ス、是日、師家ヲ從二位ニ
敘シ、牛車ヲ聽シ、兵仗ヲ賜フ、吉記 一代要記 公卿補任

十日、臨時除目、源義仲ノ左馬頭ヲ罷ム、又權僧正
攝關補任次第

名ヲ停ム、玉葉 吉記 參議定長卿記 百練抄 辨官補任

延曆寺僧徒、日吉神輿ヲ本社ニ奉還ス、玉葉 吉記

廿一日、除目、玉葉 吉記 一代要記 公卿補任

廿二日、除目下名、右兵衛督藤原隆房、右大辨藤原
兼光著陣、是日、大地震、又八條邊災ス、玉葉 吉記 一

代要記 公卿補任

廿三日、律師源實ヲ祇園別當ニ補ス、吉記

廿五日、賀茂臨時祭、玉葉 吉記

蛙、鳥羽殿南樓門外ニ蛇ト戰フ、百練抄

廿六日、月次祭、神今食、吉記

廿七日、吉書奏、吉記

廿八日、不堪佃田荒奏、位祿定、大糧申文、權中納言
藤原隆忠、慶賀ヲ申ス、勅シテ、帶劔ヲ聽ス、是日、
攝政師家上表、玉葉 吉記 一代要記 公卿補任

廿九日、施米定、不堪佃田和奏、中納言藤原長方著
陣、是日、崇德天皇及ビ藤原賴長ノ祠ヲ、春日河原
ニ創建ス、玉葉 吉記 百練抄

壽永二年是冬——是歲

俊堯ヲ天台座主ニ補ス、是日、法皇、五條殿ヨリ左
馬權頭業忠姓關ノ六條西洞院第二徙御アラセラ
レ、院宣ヲ下シテ、源賴朝ヲ討タシム、玉葉 吉記 百
練抄 皇代曆 一代要記 公卿補任 職事補任 辨官補任 皇帝紀抄
歷代編年集成 歷代皇記裏書 天台座主記 法中補任 僧官補任 華頂
要略 參考源平盛衰記 保曆間記

十三日、荷前使ヲ發遣ス、是日、上西門院、皇后、五
辻殿ヨリ前參議藤原基家ノ持明院第二徙御アラ
セラル、玉葉 吉記

十五日、院宣ヲ鎮守府將軍藤原秀衡ニ下シ、前左
馬頭源義仲ト共ニ、源賴朝ヲ討タシム、吉記

十六日、法勝寺大乘會始、是日、攝政師家直衣始、
吉記

十七日、院御懺法竟、吉記

右大臣兼實、右大辨藤原經房ニ、官掌名簿ヲ下ス、
吉記

十九日、朔旦敍位、右兵衛督藤原隆房、右大辨藤原
兼光、慶賀ヲ申ス、是日、御即位以前ニ依リテ、御佛

東寺灌頂、東寺長者補任 東寺長者雜日記

三十日、追儺、内侍除目、玉葉 吉記

是月、權少僧都榮全ヲ、寶幢院檢校ニ補ス、法中補任

藤原氏某、二親ノ爲ニ、法華經以下ヲ書寫シテ、嵯
峨ニ修善ス、願文集

法皇、義仲ノ請ニ依リテ、石清水八幡宮ニ臨幸ア
ラセラレントス、權中納言藤原長方ノ議ニ依リ
テ停メ給フ、吉記 玉葉

京師盜賊橫行ス、吉記

是冬、源賴朝、平廣常ヲ殺ス、愚管抄 尊卑分脈 吾妻鏡 諸

家系圖纂

源賴朝、弟範賴、義經ヲ遣シ、兵六萬ヲ率キテ、源義
仲ヲ討タシム、義經等、海道ヲ經テ、京師ニ向フ、玉

葉 皇代曆 吾妻鏡 參考源平盛衰記

參議藤原修範薨ズ、公卿補任 尊卑分脈

是歲、邦民七十三人、宋秀州華亭縣ニ漂泊シ、賑給
ヲ得テ歸ル、宋史

安德天皇

壽永三年甲辰

後鳥羽天皇

元曆元年

正月小 朔盡

一日、小朝拜、院拜禮ヲ停メ、節會ヲ行フ、是夜、暴風雷雨、將軍塚鳴動ス、又大神宮ニ怪異アリ、玉葉

愚昧記 百練抄 保曆間記 參考源平盛衰記

安德天皇、讚岐屋島行宮ニ御シ給フ、參考源平盛衰記

賴朝、奉幣使ヲ鶴岡八幡宮ニ遣シテ、法華八講ヲ行ハシム、吾妻鏡

三日、殿上淵醉ヲ停ム、殿上燕醉部類

源賴朝、武藏大河土御厨ヲ豐受大神宮ニ奉ル、吾妻鏡

妻鏡

四日、法皇、犬ヲ右大臣兼實ノ子良經ニ賜フ、玉葉

六日、敍位、攝政師家、權中納言藤原實家ヲ正二位

ニ、參議藤原俊經ヲ正三位ニ、伊豫守源義仲ヲ從四位下ニ敍ス、玉葉 百練抄 一代要記 公卿補任 吾妻鏡 參考源平盛衰記

考源平盛衰記

七日、白馬節會、愚昧記 玉葉

八日、御齋會始、後七日御修法、百練抄 東寺長者補任 東寺長者雜日記 東寺長者續紙

伊豫守源義仲ヲ征夷大將軍ト爲ス、玉葉 吾妻鏡 神皇正統記 百練抄 歷代編年集成 參考源平盛衰記 職原抄

源賴朝、甲二領ヲ上總一宮ニ奉リ、上總介平廣胤ノ納ムル所ノ甲二代フ、吾妻鏡

參考源平盛衰記

源範賴、義經ノ軍、美濃伊勢ニ達スルノ報ニ依リ、義仲兵ヲ遣シテ、之ヲ禦ガシム、百練抄 玉葉 保曆間記

參考源平盛衰記

十四日、御齋會竟、即位以前ニ依リテ、内論議ヲ停ム、是日、最勝光院御八講、爾後十九日ヲ改メテ、十四日ト爲ス、玉葉 年中行事抄 師光年中行事

十六日、源範賴、義經等ノ軍、近江ニ著ス、義仲ノ

兵、風ヲ望ンデ、逃走シ、京師騷擾ス、源行家、義仲ニ叛キ、河内石川城ニ據ル、義仲、樋口兼光ヲシテ之ヲ討タシム、玉葉 參考源平盛衰記

十七日、源賴朝、平廣胤ノ上總一宮ニ奉納ノ願書ヲ見テ、其異心ナカリシヲ知り、之ヲ殺セシコトヲ悔ユ、吾妻鏡

十九日、義仲、部將今井兼平ヲシテ、勢多ヲ、同源義廣、根井行親等ヲシテ、宇治ヲ守備セシメ、以テ範賴、義經ノ軍ヲ防ガシメ、自ラ院御所ヲ守護ス、是日、義仲ノ部將樋口兼光、源行家ノ據レル石川城ヲ攻メテ之ヲ陥ル、行家、傷ヲ被リ高野ニ奔ル、玉葉

保曆間記 參考源平盛衰記 一代要記 高野春秋

二十日、常陸鹿島社神殿ニ怪異アリ、吾妻鏡

範賴、義經ノ軍、勢多宇治ニ到リ、義仲ノ軍ヲ破リテ、京都ニ進ム、義仲、法皇ヲ醍醐寺ニ奉還セントシテ果サズ、敗兵ヲ收メテ、勢多ヲ防ギ、栗津ニ戰死ス、義經、院御所六條殿ニ詣リテ、賴朝ノ旨ヲ奏

ス、法皇、義經ヲシテ、宮中ニ宿衛セシム、玉葉 吾妻鏡 百練抄 歷代編年集成 皇帝紀抄 一代要記 皇代曆 公卿補任

六代勝事記 保曆間記 參考源平盛衰記 諸家系圖纂 愚管抄 神皇正統記 興福寺略年代記 類聚大補任 近江國別浦八幡緣起 尊卑分脈 木曾考續紹

廿一日、法皇、御使ヲ遣シテ、賴朝ノ功ヲ賞シ給フ、玉葉

廿二日、攝政師家ヲ罷メ、前攝政基通、前内大臣實定ヲ還任ス、是日、法皇、平氏追討以下五箇條ノ事ヲ右大臣兼實ニ問ヒ給フ、延曆寺僧徒、座主俊堯ヲ逐フ、玉葉 兵範記 百練抄 歷代編年集成 一代要記 皇代曆

公卿補任 濫賜抄 攝關補任次第 紹運要略 興福寺略年代記 保曆間記 歷代皇記裏書 僧官補任 華頂要略 參考源平盛衰記

賴朝、畫人藤原爲久ヲ鎌倉ニ召ス、吾妻鏡

廿三日、大地震、玉葉

中納言藤原定能ヲ從二位ニ敍ス、一代要記

廿四日、攝政家御厩別當ヲ補ス、兵範記

右近衛大將藤原良通疾ム、玉葉

廿六日、宣旨ヲ源賴朝ニ下シテ、平宗盛以下ノ黨類ヲ討伐セシム、玉葉 吾妻鏡

源義仲及び今井兼平、根井行親等ノ首ヲ梟ス、吾妻鏡 百練抄 歷代編年集成 皇代曆 保曆間記 參考源平盛衰記

盛衰記

廿七日、法皇、親衛ノ爲ニ武士ヲ、右大臣兼實ニ徵シ給フ、玉葉

源範賴、義經等ノ使、鎌倉ニ至リ、義仲ノ伏誅ヲ報ズ、吾妻鏡

廿八日、二月中ノ恒例諸社祭ヲ停メシム、是日、攝政基通、慶賀ヲ申ス、兵範記 百練抄

源義經ノ郎從、大夫史小槻隆職ノ第ヲ犯シ、文庫ヲ壞ル、玉葉

廿九日、宣旨ヲ源賴朝及ビ畿内七道諸國ニ下シテ、義仲ノ遺黨ヲ搜捕セシム、是日、源賴朝、範賴、義經ヲ遣シテ、平氏ヲ討タシム、玉葉 吾妻鏡 百練抄

保曆間記 參考源平盛衰記 「參考」 參考源平盛衰記

前權大納言藤原兼雅ニ、出仕ヲ聽ス、一代要記 公卿補任

是月、平宗盛、安徳天皇ヲ奉ジテ、福原ニ至リ、城廓ヲ一谷ニ構ヘテ之ニ據リ、平教盛、同通盛、同教經等、四國ヲ略シテ、一谷ニ會ス、玉葉 愚管抄 吾妻鏡 皇代曆 一代要記 皇年代略記 保曆間記 參考源平盛衰記 古文書類纂 尊卑分脈

二月 大庚申朔

一日、春日祭ヲ延引ス、玉葉 百練抄

源賴朝、範賴ヲ勘氣ス、吾妻鏡

二日、樋口兼光ヲ梟ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

是ヨリ先、伯耆ニ法皇ノ御子ト稱スル者アリ、兵ヲ聚メテ、伯耆、美作ヲ掠取ス、是日、其使者入京シ、平氏ヲ討タンコトヲ請ヘリトノ説アリ、玉葉 七條室町焼亡ス、玉葉

前權僧正全玄ヲ天台座主ニ補ス、玉葉 歷代皇記裏書

天台座主記 僧官補任 華頂要略

源行家、京師ニ入ル、玉葉

四日、祈年祭ヲ延引シ、大祓ヲ行フ、百練抄

平宗盛、清盛ノ周忌ヲ福原ニ修ス、吾妻鏡 保曆間記

參考源平盛衰記

五日、源範賴、義經ノ軍、攝津ニ入ル、吾妻鏡 愚管抄 保曆間記

平資盛、同有盛等、三草山ノ西ニ陣ス、源義經、夜ニ乘ジテ之ヲ襲ヒ、資盛等敗走ス、吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

六日、院使ヲ遣シテ、源平ノ和平ヲ議セシム、吾妻鏡

平宗盛、同教經、同盛俊ヲ遣シテ、義經ノ軍ヲ防ガシム、參考源平盛衰記

源義經、土肥實平等ヲシテ、別軍ニ將トシテ、一谷ノ西門ニ向ハシメ、自ラ精銳ヲ率キテ、鴨越ニ向フ、吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

七日、攝政基通直衣始、兵範記

黎明、源範賴、一谷ニ向ヒ、實平等、西門ヲ攻メ、義經、鴨越ヲ下リ、火ヲ平氏ノ軍營ニ放ツ、吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

平氏ノ軍破レ、平通盛、忠度、經俊、知章、敦盛、業盛、盛俊、經正、師盛等戰死シ、平重衡捕ヘラル、宗盛、安徳天皇ヲ奉ジ、海ニ浮ビテ屋島ニ遁ル、玉葉 吾妻鏡 愚管抄 百練抄 歷代編年集成 皇代曆 一代要記 皇年代略記 興福寺略年代記 東大寺續要錄 保曆間記 參考源平盛衰記 尊卑分脈 和歌作者部類 續和歌作者部類 千載和歌集 新勅撰和歌集 玉葉和歌集 續後拾遺和歌集 風雅和歌集 新拾遺和歌集 平忠度朝臣集 今物語 左記 高野春秋

八日、源範賴、義經ノ使者、一谷ノ戰勝ヲ奏ス、吾妻鏡

九日、諸社祭ヲ停メシメ、祈年祭、石清水臨時祭ハ、吉日ヲ擇ンデ之ヲ行ハシム、百練抄

源義經、平重衡及ビ通盛以下ノ首ヲ具シ、京師ニ旋ル、玉葉 吾妻鏡

十日、法皇、左大臣經宗、右大臣兼實、内大臣實定等

ヲシテ、通盛以下ノ首ヲ梟スル可否ヲ議セシム、

玉葉 吾妻鏡

法皇、二十四日ヲ期シテ、尊勝陀羅尼供養ヲ行ハシム、卷數集

十三日、平通盛以下ノ首ヲ梟ス、玉葉 吾妻鏡 歷代編年

集成 皇帝紀抄 皇代曆 一代要記 百練抄 保曆間記 參考源平盛衰記

十四日、法皇、平重衡ヲシテ、書ヲ宗盛ニ致シ、神器ヲ奉還センコトヲ諭サシム、玉葉 吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

考源平盛衰記

賴朝、平廣常ノ事ニ座シテ、收公セシ上總家人ノ所帶ヲ復セシム、吾妻鏡

十五日、範賴、義經等ノ使者、鎌倉ニ到リ、一谷ノ戰勝ヲ報ズ、吾妻鏡

十六日、藤原定長ヲシテ、重衡ヲ推問セシム、吾妻鏡

參考源平盛衰記

十八日、賴朝、使ヲ遣シテ、京師ノ警衛等ヲ命ジ、又梶原景時、土肥實平ヲシテ、播磨、美作、備前、備中、

備後ヲ守備セシム、吾妻鏡

十九日、宣旨ヲ下シテ、武勇ノ輩ノ神社佛寺院宮諸司諸人ノ領ヲ押妨スルヲ停止セシメ、源賴朝ヲシテ子細ヲ搜尋セシム、玉葉 吾妻鏡 參考源平盛衰記
大僧正定遍ヲ仁和寺圓教寺別當ニ、法印定惠ヲ四天王寺別當ニ補ス、玉葉 東寺長者補任 仁和寺諸院家記

法中補任 僧官補任

右大臣兼實、故關白忠通ノ忌日ヲ修ス、玉葉

廿一日、賴朝、尾藤知定ニ其舊領紀伊田中莊ヲ安堵セシム、吾妻鏡

廿二日、官宣旨ヲ畿内七道諸國ニ下シテ、公田莊園ニ兵糧米ノ徵課ヲ停止セシム、玉葉 參考源平盛衰記

法印慈圓、法恩講ヲ修シ、又佛供養ヲ行フ、玉葉

廿三日、義仲ノ黨前右馬助季高、姓闕散位宗輔、姓闕ヲ使廳ニ下ス、吾妻鏡 百練抄

廿四日、義仲ノ黨彈正大弼資泰、姓闕ヲ鞠問ス、百練抄

右大臣兼實小御堂修二月會、玉葉

廿五日、京師ニ追捕ノ事アリ、玉葉

廿七日、賴朝、院別當高階泰經ヲ經テ、朝務以下五ヶ條ノ意見書ヲ法皇ニ奏ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

平宗盛、同時忠等、院旨ノ返狀ヲ上リ、神器ノ還京ヲ拒ム、玉葉 吾妻鏡 參考源平盛衰記 山槐記

賴朝、佐々木俊綱ノ反復常ナキヲ以テ、其功ヲ賞セズ、吾妻鏡

廿八日、攝政基通、外記信成、姓闕ヲ鎌倉ニ遣ス、玉葉

三十日、最勝金剛院修二月會、玉葉
賴朝、信濃狩田郷ヲ式部大夫繁雅、姓闕ニ還付ス、吾妻鏡

前祭主大中臣親隆出家ス、一代要記 公卿補任

是月、法皇、御使ヲ遣ハシテ、賴朝ノ上洛ヲ促シ給フ、玉葉

三月 小 庚寅朔盡

壽永三年 元暦元年三月

一日、源賴朝、鎮西ノ住人ヲシテ、平氏ヲ討タシメ、又北條時政ニ命ジテ、土佐國人國信、國元助光等ニ諭シ、源氏ニ與力セシム、吾妻鏡

二日、平重衡ヲ源義經ノ第二移ス、是日、源義資ノ勅勒ヲ赦シ、右兵衛尉ニ還任ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

三日、御燈由被、宇治一切經會、玉葉 百練抄

五日、賴朝、藤田行康ノ戰功ヲ賞シ、其子能國ヲシテ、其所領ヲ相傳セシム、吾妻鏡

六日、賴朝、範賴ノ勘氣ヲ免ズ、吾妻鏡

守覺法親王、高野山ニ御參籠アラセラル、仁和寺御傳

右大臣兼實、日野ニ詣ヅ、是日又、藥師護摩ヲ修ス、玉葉

八日、賴朝、板垣信兼、土肥實平ヲ遣シテ、平氏ヲ討タシム、吾妻鏡 參考源平盛衰記

十日、賴朝ノ請ニ依リテ、平重衡ヲ鎌倉ニ送ル、是日、賴朝、長田實經ニ所領ヲ安堵セシメテ、其舊恩

ヲ報ズ、玉葉 吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

十一日、法皇、日吉社ニ御參籠アラセラル、華頂要略

十三日、賴朝、原高春ヲ召シテ、本知行所ヲ還付ス、

吾妻鏡

十四日、祈年祭、玉葉 百練抄

賴朝、遠江都田御厨ヲ、舊ノ如ク、大神宮ニ奉ル、

吾妻鏡

十七日、板垣兼信、使ヲ鎌倉ニ遣シテ、土肥實平ノ

專權ヲ訴フ、賴朝之ヲ容レズ、吾妻鏡

十八日、法皇、白河ニ御方違御幸アラセラル、玉葉

賴朝、伊豆野出ニ狩ス、吾妻鏡

二十日、法皇、千部法華經御讀經ヲ院ニ行ハセラ

ル、玉葉

賴朝、大内惟義ヲ伊賀ノ守護ト爲ス、吾妻鏡

廿二日、賴朝、大井實春ヲ伊勢ニ遣シテ、平氏ノ與

黨ヲ討伐セシム、吾妻鏡

廿三日、祈年穀奉幣、百練抄

廿五日、除目始、玉葉

賴朝ノ代官土肥實平、備中ノ國務ヲ行ヒ、在廳藤

原資親以下ヲ本職ニ還補ス、吾妻鏡

廿六日、除目中夜、是日、阿闍梨解文ヲ下ス、玉葉 參

議定長卿記

廿七日、諸社神位記請印、除目入眼、源賴朝ヲ正四

位下ニ敘ス、玉葉 百練抄 二十二社注式 内局柱礎抄 柱史抄

一代要記 辨官補任 公卿補任 類聚大補任 吾妻鏡 保曆間記 參考

源平盛衰記

平重衡、伊豆國府ニ著ク、吾妻鏡

廿八日、賴朝、重衡ヲ北條ニ引見ス、吾妻鏡 參考源平盛

衰記

平維盛、那智ノ海ニ投ジテ死ス、保曆間記 尊卑分脈 高

野春秋 參考源平盛衰記 (附錄) 吉記 (參考) 參考太平記 紀伊國

續風土記 色河清水系圖 盛成讓傳狀

是月、感神院、解狀ヲ裁シテ、武士ノ濫行ヲ訴フ、義

經、請ヲ容レテ之ヲ禁ゼシム、北風文書

四月 己未朔

一日、平座、吉記

賴朝、鎌倉ニ歸ル、吾妻鏡

二日、平野祭、除目下名、是日、法皇、日吉社ニ御幸

アラセラル、玉葉 吉記 百練抄

三日、梅宮祭、是日、右近衛大將藤原良通、摺寫金剛

般若經ヲ春日社ニ供養ス、玉葉 吉記

賴朝、尾張ノ住人大屋安資ノ功ヲ賞シテ、舊領ヲ

安堵セシメ、且ツ國中ノ狼藉ヲ鎮メシム、吾妻鏡

大僧都昌雲ヲ新日吉檢校ト爲シ、牛車ヲ聽ス、華

頂要略

四日、賴朝、中宮亮藤原能保ヲ請ジテ、花宴ヲ開ク、

吾妻鏡

五日、院ニ五體不具ノ穢アリ、玉葉 吉記

賴朝、奏シテ、前大納言平賴盛ノ勅勘ヲ宥シ、其所

領ヲ平氏沒官領注文ヨリ除キテ、之ヲ還付シ、且

八條院御領等ヲ舊ノ如ク沙汰セシメラレンコト

ヲ請フ、吾妻鏡 (參考) 玉葉

六日、道法法親王、高野山ニ御參籠アラセラル、仁

和寺御傳

八日、内侍除目、灌佛ヲ停ム、法皇、祭主大中臣親俊

ニ院殿上ヲ聽ス可否ヲ、右大臣兼實ニ問ハセ給

フ、是日、兼實、寶篋印陀羅尼ヲ、故關白忠通ノ墓ニ

供養ス、玉葉 吉記 百練抄

權中納言兼近江守藤原經房、先使ヲ近江ニ發遣

ス、吉記

平重衡、鎌倉ニ到ル、賴朝、狩野宗茂ヲシテ、之ヲ監

セシム、吾妻鏡

法印大僧都實全ヲ寶幢院檢校ニ補ス、僧官補任 華

頂要略

十四日、賴朝、源光行、三善康信ヲ鎌倉ニ召ス、吾妻

鏡

十五日、賀茂祭、是ヨリ先、法皇、崇徳天皇及ビ贈太

政大臣賴長ノ廟ヲ、春日河原ニ建テ、是日、遷宮ヲ

行ハセラル、玉葉 吉記 百練抄 歷代編年集成 愚管抄 參考源

平盛衰記

賴朝、三善康信ヲ舉ゲテ、政務ヲ佐ケシム、吾妻鏡

十六日、京都元曆ト改元ス、是日、解陣、山丞記 元曆改元定記 兼光卿改元定記 元祕別錄 吾妻鏡 百練抄 皇紀抄 歷代編年集成 一代要記 公卿補任 類聚大補任 東寺長者補任 皇代記 皇年代略記 如是院年代記 鳩嶺年代記 改元鳥夷記

白河押小路殿修理成リ、法皇徙御アラセラル、玉葉 吉記〔參考〕 山城名勝志 上皇度々御移徙記

十八日、吉田祭、右大臣兼實、七日ヲ限り、仁王講ヲ

吉田社ニ修ス、玉葉 吉記

賴朝、下總權守爲久姓關ニ命ジテ、正觀音像ヲ畫

カシム、吾妻鏡

心蓮上人寂ス、高野春秋

十九日、八條院、歡喜光院ノ御所ニ御幸アラセラル、尋デ、法皇モ亦、茲ニ御幸アラセラル、玉葉〔參考〕 山城名勝志

二十日、改元後政始、吉記 山丞記

賴朝、藤原邦通、工藤祐經及ビ千手ヲシテ、重衡ヲ

慰メシム、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿一日、崇徳天皇廟ニ怪異アリ、吉記

賴朝、志水義高ヲ殺サントス、義高、之ヲ聞キテ遁

ル、賴朝、堀親家ヲシテ之ヲ追ハシム、吾妻鏡

廿二日、權中納言藤原經房ノ第二怪異アリ、吉記

賴朝、書ヲ義經ニ遣シテ、源光行ノ免罪ヲ奏請セ

シム、吾妻鏡

廿三日、賴朝、下河邊政義ノ所領常陸南郡ニ雜事

ヲ免除セシム、吾妻鏡 石清水八幡宮記錄

廿四日、石清水臨時祭、玉葉

是ヨリ先、院宣ヲ下シテ、賀茂社領四十一箇所ニ

武士ノ狼藉ヲ禁止ス、是日、賴朝、院旨ヲ奉ジテ、之

ヲ沙汰セシム、吾妻鏡

廿六日、崇徳天皇ノ御廟ヲ建立センコトヲ、白河

鳥羽ノ兩天皇、及ビ待賢門院ノ三陵ニ告ゲ奉ル、吉記 夕郎故實

法皇熊野御精進始、八條院、八條殿ニ還御アラセ

ラル、是日、右大臣兼實、七日ヲ限り、籠僧ヲシテ、

金剛般若經ヲ春日社ニ轉讀セシム、玉葉

賴朝、志水義高ヲ、入間河原ニ殺サシム、吾妻鏡 歷代編年集成 尊卑分脈

廿七日、伊勢大神宮修造功成ラザルヲ以テ、大宮

司中臣祐成重任ノ可否ヲ、右大臣兼實ニ議セシ

ム、玉葉

廿八日、僧文覺、法皇ノ宮ニ詣ル、玉葉

賴朝、淡路廣田莊ヲ廣田社ニ奉リ、戰捷ヲ祈ル、吾妻鏡

廿九日、賴朝、土肥實平、梶原景時ヲ遣シテ、平氏ヲ

追討セシム、吉記 吾妻鏡

是月、大中臣親宣卒ス、大中臣系圖

五月 大 戊子 朔 盡

一日、賴朝、足利義兼以下ヲ遣シテ、志水義高ノ餘

黨ヲ甲斐信濃ニ討タシム、吾妻鏡

二日、武士松尾社神主ノ第二闖入シテ追捕ス、百

練抄

高野山、山領紀伊阿豆河莊ヲ押領セラレタルコ

トヲ訴フ、高野春秋

三日、前權大納言平賴盛、鎌倉ニ下向ス、百練抄

賴朝、武藏飯倉、安房東條ヲ伊勢大神宮御厨ニ寄

進ス、吾妻鏡

四日、左近衛府荒手結、玉葉

賴朝ノ將士、源義仲ノ黨志太義廣ト伊勢ニ戰ヒ、

之ヲ斬ル、歷代編年集成 吾妻鏡 參考源平盛衰記 尊卑分脈〔附錄〕 參考源平盛衰記

六日、右近衛府荒手結、玉葉

七日、右大臣兼實、細劍ヲ多武峰ニ奉納ス、玉葉

九日、新日吉小五月會、玉葉

十一日、内印ヲ盜ミシ犯人ヲ捕ヘタル功ヲ以テ、

所衆藤原孝久ヲ左兵衛尉ニ任ズ、玉葉 百練抄

十二日、賴朝、使ヲ遣シテ、園城寺長吏僧正房覺ノ

病ヲ訪ハシム、吾妻鏡

十七日、右大臣兼實、圖繪春日社ヲ拜シ、七日ヲ限リ、心經一萬卷ヲ轉讀ス、玉葉
十九日、法皇、吉富莊ヲ神護寺ニ御寄進アラセラ

一日、法皇、神器ノ歸座セザルニ依リ、後鳥羽天皇ノ行幸ニ、晝御座ノ御劔ヲ具スルノ可否ヲ、右大臣兼實ニ諮ハシメ給フ、玉葉

賴朝、平賴盛ヲ欵待ス、吾妻鏡

賴朝、平賴盛ヲ饗ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿一日、賀茂社舞殿、故ナクシテ倒ル、百練抄

五日、前權大納言平賴盛、前侍從平光盛ヲ還任シ、平保業ヲ河内守ニ、藤原能保ヲ讚岐守ニ、源範賴

賴朝、奏シテ、平賴盛及ビ其子光盛ヲ本官ニ還任シ、範賴、廣綱、義信等ヲ國守ニ任ゼラレンコトヲ

ヲ參河守ニ、源廣綱ヲ駿河守ニ、武田義信ヲ武藏守ニ任ズ、一代要記 公卿補任 吾妻鏡 參考源平盛衰記

請フ、吾妻鏡

大納言平賴盛、鎌倉ヲ發シテ、歸京ノ途ニ就ク、一代要記 公卿補任 吾妻鏡 保曆間記

廿三日、大神宮大宮司大中臣祐成ヲ罷メ、同盛家ヲ以テ之ニ任ズ、二所太神宮例文 類聚大補任

九日、木津川ノ邊蝶多ク降ル、玉葉
十四日、新熊野社六月會、玉葉

廿四日、賴朝、藤原朝綱ヲ伊賀壬生野郷地頭職ト爲ス、吾妻鏡

十六日、法皇、日吉社ニ御幸アラセラル、是日、法印慈圓、右大臣兼實ノ爲ニ、百日ヲ限り、藥師護摩ヲ修ス、玉葉

三十日、平氏ノ軍、備前ヲ侵ス、板垣兼信、撃チテ之ヲ却ク、玉葉 參考源平盛衰記

賴朝、一條忠賴ヲ殺ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記
二十日、權大納言平賴盛、職ヲ辭ス、一代要記

六月 小 戊午 朔 盡

廿三日、二十二社ニ奉幣シテ、神器ノ還京ヲ祈ル、百練抄

賴朝、片切爲安ヲ召シ、舊領信濃片切郷ヲ與フ、吾妻鏡

廿四日、法皇、左右大臣及ビ諸卿相ヲシテ、後鳥羽天皇御即位以下ノ條事ヲ議セシム、是日、太白、井ヲ犯ス、玉葉 參議定長卿記

廿五日、高倉天皇女房若州、嵯峨ニ堂供養ヲ行フ、

法皇、之ニ御幸アラセラル、玉葉

廿七日、平野社ニ怪異アリ、吉記

賴朝ノ室政子、堀親家ノ郎從ヲ殺ス、吾妻鏡

廿八日、法皇、後鳥羽天皇御即位儀延引ノ可否ヲ、左右大臣以下ニ諮ハセ給フ、玉葉 參議定長卿記

廿九日、後鳥羽天皇御即位日時及ビ擬侍從ヲ定

メ、伊勢奉幣日時ヲ勘申ス、玉葉 參議定長卿記 親經卿記

七月 大 丁亥 朔 盡

一日、法皇、神器ノ歸座セザルニ依リ、後鳥羽天皇ノ行幸ニ、晝御座ノ御劔ヲ具スルノ可否ヲ、右大臣兼實ニ諮ハシメ給フ、玉葉
賴朝、平賴盛ヲ饗ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記
五日、前權大納言平賴盛、前侍從平光盛ヲ還任シ、平保業ヲ河内守ニ、藤原能保ヲ讚岐守ニ、源範賴ヲ參河守ニ、源廣綱ヲ駿河守ニ、武田義信ヲ武藏守ニ任ズ、一代要記 公卿補任 吾妻鏡 參考源平盛衰記
大納言平賴盛、鎌倉ヲ發シテ、歸京ノ途ニ就ク、一代要記 公卿補任 吾妻鏡 保曆間記
九日、木津川ノ邊蝶多ク降ル、玉葉
十四日、新熊野社六月會、玉葉
十六日、法皇、日吉社ニ御幸アラセラル、是日、法印慈圓、右大臣兼實ノ爲ニ、百日ヲ限り、藥師護摩ヲ修ス、玉葉
賴朝、一條忠賴ヲ殺ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記
二十日、權大納言平賴盛、職ヲ辭ス、一代要記

二日、鳥羽天皇國忌、法皇、鳥羽殿ニ御幸アラセラ

ル、是日、百日御讀經結願、又免物アリ、是夜、皇后、內裏ニ入御アラセラル、玉葉 山槐記

多武峯大織冠像破裂ス、大織冠像破裂集

賴朝、高野山領紀伊阿豆河莊ニ非法ヲ禁止シ、又諸國ニ令シテ、東大寺領及ビ神社佛寺領ニ濫行ヲ禁ゼシム、吾妻鏡 高野春秋 東大寺文書 柏木文書

三日、法勝寺御八講始、山槐記

賴朝、奏シテ、源義經ヲ遣シ、平氏ヲ討伐セシム、吾妻鏡

右近衛大將藤原良通疾ム、玉葉

五日、後鳥羽天皇、閑院ヨリ、大内ニ遷幸アラセラ

ル、玉葉 山槐記

法皇、俄ニ信業姓關ノ六條第二御幸アラセラル、山槐記

七日、法勝寺御八講結願、法皇、之ニ御幸アラセラ

ル、玉葉 山槐記

七日、法勝寺御八講結願、法皇、之ニ御幸アラセラ

八日、最勝光院御八講、玉葉

伊賀平氏ノ黨、大内惟義ヲ襲フ、玉葉 山槐記 吾妻鏡

十日、丹生貴布禰兩社ニ奉幣シテ、雨ヲ祈ル、山槐記

賴朝、井上光盛ヲ駿河ニ殺ス、吾妻鏡

十三日、大内遷御後政始、是日、小除目、玉葉 山槐記

祭主大内親俊ノ皇太后宮權大進ヲ罷ム、公卿補任 類聚大補任

十四日、右大臣兼實、皇嘉門院御益供ヲ法成寺ニ送ル、玉葉

十六日、攝政基通、後鳥羽天皇御即位禮服ヲ直廬ニ覽ル、山槐記 參議定長卿記 親經卿記

賴朝、澁谷高重ノ功ヲ賞シ、其所領上野黒川郷ニ、國衛使ノ入部ヲ禁ズ、吾妻鏡

十七日、後鳥羽天皇御即位ノ由ヲ大神宮ニ告ゲ奉ル、山槐記 參議定長卿記 百練抄

興福寺政所、寺主俊範ノ住房ヲ檢封シ、其出仕ヲ停ム、興福寺三綱補任

廿五日、井上光盛ノ侍等、降ヲ賴朝ニ請フ、賴朝、免シテ家人ト爲ス、吾妻鏡

廿六日、皇后、内裏ニ入御アラセラル、參議定長卿記

廿八日、後鳥羽天皇御即位ノ儀ヲ、太政官廳ニ行ハセラル、玉葉 山槐記 參議定長卿記 親經卿記 御即位部類

賴業記 踐祚部類抄 百練抄 皇帝紀抄 歷代編年集成 皇代記 皇年代略記 類聚大補任 神祇官年中行事 保曆間記 參考源平盛衰記

〔附錄〕 御即位部類 玉葉 參議定長卿記

是月、早ス、玉葉

京師強盜横行ス、山槐記 參議定長卿記

平氏ノ黨、屢安藝ヲ侵シテ利アリ、鎮西之ニ應ズルモノ多シ、玉葉

八月 丁巳 盡

一日、後鳥羽天皇、内裏ヨリ閑院ニ還幸アラセラレ、皇后、持明院ニ還啓アラセラル、是日、神泉苑御讀經定ヲ行フ、玉葉 山槐記

二日、二條ニ火災アリ、山槐記

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

十八日、多武峯ニ怪異アリ、玉葉

賴朝、使ヲ遣シテ、大内惟義、加藤景員、山内經俊等ニ命ジテ、伊賀在任ノ平氏ノ黨ヲ討タシム、吾妻鏡

十九日、伊賀平氏ノ黨平田家繼、富田宗資等、近江ニ入ル、佐々木秀義戰死ス、大内惟義、撃チテ之ヲ平ゲ、家繼ヲ斬ル、玉葉 山槐記 百練抄 吾妻鏡 保曆間記

參議定長卿記

二十日、御體御卜奏、百練抄

賴朝、鶴岡若宮ノ傍ニ社壇ヲ造リ、熱田ノ神ヲ奉祀ス、吾妻鏡 鶴岡八幡宮寺社務職次第

仁和寺法橋長尊寂ス、山槐記

廿二日、攝政基通、使ヲ多武峯ニ遣シ、尊像破裂ヲ謝シ、告文ヲ納ム、山槐記 多武峯略記 大織冠像破裂集

廿四日、御即位敍位、攝政基通、官廳ヲ巡覽ス、是日、右大臣兼實、光明院領ヲ法皇ニ獻ズ、玉葉 山槐記

參議定長卿記 親經卿記 達幸故實抄 一代要記 公卿補任 辨官補任

三日、賴朝、大内惟義ヲ賞セズ、又使ヲ遣シ、義經ニ命ジテ、平信兼ヲ索捕セシム、吾妻鏡

四日、前丹波守藤原盛定ヲ恐懼ニ處ス、玉葉 山槐記

參議定長卿記

六日、奎星、歲星ト相犯ス、玉葉

女敍位、是日、源義經ヲ左衛門少尉ニ任ジ、檢非違使ニ補ス、玉葉 山槐記 大夫尉義經畏申記 吾妻鏡 保曆間記

參議定長卿記

賴朝、參河守範賴、足利義兼、武田有義等ヲ饗シ、各馬ヲ餞ス、吾妻鏡

八日、攝政基通、神馬ヲ賀茂社ニ納ム、山槐記

賴朝、參河守範賴ヲシテ、北條義時以下ヲ率テ、平氏ヲ討タシム、是日、鎌倉ヲ發ス、吾妻鏡

右大臣兼實、一心不亂念佛ノ行ヲ始ム、玉葉

九日、伊賀在廳官人ニ令シテ、東大寺領鞆田莊出作田所當物ヲ免除セシム、東大寺古文書

十日、後鳥羽天皇、大嘗會國郡卜定、玉葉 山槐記 百練

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

壽永三年 元曆元年八月

抄 皇年代略記

源義經、兼衡、信衡、兼時ヲ斬ル、山槐記 百練抄 吾妻鏡
出羽守平信兼ノ男左衛門尉兼衡ヲ解官ス、山槐記

百練抄 吾妻鏡

十一日、成菩提院御念佛始、法皇、八條院竝ニ御幸
アラセラル、玉葉 山槐記

十二日、左衛門少尉源義經、京師ヲ發シ、平信兼ヲ
伊勢ニ討ツ、山槐記 參考源平盛衰記

十三日、權大納言藤原忠親、擬階奏文ニ加署ス、是
日、權中納言藤原實宗著陣ス、山槐記

右大臣兼實ノ子著袴ノ儀ヲ行フ、玉葉

賴朝、鹿島社領ニ亂行ヲ禁ズ、吾妻鏡 鹿島社文書 鹿島

大禰宜文書

十四日、右大辨藤原兼光、大嘗會檢校ヲ辭ス、依リ

テ權大納言藤原忠親ヲ以テ之ニ補ス、玉葉 山槐記

十五日、石清水放生會、山槐記

十七日、成菩提院御念佛結願、法皇、八條院ニ還御

アラセラル、尋デ、法皇、清水寺ニ御幸アラセラル、
是日、八條院御不豫、玉葉 山槐記

十八日、賴朝、甘糟廣忠ヲ賞シ、其所領ニ雜事ヲ免
除ス、吾妻鏡

十九日、繪師下總權守爲久、姓闕鎌倉ヲ發シテ歸洛
ス、吾妻鏡

二十日、大嘗會行事所始、山槐記

賴朝、奏シテ、安藝介中原廣元ノ受領、及ビ掃部頭
安倍季弘ノ解却ヲ請フ、吾妻鏡

廿一日、攝政基通文殿始、山槐記

八條院、天文博士安倍廣元ヲシテ、天曹地府祭ヲ
行ヒ、御不豫ヲ祈ラシメラル、玉葉

廿三日、後鳥羽天皇御即位ノ由ヲ山陵ニ告ゲ奉
ル、玉葉 山槐記 參議定長卿記

廿四日、攝政基通上表、玉葉 山槐記

廿五日、高野山檢校定兼寂ス、高野春秋

抄 皇年代略記

源義經、兼衡、信衡、兼時ヲ斬ル、山槐記 百練抄 吾妻鏡
出羽守平信兼ノ男左衛門尉兼衡ヲ解官ス、山槐記

百練抄 吾妻鏡

十一日、成菩提院御念佛始、法皇、八條院竝ニ御幸
アラセラル、玉葉 山槐記

十二日、左衛門少尉源義經、京師ヲ發シ、平信兼ヲ
伊勢ニ討ツ、山槐記 參考源平盛衰記

十三日、權大納言藤原忠親、擬階奏文ニ加署ス、是
日、權中納言藤原實宗著陣ス、山槐記

右大臣兼實ノ子著袴ノ儀ヲ行フ、玉葉

賴朝、鹿島社領ニ亂行ヲ禁ズ、吾妻鏡 鹿島社文書 鹿島

大禰宜文書

十四日、右大辨藤原兼光、大嘗會檢校ヲ辭ス、依リ

テ權大納言藤原忠親ヲ以テ之ニ補ス、玉葉 山槐記

十五日、石清水放生會、山槐記

十七日、成菩提院御念佛結願、法皇、八條院ニ還御

廿六日、上西門院ノ御不豫祈禳ノ勸賞ニ依リ、僧

正昌雲ヲ大僧正ニ任ズ、玉葉 山槐記 歷代皇記裏書

右大臣兼實家所宛、玉葉

廿七日、攝政基通第二度上表、山槐記

源範賴入京ス、玉葉 吾妻鏡

廿八日、法皇、空海自筆金泥兩界曼荼羅ヲ神護寺

ニ御寄進アラセラル、神護寺舊記

賴朝、公文所ニ門ヲ立ツ、吾妻鏡

廿九日、追討官符ヲ參河守源範賴ニ下シテ、平氏

ヲ追討セシム、吾妻鏡

三十日、陣定、山槐記

是月、權中納言藤原實守、病ニ依リテ官ヲ辭ス、一

代要記 公卿補任

賴朝、僧文覺ヲシテ、奏シテ、義朝ノ首ヲ請ハシム、

玉葉 山槐記

九月 丁亥 盡

壽永三年 元曆元年九月

アラセラル、尋デ、法皇、清水寺ニ御幸アラセラル、
是日、八條院御不豫、玉葉 山槐記

十八日、賴朝、甘糟廣忠ヲ賞シ、其所領ニ雜事ヲ免
除ス、吾妻鏡

十九日、繪師下總權守爲久、姓闕鎌倉ヲ發シテ歸洛
ス、吾妻鏡

二十日、大嘗會行事所始、山槐記

賴朝、奏シテ、安藝介中原廣元ノ受領、及ビ掃部頭
安倍季弘ノ解却ヲ請フ、吾妻鏡

廿一日、攝政基通文殿始、山槐記

八條院、天文博士安倍廣元ヲシテ、天曹地府祭ヲ
行ヒ、御不豫ヲ祈ラシメラル、玉葉

廿三日、後鳥羽天皇御即位ノ由ヲ山陵ニ告ゲ奉
ル、玉葉 山槐記 參議定長卿記

廿四日、攝政基通上表、玉葉 山槐記

廿五日、高野山檢校定兼寂ス、高野春秋

一日、攝政基通燈祓、山槐記

二日、參河守源範賴、足利義兼以下ヲ率キテ、平氏

追討ノ爲ニ、京都ヲ發ス、百練抄 吾妻鏡 興福寺略年代記

保曆間記 參考源平盛衰記

三日、御燈由祓、山槐記

檢非違使左衛門少尉源義經ヲ、從五位下ニ敘ス、

大夫尉義經長申記

九日、平座、是日、掃部頭安倍季弘ヲ解官ス、山槐記

百練抄 吾妻鏡

賴朝、使ヲ京師ニ遣シ、義經ヲシテ、平信兼以下平

氏與黨ノ沒官地ヲ沙汰セシム、吾妻鏡

高野山阿闍梨禪惠寂ス、高野春秋

十一日、例幣、山槐記

十三日、大嘗會上下旬及ビ月次大祓、同拔穗使日

時等ヲトス、山槐記

土御門西洞院火アリ、是日、仁和寺道法、守覺法親

王ニ隨ヒテ、高野山ニ詣デラル、山槐記 仁和寺御傳

十四日、政、山槐記

頼朝、義經ニ河越重頼ノ女ヲ娶ラシム、吾妻鏡
十五日、法皇、日吉社ニ御參籠アラセラル、右大臣兼實、諸祈ヲ始行ス、玉葉

十七日、大嘗會月次大祓、是日、法皇、如法仁王會ヲ日吉社ニ行ハセラレ、導師前權僧正全玄ヲ法務ニ補セラル、玉葉 山槐記 皇代曆 歷代皇記裏書 華頂要略

頼朝、相模大山寺ノ免田畠ヲ舊ノ如クナラシム、吾妻鏡 玉葉

十八日、除目、源義經敘留、玉葉 山槐記 一代要記 公卿補任 辨官補任 皇代曆 參考源平盛衰記

右大臣兼實、病ニ依リ、上表シテ、官ヲ辭センコトヲ請フ、玉葉 山槐記

十九日、月、東井ヲ犯ス、玉葉

右少辨平基親ヲ、大嘗會悠紀方行事ト爲ス、山槐記
頼朝、讃岐ノ家人等ニ命ジテ、橋公業ニ隨ヒ、平氏討伐ノ爲ニ西海ニ向ハシム、吾妻鏡

二十日、内裏ニ穢アリ、是日、前齋院頌子内親王御出家アラセラル、山槐記
院宣ヲ頼朝ニ下シテ、玉井資重ノ濫行ヲ禁ゼシム、吾妻鏡

廿三日、權大納言藤原忠親、輕服ニ依リテ、大嘗會檢校ヲ辭ス、山槐記

廿六日、僧事、山槐記 東寺長者補任

廿八日、大嘗會雜事ヲ改勘セシム、是日、權中納言藤原經房、慶賀ヲ申ス、山槐記

廿九日、中納言藤原家通ヲ大嘗會御禊御前長官ニ、參議藤原隆房ヲ同御後長官ニ、中納言藤原經房ヲ裝束司長官ニ、右大辨藤原兼長ヲ同次官ニ任ズ、山槐記 一代要記 公卿補任 辨官補任

是月、法皇、藥湯ニ浴シ給フ、山槐記

右大臣兼實病ム、玉葉

十月大 丙辰 朔 盡

對決セシメ、三善康信ヲシテ、之ヲ掌ラシム、吾妻鏡

廿五日、大嘗會御禊、玉葉 御禊行幸服飾部類 大嘗會御禊日例 百練抄 皇代記 皇年代略記 保曆間記 參考源平盛衰記

廿七日、頼朝、梶原景時ニ命ジテ、其郎從ノ淡路廣田莊ニ亂入スルコトヲ禁ゼシム、吾妻鏡 廣田神社文書

廿八日、頼朝、石清水別當法印成清ノ請ニ依リ、彌勒寺莊ノ事ヲ奏ス、吾妻鏡

是月、金、水、火三星相犯ス、玉葉

盜宮中犯ス、玉葉

平氏、長門淡路等ヲ復シ、勢振フ、玉葉 參考源平盛衰記

十一月大 丙戌 朔 盡

一日、御曆奏、吉記

法皇御不豫、玉葉 吉記

二日、道法法親王ヲ一身阿闍梨ニ補ス、仁和寺御傳

五日、仁和寺觀音院灌頂、吉記 仁和寺御傳 御室相承記 東寺王代記

六日、除目、玉葉 一代要記 公卿補任 辨官補任 職事補任 山槐記
源頼朝、公文所吉書始ヲ行ヒ、中原廣元ヲ別當ト爲ス、吾妻鏡

九日、御即位大奉幣定、是日、攝政基通ニ、内舍人隨身ヲ賜フ、百練抄

十一日、源義經拜賀ヲ行フ、尋デ、義經ニ院内ノ昇殿ヲ聽ス、大夫尉義經長申記 吾妻鏡 保曆間記 參考源平盛衰記

十二日、參河守源範頼、頼朝ノ命ニ依リテ、軍忠者ヲ賞ス、吾妻鏡

十五日、大嘗會大奉幣使ヲ發遣ス、百練抄

仁和寺道法、御灌頂ヲ律師仁隆ヨリ受ケラル、玉葉

葉 御室相承記 仁和寺御傳

鎌倉地震、吾妻鏡

十七日、僧元性寂ス、血脈類集記 仁和寺諸院家記 本朝皇胤紹

運錄 今鏡 傳燈廣錄

十九日、前權中納言藤原定能、慶賀ヲ申ス、玉葉

二十日、頼朝、始メテ問注所ヲ置キ、諸人ノ訴訟ヲ

六日、賴朝、鶴岡八幡宮ニ詣テ、神樂ヲ奏ス、吾妻鏡

七日、大嘗會三社奉幣定、及ビ國司除目、玉葉 吉記

一代要記 辨官補任

九日、大嘗會三社奉幣、是日、大嘗會點地、吉記 百練抄

十日、權中納言藤原經房、先考ノ遠忌ヲ修ス、吉記

十一日、春日祭、平野祭、玉葉 吉記

十二日、梅宮、率川祭、是日、臨時除目、玉葉 吉記

賴朝、常陸ノ住人ヲ家人ト爲ス、吾妻鏡

十四日、院ニ於テ、清暑堂御神樂拍子合アリ、吉記

御遊抄

賴朝、義經ニ命ジテ、西國ニ所領ヲ與ヘシ諸將士

ノ事ヲ沙汰セシム、吾妻鏡

十五日、大原野祭、玉葉 吉記

五節舞姫參入、玉葉 山槐記 吉記

十七日、鎮魂祭、五節舞姫御前試、殿上淵醉、是日、

大嘗會敘位、玉葉 山槐記 吉記 一代要記 公卿補任 辨官補任

類聚大補任
十八日、大嘗會五節童女御覽、玉葉 吉記 百練抄 歷代

編年集成 皇代曆 皇年代略記 保曆間記 參考源平盛衰記

千載和歌集 新古今和歌集

十九日、辰日節會、是日、法皇、三七日ヲ限り、御逆

修ヲ始行シ給フ、玉葉 吉記

二十日、己日節會、清暑堂御神樂、玉葉 愚昧記 吉記

體源抄 御遊抄

廿一日、豐明節會、玉葉 愚昧記 吉記

賴朝、筑後權守俊兼姓闕ヲ召シ、自ラ佩刀ヲ取り

テ、俊兼ノ袖ヲ截リ、其奢侈ヲ戒ム、吾妻鏡

廿二日、院御逆修御佛供養、吉記

廿三日、吉田祭、玉葉 吉記

廿四日、法印成清ヲ宇佐宮彌勒寺ノ講師ニ補ス、

石清水八幡宮記錄

廿六日、賴朝、一寺ヲ建立セントシテ、鎌倉東南ノ

地ヲ相ス、吾妻鏡

三十日、右大臣兼實、其子良通、良經等ヲ伴ヒ、忠通

及ビ皇嘉門院ノ墓ニ參詣ス、玉葉

是月、園城寺、賴朝ニ牒シ、平氏沒官ノ地ヲ以テ、當

寺ニ寄セ、佛法ヲ紹隆センコトヲ請フ、吾妻鏡

賴朝、意ヲ右大臣兼實ニ屬シ、其執政ヲ望ム、玉葉

權中納言藤原定能ニ、帶劔ヲ聽ス、公卿補任

十二月小 丙辰朔 盡

一日、賴朝、平氏沒官領若狹玉置領ヲ園城寺ニ寄

進ス、吾妻鏡

二日、賴朝、馬ヲ佐々木盛綱ニ與フ、吾妻鏡

三日、院宣ヲ下シテ、伊勢兩大神宮禰宜ニ位一階

ヲ進メシム、類聚大補任

法成寺御八講五卷日、玉葉

右大臣兼實、高野ノ僧行勝ヲ請ジ、護身ヲ受ク、玉

葉

賴朝、北條時政ニ命ジテ、園城寺ノ事ヲ義經ニ告

ゲシム、吾妻鏡

五日、右大臣兼實、皇嘉門院ノ御忌日ヲ御堂ニ修

ス、玉葉

六日、院御逆修曼荼羅供、玉葉 東寺長者補任

七日、右大臣兼實、狀ヲ上リ、京中ノ放火群盜ヲ嚴

制センコトヲ法皇ニ奏ス、玉葉

源氏ノ部將佐々木盛綱、平行盛ト備前兒島ニ戰

ヒテ、之ヲ破ル、玉葉 吾妻鏡 興福寺略年代記 參考源平盛衰記

九日、院御逆修結願、玉葉

十二日、賀茂臨時祭、是日、法皇、日吉社ニ御幸アラ

セラル、玉葉

十三日、荷前及ビ元日擬侍從定、玉葉

十六日、攝政基通、春日詣、玉葉 百練抄 一代要記 樂所補

任
賴朝、土肥實平ニ命ジテ、吉備津宮免田以下ノ事

ヲ沙汰セシム、吾妻鏡

十九日、御佛名、玉葉

二十日、除目、權大納言平賴盛ヲ罷ム、是日、天台座

主全玄、法印慈圓、實慶、俊證等ヲ護持僧ト爲ス、又八條院御佛名アリ、玉葉 一代要記 公卿補任 護持僧次第

華頂要略

右大臣兼實、故關白忠通ノ爲ニ、讀經及ビ毎日舍利講ヲ西山ニ修ス、玉葉

廿一日、正三位藤原實清、病ニ依リテ出家ス、一代

要記 公卿補任

廿二日、院御佛名、玉葉

廿四日、賴朝、公文所ニ雜仕女三人ヲ置ク、吾妻鏡

廿五日、萬機旬、玉葉 百練抄

賴朝、鹿嶋社神主中臣親廣、親盛ヲ召シテ、祈禱ノ功ヲ賞ス、吾妻鏡

廿六日、賴朝、備前兒島合戰ノ功ニ依リテ、佐々木盛綱ニ感狀ヲ與フ、吾妻鏡

廿七日、東寺灌頂、東寺長者補任

右大臣兼實舍利講結願、玉葉

廿八日、法印慈圓、歌合ノ判ヲ入道藤原俊成ニ請

フ、玉葉

廿九日、前權大納言平賴盛ニ、本座ヲ聽ス、一代要記

公卿補任

賴朝、鹿島社司宮介良景ヲシテ、其所領ニ雜事ヲ免除セシム、吾妻鏡

三十日、前參議藤原親信ヲ復任シ、權大納言藤原兼雅ヲ罷ム、玉葉 一代要記 公卿補任

是月、前權僧正全玄ノ法務ヲ罷ム、玉葉 歷代皇記裏書 京師雪フルコト數回、玉葉

安徳天皇

壽永四年乙巳

後鳥羽天皇

文治元年

正月 大 西 朔 盡

一日、小朝拜、節會、院拜禮、是日、蚩尤旗、東南ニ見ハル、玉葉 吉記 百練抄 一代要記 清解眼抄

賴朝、鶴岡八幡宮ニ參詣ス、吾妻鏡

五日、法皇、上西門院ノ御所ニ御幸アラセラル、是

日、院御所ニ於テ、北斗護摩ヲ修シ、天變ヲ祈禳セラル、吉記

六日、敍位、玉葉 吉記 一代要記 公卿補任 辨官補任

賴朝、使ヲ範賴ニ遣シテ、九國ノ家人ニ遣ス所ノ

下文ヲ送り、且將士統率ノ要ヲ諭ス、吾妻鏡 船橋文書

七日、白馬節會、是日、加敍アリ、玉葉 吉記 達幸故實抄

八日、御齋會始、後七日御修法、諸寺修正始、皇后、

法勝寺ニ行啓アラセラル、是日、右近衛權中將藤原公守ニ禁色ヲ聽ス、玉葉 吉記 東寺長者補任 東寺長者

續紙

入道正三位藤原實清薨ズ、一代要記 皇代曆 尊卑分脈

公卿補任

十日、左衛門尉源義經ヲ遣シテ、平氏ヲ討タシム、

是日、義經、京師ヲ發ス、吉記 百練抄 參考源平盛衰記

十一日、東寺長者權僧正定遍ニ、法勝寺別當ヲ兼

ネシム、東寺長者補任

入道權大納言藤原隆季薨ズ、皇代曆 公卿補任 尊卑分脈

吉記 和歌作者部類 續和歌作者部類 詞花和歌集 千載和歌集 新古今和歌集 新勅撰和歌集 續後撰和歌集 續拾遺和歌集 新拾遺和歌集 新續古今和歌集 古今著聞集 參考源平盛衰記

十二日、範賴、赤間關ヨリ周防ニ還リ、兵船ヲ白杵

惟隆、緒方惟榮等ニ徵ス、吾妻鏡

十三日、僧事、仁和寺道法ヲ法親王トナス、玉葉 吉記

御室相承記 歷代皇記裏書 東寺長者補任 華頂要略 梶井門跡略

譜 仁和寺御傳 釋家初例抄

十四日、御齋會竟、加持香水、玉葉 吉記 東寺長者補任 最勝光院御八講始、以後是日ヲ以テ例日トナス、

師光年中行事

十五日、政始、山槐記抄出

十六日、法印實宴、日吉社ニ於テ、賊ニ殺サル、吉記

百練抄 華頂要略 尊卑分脈

十八日、除目始、玉葉 吉記

十九日、除目中夜、吉記

文覺、神護寺々規四十五條ヲ定ム、神護寺舊記

右大臣兼實念誦結願、玉葉

二十日、除目入眼、玉葉 吉記 五位職事五代記 百練抄 一代

要記 公卿補任 辨官補任 職事補任 皇代曆

廿一日、從三位左近衛中將藤原良經、慶賀ヲ申ス、

玉葉 吉記

賴朝、栗濱社ニ詣ヅ、吾妻鏡

廿二日、除目下名、是日、藏人藤原定經ニ禁色ヲ聽

ス、玉葉 吉記

賴朝、出雲安東郷ヲ賀茂社ニ寄進シ奉リ、冬季御

神樂料ニ充テシム、吾妻鏡

廿五日、右大臣兼實、賀茂春日兩社ニ奉幣ス、玉葉

神護寺僧、賴朝ノ命ヲ矯メ、院宣ヲ請ヒテ、近國ノ

莊園ヲ寺領ト爲ス、吾妻鏡

廿六日、法皇、右大臣兼實等ニ勅シテ、今年神社行

幸ノ可否ヲ議セシム、玉葉 吉記

三河守源範賴、三浦義澄ヲ留メテ周防ヲ守ラシ

メ、自ラ進ミテ豊後ニ渡ル、吾妻鏡

廿七日、法皇、新日吉ニ御參籠アラセラル、是日、藏

人藤原定經、慶ヲ申ス、吉記

右近衛大將藤原良通、文人ヲ會シテ、作文會ヲ行

フ、玉葉

廿八日、藏人康宗、姓關慶ヲ申ス、吉記

二月 乙卯 朔 盡

一日、大原野祭、是日、右近衛大將藤原良通家ニ五

體不具ノ穢アリ、玉葉

範賴ノ部將北條義時、下河邊行平、澁谷重國等、大

宰少貳種直ノ子賀摩兵衛尉ト蘆屋浦ニ戰ヒ、美

氣敦種ヲ殺ス、吾妻鏡

二日、權中納言藤原定能著陣、山槐記抄出

院宣ヲ豊後ノ住人等ニ下シテ、平氏追討ニ從ハ

シム、吾妻鏡

三日、權中納言藤原兼房、慶賀ヲ申ス、玉葉

四日、大神宮ノ穢ニ依リテ、祈年祭ヲ延引ス、百練

抄

五日、賴朝、中原久經、近藤國平ヲ京師ニ遣シ、近畿

十一國ニ武士ノ狼藉ヲ停止セシメ、且ツ奏聞ヲ

經ズシテ、沙汰スルコトヲ禁ゼシム、吾妻鏡

六日、春日祭、玉葉

九日、左近衛中將藤原良經著陣、玉葉

十日、院尊勝陀羅尼供養題名衆ヲ囑請ス、玉葉 卷

數集

十二日、三社奉幣定、達幸故實抄 參考源平盛衰記〔參考〕石

清水八幡宮記錄

賴朝、伊豆ニ赴キ、伽藍造營料木材ノ伐採ヲ監臨

ス、吾妻鏡

十三日、右大臣兼實、松尾社ノ怪異ノ事ヲ奏ス、玉

葉

二十壇法ヲ修シテ、平氏討滅ヲ祈ル、賴朝モ亦、大

般若轉讀ヲ鶴岡八幡宮ニ行フ、是日、範賴、書ヲ賴

十九日、鎌倉南御堂造營事始、賴朝、之ヲ臨監ス、

參考源平盛衰記

十八日、義經、阿波ニ到著シ、近藤親家ヲ嚮導トシ、

進ンデ平氏ノ黨櫻庭介良遠ヲ桂浦ノ營ニ襲ヒ、

之ヲ破ル、是日、賴朝、伊豆ヨリ鎌倉ニ還ル、吾妻鏡

參考源平盛衰記

十六日、住吉社ニ怪異アリ、玉葉 百練抄 吾妻鏡 參考源

平盛衰記

法皇、大藏卿藤原泰經ヲ御使トシテ、攝津渡部ニ

遣シ、源義經ノ出陣ヲ留メラル、玉葉 吾妻鏡

十七日、義經、夜、風雨ニ乘ジ、百五十餘騎ヲ率キ

テ、渡部ヨリ船ヲ發シ阿波ニ向フ、吾妻鏡 參考源平盛

衰記

十五日、前太政大臣藤原忠雅出家ス、一代要記 公卿補

任

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

月、太微屏星ヲ犯ス、玉葉

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

月、太微屏星ヲ犯ス、玉葉

十五日、前太政大臣藤原忠雅出家ス、一代要記 公卿補

任

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

月、太微屏星ヲ犯ス、玉葉

十五日、前太政大臣藤原忠雅出家ス、一代要記 公卿補

任

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

月、太微屏星ヲ犯ス、玉葉

十五日、前太政大臣藤原忠雅出家ス、一代要記 公卿補

任

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

月、太微屏星ヲ犯ス、玉葉

十五日、前太政大臣藤原忠雅出家ス、一代要記 公卿補

任

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

月、太微屏星ヲ犯ス、玉葉

十五日、前太政大臣藤原忠雅出家ス、一代要記 公卿補

任

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

月、太微屏星ヲ犯ス、玉葉

十五日、前太政大臣藤原忠雅出家ス、一代要記 公卿補

任

朝ニ致シ、兵糧ノ闕乏ニ依リテ、安藝ニ退カンコ

トヲ請フ、吾妻鏡 鶴岡八幡宮社務職次第

是日、賴朝、平氏沒官領參河竹谷、蒲形兩莊ヲ、熊野山僧行快ニ還付ス、吾妻鏡

義經、屋島ニ進ミテ、平氏ノ軍ト會戰ス、佐藤嗣信、之ニ死ス、平氏ノ軍敗レ、平宗盛、安德天皇ヲ奉ジ、行宮ヲ棄テ、海上ニ遁ル、玉葉 吾妻鏡 興福寺略年代記

參考源平盛衰記

二十日、内侍所ニ臨時御神樂ヲ奏シテ、平氏追討ヲ祈ル、百練抄

廿一日、義經、平氏ノ軍ヲ追ウテ、志度ニ戰フ、是ヨリ先、河野通信、熊野別當等、義經ノ軍ニ屬シ、田口成直モ亦降ル、玉葉 吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿二日、義經ノ部將梶原景時等ノ率キル兵、屋島ニ到著ス、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿四日、右大臣兼實小御堂修二月會、玉葉

廿六日、最勝金剛院修二月會、玉葉

廿七日、賀茂社ニ御神樂ヲ奏ス、吾妻鏡

故左馬頭源義仲ノ遺臣、其妹ヲ京ニ擁シ、權門莊公ヲ掠奪ス、依リテ、賴朝、近藤國平等ヲシテ、其濫吹ヲ停メ、且ツ遺臣ヲ搜捕セシム、吾妻鏡

四日、賴朝、中原久經、近藤國平ヲ上洛セシメテ、京畿近國ノ狼藉ヲ鎮撫セシムル由ヲ奏ス、吾妻鏡

對馬守宗親光、平氏ノ難ヲ高麗ニ避ク、吾妻鏡

五日、最勝金剛院執行經尊、罪ニ座シテ、所職ヲ改定セラレントス、法印尊忠ノ請ニ依リテ、之ヲ免ス、玉葉

六日、賴朝、書ヲ範賴ニ遣シテ、加藤景廉ノ病ヲ訪ハシメ、馬ヲ與フ、吾妻鏡

七日、賴朝、米一萬石、沙金一千兩、上絹一千疋ヲ東大寺ニ寄進シ、同寺修造ノ料ニ充テシメ、又書ヲ南都ノ衆徒ニ與ヘ、力ヲ修造ニ盡サシム、吾妻鏡

東大寺緣起

十日、右大臣兼實、刑部卿藤原賴輔以下ヲ會シテ、蹴鞠ノ戲ヲ行フ、玉葉

廿八日、法皇、伏見ニ御方違御幸アラセラル、是日、右大臣兼實、日野ニ詣デ、又泰山府君祭ヲ修ス、玉葉

廿九日、法皇、東大寺大佛ノ後山ヲ壞ツ可否ヲ、左右大臣及ビ内大臣ニ諮詢セシム、玉葉
醍醐寺釋迦堂屋葺始、醍醐寺雜事記

三月 大 朔
甲 申 盡

一日、範賴ノ部將澁谷重國ノ使、鎌倉ニ到著シ、範賴ノ軍、豊後ニ渡リシコトヲ報ズ、吾妻鏡

二日、賴朝、刑部丞信親姓闕ニ命ジテ、内藏寮領山城精進御園ヲ領掌セシム、吾妻鏡

賴朝、河野通信ニ其本領ヲ安堵セシム、豫章記
宇治一切經會ニ依リテ、攝政基通、宇治ニ赴ク、玉葉

三日、平氏追討ノ御祈トシテ、諸國明神ニ一階ヲ授ケ奉ル、參考源平盛衰記

十一日、右大臣兼實ノ第北對屋成リ、子右近衛大將良通、之ニ移徙ス、玉葉

賴朝、報書ヲ範賴ニ遣シ、且ツ千葉常胤以下ノ諸將ヲ犒フ、吾妻鏡

十二日、賴朝、兵船三十二艘ニ糧米ヲ積載シ、西海ニ送ラシム、吾妻鏡

十三日、賴朝、對馬守宗親光ヲ迎ヘントシテ、過書ヲ贈リ、且ツ途次ノ諸國ニ諭シテ、勸過ノ煩ナカラシム、吾妻鏡

十四日、賴朝、使ヲ範賴ニ遣シテ、平氏ノ討滅ヲ謀ラシメ、又賢所以下ノ寶物ヲ、無事ニ奉迎スベキ事等ヲ諭ス、吾妻鏡

十五日、月食、玉葉
十六日、法皇、御使ヲ遣シテ、神璽鏡御祈ノ事ヲ、右大臣兼實ニ問ハシメ給フ、玉葉

十八日、仁和寺圓成房成俊、十種供養ヲ修ス、醍醐

寺雜事記

廿一日、周防在廳船所正利、船數十艘ヲ義經ニ獻ズ、吾妻鏡

廿二日、義經、舟師ヲ率キ、三浦義澄ヲ先導ト爲シ、壇浦ニ迫ル、平軍、退キテ田浦ニ屯ス、吾妻鏡 參考源

平盛表記

廿三日、石清水臨時祭、玉葉 石清水八幡宮記錄

廿四日、義經、平氏ノ軍ト壇浦ノ海上ニ戰ヒ、遂ニ之ヲ破ル、安德天皇崩ジ給ヒ、神劍海中ニ流失ス、平教盛、知盛以下平氏ノ一族多ク戰死ス、玉葉 吾

妻鏡

醍醐寺雜事記 愚管抄 百練抄 一代要記 歷代編年集成 皇代

曆

皇代記 皇年代略記 興福寺略年代記 東寺長者補任 參考源平盛

表記

六代勝事記 本朝皇胤紹運錄 左記 神皇正統記 皇代紀抄 如

是院年代記

立川寺年代記 建長寺年代記 北條九代記 類聚大補任

〔參考〕

翁草 陵墓一覽 尊卑分脈 公卿補任 和歌作者部類 新勅撰

和歌集

續後撰和歌集 玉葉和歌集 風雅和歌集 左記 參考源平盛表

記

南聘紀考 地理纂考 南海通記

後鳥羽天皇

文治元年乙巳

三月 甲申 盡

廿四日、義經、内侍所神璽及ビ建禮門院、若宮^仁ヲ迎ヘ奉リ、平宗盛、同時忠、清宗等ヲ虜トナス、玉葉

吾妻鏡

醍醐寺雜事記 愚管抄 百練抄 歷代編年集成 皇代曆 皇代

記

禁祕抄 參考源平盛表記 北條九代記

廿六日、法皇、七觀音ニ御參詣アラセラル、是日、沙門善妙、一日大般若經書寫供養ヲ賀茂社ニ行フ、法皇モ亦、御結縁アラセラル、玉葉 百練抄

是月、犯人ヲ左大臣經宗ノ第二追捕ス、犯人遂ニ自殺ス、玉葉

四月 甲寅 朔

一日、平座、玉葉

二日、右大臣兼實、春日社ニ奉幣ス、玉葉

四日、廣瀨龍田祭、是日、源義經、平氏討滅ノ由ヲ奏ス、百練抄

法皇、神器還京以下ノ儀ヲ、右大臣兼實ニ問ハシメ給フ、玉葉

前攝政基房ノ女某夭ス、玉葉

五日、法皇、日吉社ニ御幸アラセラル、^{華頂要略}

大夫尉信盛^{姓闕}ヲ勅使トシテ、長門ニ遣シ、源義經ニ命ジテ、神器以下ヲ奉ジテ、京師ニ還ラシム、^{吾妻鏡}

右大臣兼實、五輪卒塔婆ニ基ヲ法性寺ノ山ニ建ツ、玉葉

八日、梅宮祭、玉葉

十二社奉幣ヲ延引ス、玉葉

法皇御祈不動法結願、^{東寺長者補任}

十一日、鎌倉南御堂立柱上棟、賴朝、之ニ監臨ス、是日、義經ノ發セル壇浦ノ戰狀、及ビ平氏剿滅ノ報鎌倉ニ達ス、^{吾妻鏡}

十二日、賴朝、使ヲ鎮西ニ遣シ、範賴ヲシテ、九國ヲ鎮メシメ、義經ヲシテ、神器及ビ建禮門院ヲ奉ジ、

宗盛以下ヲ具シテ京ニ還ラシム、^{吾妻鏡}

十三日、賴朝、命ジテ武藏威光寺領ニ押妨ヲ禁ジ、

元ノ如ク本寺ニ還付セシム、^{吾妻鏡}

十四日、大藏卿高階泰經、院宣ヲ奉ジ、使ヲ鎌倉ニ

遣シテ、平氏討滅ノ功ヲ賞ス、^{吾妻鏡}

十五日、賴朝、家人等ノ内舉ナクシテ任官セル輩ヲ責メ、命ジテ、必ズ在京シテ、陣役ヲ勤仕シ、墨股

以東ニ歸還スルコト勿ラシム、^{吾妻鏡}

二十日、賀茂祭、是日、法皇、御使ヲ遣シテ、神器還

京ノ事ヲ、右大臣兼實ニ問ハシメ給フ、玉葉

賴朝、伊豆糠田郷ヲ三島社ニ寄進シ、宿願ニ報賽

ス、^{吾妻鏡}

廿一日、豐受大神宮假殿遷宮、^{遷宮事略 類聚大補任}

公卿ヲ院ニ會シテ、神器還京ノ事ヲ議セシム、玉

葉 參考源平盛表記

廿二日、攝政基通賀茂詣、玉葉 百練抄 一代要記

廿五日、權中納言藤原經房、參議藤原泰通、權左中

辨源兼忠等ヲ遣シ、神器ヲ鳥羽ニ奉迎セシメ、尋
テ、太政官朝所ニ移シ奉ル、二宮モ亦御歸京アラ
セラル、是日、源範賴、參河守ヲ辭ス、玉葉 吾妻鏡 愚

管抄 御神樂部類 神皇正統記 百練抄 歷代編年集成 一代要記 皇
代曆 皇代記 皇年代略記 桃華藥葉 參考源平盛衰記

廿六日、前權中納言藤原實守薨ズ、玉葉 一代要記 皇

代曆 尊卑分脈 公卿補任 和歌作者部類 千載和歌集 新勅撰和歌集
平宗盛、同時忠、同清宗等、京師ニ入ル、玉葉 百練抄

吾妻鏡 歷代編年集成 一代要記 皇代曆 參考源平盛衰記

賴朝、土肥實平、梶原景時ニ命ジ、院宣ニ隨ヒ、近畿
ニ於ケル眼代ノ濫妨ヲ禁ゼシム、吾妻鏡

廿七日、大内ニ行幸アラセラレ、神器ヲ大内ニ奉
遷シ、内侍所御神樂ヲ行ハセラル、玉葉 百練抄 參考

源平盛衰記

功ニ依リ、正四位下源賴朝ヲ從二位ニ敘ス、玉葉

吾妻鏡 百練抄 一代要記 歷代編年集成 公卿補任 類聚大補任 鎌
倉將軍家譜 將軍執權次第 增鏡 參考源平盛衰記

廿八日、建禮門院ヲ吉田律師實憲ノ坊ニ移シ奉

ル、玉葉 吾妻鏡 參考源平盛衰記

近江ノ住人前出羽守重遠姓闕、在京東士ノ不法ヲ
訴フ、賴朝、命ジテ之ヲ停止セシム、吾妻鏡

廿九日、賴朝、備中妹尾郷ヲ崇徳天皇法華堂ニ寄
進シ奉ル、是日、書ヲ田代信綱ニ遣シ、密ニ西海ノ
士ノ義經ニ從フコトヲ諭シ禁ゼシム、吾妻鏡

是月、出雲宿禰宗孝、大社惣檢校職ヲ子孝房ニ讓
ル、千家譜舊記

四天王寺舍利紛失ス、玉葉

五月小 癸未 朔

一日、法勝寺三十講始、法皇、御幸アラセラル、是
日、建禮門院、御出家アラセラル、玉葉 吉記 吾妻鏡 歷

代編年集成 皇代曆 女院小傳 諡號雜記 后宮略傳 參考源平盛衰記

源義仲ノ妹、鎌倉ニ到ル、吾妻鏡

二日、復任除目、公卿補任

四日、石清水八幡宮ニ怪異アリ、石清水文書

五日、賴朝、使ヲ範賴ニ遣シテ、寶劔ヲ搜索セシメ、

且九國ニ在リテ、諸事ヲ沙汰セシム、吾妻鏡

六日、二十二社ニ奉幣シテ、平氏ノ討滅ヲ報賽シ、

且寶劔ノ出現ヲ祈ル、玉葉 吉記 吾妻鏡

七日、賴朝、義經ヲシテ、平宗盛、清宗以下ノ捕虜ヲ

率キテ、鎌倉ニ下ラシム、玉葉 吉記 百練抄 皇代曆 歷

代編年集成 愚管抄 參考源平盛衰記

八日、賴朝、大江廣元、三善康信等ヲシテ、鎮西ノ要

務ヲ議セシム、吾妻鏡

參議藤原俊經出家ス、公卿補任

九日、今日吉社競馬、玉葉

賴朝、奏シテ澁谷重助ノ任官召名ヲ除カシテ、

ヲ請フ、吾妻鏡

十日、宇佐宮、解ヲ上リ、武士ノ濫行ヲ訴フ、吉記

平氏ノ黨上總介藤原忠清ヲ志摩ニ捕ヘ、京師ニ

護送ス、吉記 吾妻鏡

十一日、院供花始、是日、藤原經房參院シテ、賴朝ノ

申狀ヲ奏ス、法皇、鎮西ノ訴ニ依リテ、賴朝ヲシテ

範賴ヲ召還セシメラル、玉葉 吉記

十二日、法皇、三尺地藏ヲ御供養アラセラル、吉記

賴朝、使ヲ遣シテ、鎮西雜事ノ下文ヲ、範賴ニ附セ

シム、吾妻鏡

十四日、平氏ノ黨藤原忠清ヲ姉小路河原ニ斬ル、

吉記 吾妻鏡 參考源平盛衰記 保元物語

十五日、義經、宗盛等ヲ率キテ、酒勾驛ニ著ス、賴

朝、北條時政ヲシテ、宗盛以下ヲ迎ヘシメ、小山朝

政ヲシテ、義經ノ鎌倉ニ入ルコトヲ停メシム、吾

妻鏡

十六日、宗盛等、鎌倉ニ入ル、吾妻鏡 參考源平盛衰記

十七日、小除目、吉記

左馬頭藤原能保、鎌倉ニ到ル、吾妻鏡

十八日、盜、晝御座ノ御劔ヲ竊ム、足利賴兼ノ家人

武者所久實姓闕、之ヲ捕フ、吾妻鏡

十九日、賴朝、京畿ノ群盜及ビ遠江諸國ノ不逞ノ

二十日、平時忠ヲ能登ニ、同信基ヲ備後ニ、同時實ヲ周防ニ、尹明ヲ出雲ニ、僧良弘ヲ阿波ニ、全眞ヲ安藝ニ、忠快ヲ伊豆ニ、能圓ヲ備中ニ、行命ヲ常陸ニ流ス、玉葉 吉記 百練抄 皇代曆抄 參考源平盛衰記〔參考〕

尊卑分脈 和歌作者部類 千載和歌集

廿一日、賴朝、南御堂ノ地ヲ巡檢ス、吾妻鏡

廿三日、最勝講始、玉葉

賴朝、對馬ノ守護河内義長ニ命ジテ、對馬守宗親光ヲ高麗ニ召サシム、吾妻鏡

廿四日、義經、書ヲ大江廣元ニ遺リ、賴朝ノ憤ヲ釋カレンコトヲ請フ、吾妻鏡 參考源平盛衰記

廿五日、賴朝、雜色ヲ中原久經、近藤國平ノ許ニ遣シテ、畿内ノ雜訴ヲ成敗セシム、吾妻鏡

廿六日、石清水八幡宮及ビ平野社ノ怪異ヲ軒廊ニトス、吉記

廿七日、賑給定、最勝講結願、是日、小除目及ビ僧

事、玉葉

廿九日、法皇、嵯峨ニ御幸アラセラレ、清水寺聖人一日五部大乘經供養ニ結緣シ給フ、是日、前權大納言平賴盛出家ス、吉記 吾妻鏡 一代要記

是月、京師疾疫流行ス、世ニ入梅病ト稱ス、玉葉

六月 壬子朔 盡

三日、右大臣兼實、二十日ヲ限り、金剛般若經ヲ春日社ニ轉讀セシム、是日、右馬權頭藤原元輔卒ス、玉葉 尊卑分脈

五日、賴朝、阿波三野田保ヲ八幡宮ニ寄進ス、是日、作矢宗季ヲ召シテ、家人ト爲ス、吾妻鏡

七日、賴朝、宗盛父子ヲ觀ル、吾妻鏡 參考源平盛衰記

八日、法皇、藤原定能ヲ以テ、旨ヲ右大臣兼實ニ傳ヘ、伊賀、上野、甲斐ノ内一國ヲ賜ハントス、兼實之ヲ辭ス、玉葉

九日、賴朝、義經ヲシテ、再ビ宗盛等ヲ京師ニ送還

セシメ、又重衡ヲ南都ニ送ラシム、吾妻鏡

十日、除目、玉葉 一代要記 皇代曆 公卿補任 職事補任

十二日、賴朝、奏シテ逆臣ノ所領ヲ沒收シ、他人ニ改メ替ヘンコトヲ請フ、百練抄

十三日、賴朝、義經ノ采地二十四箇所ヲ收ム、吾妻鏡

十四日、是ヨリ先、賴朝、使ヲ遣シテ對馬守宗親光ヲ高麗ヨリ迎フ、是日、親光對馬ニ還ル、高麗國王重寶ヲ船三艘ニ積ミテ之ヲ送ル、吾妻鏡

十五日、前權大納言藤原兼雅ニ、本座ヲ聽ス、一代要記 公卿補任

十六日、閑院ニ還幸アラセラル、尋デ、仗議アリ、玉葉 參考源平盛衰記

賴朝、使ヲ遣シテ、尾張ノ住人玉井助重ヲ逐フ、吾妻鏡

十九日、賴朝、平氏滅亡セシヲ以テ、諸國ノ惣追捕使ヲ停メ、乃チ之ヲ奏ス、百練抄

二十日、法皇、日吉社ニ御幸アラセラル、玉葉 百練抄

一代要記 皇代曆 皇年代略記 華頂要略

筑前香椎社前大宮司公友、造替遷宮ノ儀ヲ抑留ス、依リテ、賴朝、之ヲ追却セシム、吾妻鏡

地震動搖數度、日ヲ經テ止マズ、玉葉 吾妻鏡 一代要記 皇代曆 皇年代略記

廿一日、國忌、是日、法皇、競馬ヲ日吉社ニ行ハセラル、玉葉 百練抄 一代要記 皇代曆 華頂要略

建禮門院、吉田ノ野河御所ニ移御アラセラル、長門本平家物語

平宗盛ヲ篠原ニ、平清宗ヲ野路ニ斬ル、玉葉 吾妻鏡 百練抄 皇代曆 愚管抄 參考源平盛衰記 尊卑分脈 公卿補任

廿二日、法皇、日吉社ヨリ還御アラセラル、皇代曆 華頂要略

東大寺衆徒ノ請ニ依リ、重衡ヲ奈良ニ送ル、吾妻鏡

廿三日、宗盛父子ノ首ヲ京師ニ傳ヘ、獄門ニ梟ス、是日、重衡ヲ奈良ニ斬リ、之ヲ梟ス、玉葉 吉記 吾妻鏡

百練抄 歷代編年集成 愚管抄 參考源平盛衰記 尊卑分脈 公卿補任
和歌作者部類 玉葉和歌集 六代勝事記 高野春秋

廿四日、法皇、右大臣兼實ニ命ジテ、八萬四千基ノ塔ヲ造ラシメ給フ、玉葉

廿五日、權中納言藤原長方、病ニ依リテ出家ス、玉葉 一代要記 公卿補任

賴朝、佐々木盛綱ノ子俊綱ニ、本地行ヲ與フ、吾妻鏡

廿八日、祈雨奉幣、是日、右大臣兼實、興福寺東金堂造佛ノ料米五十石ヲ奉加ス、玉葉

廿九日、小除日、玉葉
是月、右大臣兼實疾ム、玉葉

七月小 壬午朔

一日、法皇、密ニ鳥羽殿ニ御幸アラセラル、吉記

二日、鳥羽天皇國忌、是日、輕囚十九人ヲ原免ス、山槐記 吉記

三日、法勝寺御八講始、行幸アラセラル、山槐記

十二日、石清水寶殿ニ怪異アリ、石清水文書

最勝光院御八講結願、是日、僧正定遍ニ命ジテ、明日ヨリ、孔雀經法ヲ修セシム、又義經ニ命ジテ、群盜ヲ警戒セシム、吉記

賴朝、院宣ヲ奉ジテ、中原久經、近藤國平等ニ命ジ、鎮西ノ事ヲ沙汰セシメ、又範賴ニ、平家沒官領等ニ地頭ヲ定補シテ後、歸洛スベキコトヲ命ズ、吾妻鏡

十五日、最勝光院孟蘭盆講、是日、院屬星祭、吉記

賴朝、神護寺僧文覺ノ濫妨ヲ禁ゼシム、吾妻鏡
十七日、地震ニ依リテ、皇居閑院殿棟折レ、釜殿屋倒ル、山槐記

二十日、東大寺大佛開眼日次ヲ、右大臣兼實ニ議セシム、玉葉

左衛門督藤原實家ノ室逝ク、山槐記 吉記 尊卑分脈

廿一日、山陵使ヲ發遣ス、吉記

廿二日、左大臣經宗ノ大炊御門ノ第二徙御アラ

右大臣兼實、安德天皇追尊ノ議ヲ奏ス、玉葉
五日、法成寺彌勒講、玉葉

七日、法皇、法勝寺御八講ニ御幸アラセラル、玉葉
前筑後守藤原貞能、出家シ、宇都宮朝綱ニ就キテ、降ヲ請フ、賴朝、之ヲ許ス、吾妻鏡 〔參考〕 小松寺舊記

九日、大地震、月ヲ踰エテ止マズ、地折ケ水涌キ、日華門及ビ閑院ノ西廊倒レ、其他、官舍佛寺多ク倒壞シ、壓死スル者多シ、是日、法皇、新熊野ヨリ六條殿ニ還御アラセラル、玉葉 山槐記 吉記 愚管抄 方丈記

吾妻鏡 百練抄 歷代編年集成 一代要記 皇代曆 皇年代略記 興福寺略年代記 華頂要略 參考源平盛衰記

十日、地震ヲ軒廊ニトシ、又一字金輪法ヲ修シテ、之ヲ祈禳ス、吉記 仁和寺御傳

十一日、法皇、右大臣兼實ヲシテ、地震及ビ皇居破損ノ事ヲ議セシメ給フ、玉葉 山槐記

權中納言藤原朝方、勸修寺長者ヲ同經房ニ讓ラントス、經房辭シテ受ケズ、吉記

セララル、吉記 山槐記

賴朝、命ジテ、日向ノ住人富山義良以下ヲ家人ト爲ス、吾妻鏡

廿三日、賴朝、陪從山城介久兼姓闕ヲ鎌倉ニ召ス、吾妻鏡

廿四日、流人忠快、伊豆ニ著ス、吾妻鏡

廿七日、丹生、貴布禰兩社ニ奉幣シテ、雨ヲ祈ル、山槐記

廿八日、院宣ヲ大宰府管内諸在廳官人ニ下シテ、武士ノ濫妨ヲ禁ゼシム、吾妻鏡

廿九日、高階泰經、書ヲ賴朝ニ送り、僧徒ノ配流ヲ宥サレンコトヲ請フ、吾妻鏡

是月、月、熒惑ヲ犯ス、玉葉

三條宮、御存生ノ風聞アリ、玉葉 吉記

八月大 辛亥朔

四日、北野祭、百練抄

賴朝、佐々木定綱ニ命ジテ、前備前守源行家ヲ討
タシム、吾妻鏡

七日、季御讀經始、是日、釋奠ヲ延引ス、山槐記 百練抄

九日、大納言藤原實房ノ母逝ク、公卿補任

十日、内文、是日、季御讀經結願、山槐記

法印權大僧都覺成、東寺長者ヲ辭ス、依リテ、法印

權大僧都俊澄ヲ東寺二長者ニ補シ、親覺ヲ法眼

ニ敍ス、東寺長者補任 仁和寺諸院家記

十二日、賴朝、義經ニ命ジテ、故義朝及ビ鎌田正清

ノ首ヲ、東獄ニ搜出セシム、吾妻鏡

十三日、九社ニ奉幣シテ、地震ヲ禳フ、百練抄

十四日、文治ト改元ス、玉葉 山槐記 吉記 山丞記 元祿別

錄 吾妻鏡 百練抄 皇紀抄 一代要記 公卿補任 皇代記 皇年代

略記 興福寺略年代記 如是院年代記 類聚大補任 改元鳥兔記 參考

源平盛衰記

十六日、小除目、源義經ヲ伊豫守ニ、山名義範ヲ伊

豆守ニ、大内惟義ヲ相模守ニ、足利義兼ヲ上總介

廿三日、是ヨリ先、法皇、諸國ヲシテ、塔八萬四千基
ヲ造進セシメ、是日、塔供養ヲ長講堂ニ修シ給フ、

山槐記

賴朝、宅磨爲久ヲ鎌倉ニ召シテ、南御堂ノ繪畫ヲ

命ズ、吾妻鏡 扶桑名畫傳

廿四日、下河邊行平、筑紫ヨリ鎌倉ニ還リ、良弓ヲ

賴朝ニ獻ズ、吾妻鏡 〔參考〕 武家名目抄稿 古河志

廿五日、京師地震、山槐記

鳥羽殿ニ御方違行幸アラセラル、玉葉 百練抄 皇居

年表 東大寺續要錄

東寺長者權僧正定遍東大寺拜堂、東寺長者補任

廿六日、六條殿孔雀經法竟、醍醐寺座主以下ニ勸

賞ヲ行フ、山槐記 醍醐寺雜事記 山槐記口傳故實

廿七日、京師地震、山槐記

法皇、奈良ニ御幸アラセラル、玉葉 山槐記 東大寺續要

錄 皇居年表

鎌倉ノ御靈社鳴動ス、賴朝、親賽シテ神樂ヲ行フ、

文治元年八月

ニ、小笠原遠光ヲ信濃守ニ、安田義資ヲ越後守ト
ナス、玉葉 吾妻鏡 尊卑分脈 諸家系圖纂 系圖纂要 清和源氏系

圖 山槐記 百練抄 參考源平盛衰記 保曆間記 神皇正統錄

駒牽、山槐記

十七日、釋奠、玉葉 百練抄 地下家傳

賴朝、惟宗忠久ヲ以テ、薩摩島津莊ノ下司職トナ

ス、島津文書 山槐記

十八日、醍醐寺陀羅尼供養結願、醍醐寺雜事記

十九日、孔雀經法ヲ法皇ノ六條殿ニ修シテ、震災

ヲ祈禳ス、山槐記 孔雀經御修法記 醍醐寺雜事記 五八代記 密

宗年表

廿一日、京師地震、山槐記

賴朝、常陸南郡總地頭下河邊政義ノ、鹿島社領橋

郷ヲ侵掠スルコトヲ禁ズ、吾妻鏡 鹿島社文書 新編常陸

備前留守所、御野郡金山寺、笠寺ノ領地ヲ定ム、集

古文書 金山寺文書

廿二日、京師地震、山槐記

吾妻鏡

廿八日、東大寺大佛落慶供養、法皇親臨シ給フ、左
大臣經宗以下扈從ス、權僧正定遍開眼師トナル、

山槐記 玉葉 百練抄 吾妻鏡 東大寺要錄 一代要記 興福寺略年代

記 眞言諸寺院記 東寺私用集 醍醐寺雜事記 楓軒文書纂 東大寺造

立供養記 本朝文集 東寺長者補任 大乘院日記目錄 元一乘院水谷川

家譜 皇代曆 歷代編年集成 皇年代私記 皇年代略記 立川寺年代記

皇紀抄 神皇正統錄 參考源平盛衰記 慶長見聞集 甲子夜話 興福

寺年代記拔書 東大寺續要錄

廿九日、京師地震、山槐記

法皇還幸アラセラル、玉葉 山槐記

三十日、京師地震、山槐記

追難、吉記

法皇、前左馬頭源義朝ノ遺骨ヲ賴朝ニ賜フ、大江

公朝、僧文覺ノ徒弟等、之ヲ領シテ東下ス、賴朝之

ヲ黃瀬河ニ迎フ、玉葉 吾妻鏡 尊卑分脈 系圖纂要 新編相模

風土記稿

神皇正統錄 參考源平盛衰記 源義朝贈官考

賴朝、播磨書寫山ノ再興ヲ奏請ス、吾妻鏡

是月、賴朝、土肥實平ヲシテ、鎮西ヲ管セシム、歷代

鎮西要略 武家名目抄

九月小 盡

辛巳朔

一日、京師地震、山槐記

賴朝、院使大江公朝ニ對謁シテ饗膳ス、吾妻鏡

二日、京師地震、山槐記

院供花、山槐記

賴朝、梶原景季、僧成尋等ヲ京師ニ遣シテ、源行家、

同義經ノ行動ヲ偵察セシム、吾妻鏡

三日、京師地震、山槐記

賴朝、勝長壽院ヲ鎌倉大倉ニ建テ、父義朝及ビ鎌

田正清ノ遺骨ヲ葬ル、吾妻鏡〔參考〕吾妻鏡 和漢三才圖會

新編相模風土記稿 尾張志

四日、東大寺大佛開眼ニ依リテ、非常赦ヲ行フ、玉

葉 百練抄

院使大江公朝、京師ニ還ル、賴朝、震災祈禳、德政、

崇徳天皇祭祀等ノ事ヲ託奏ス、吾妻鏡 玉葉〔參考〕

大日本租稅志

五日、京師地震、山槐記

石清水、賀茂御幸日時定、山槐記

小山有高、武藏威光寺領ヲ侵掠ス、寺僧、鎌倉ニ訴

フ、賴朝、政所ニ命ジテ之ヲ禁遏セシム、吾妻鏡〔參

考〕新編武藏風土記稿 吾妻鏡要目集成 武家名目抄稿 足立系圖

宇都宮信房、豊前ヲ領ス、宇都宮氏家藏文書 大宰管内志 豊

前志 系圖纂要

六日、京師地震、山槐記

八日、京師地震、山槐記

九日、伊勢大神宮ノ封戸ヲ加ヘ奉ル、類聚大補任

十日、京師地震、山槐記

十一日、伊勢例幣、山槐記

十四日、京師地震、山槐記

十五日、月食、玉葉 山槐記

十七日、京師地震、山槐記

十八日、京師地震、山槐記

院宣ヲ賴朝ニ下シテ、東國領ヲ舊ニ仍ラシム、玉

葉

賴朝、權中納言藤原經房ヲ吹擧ス、吾妻鏡

十九日、京師地震、山槐記

祈年穀奉幣、山槐記

二十日、京師地震、山槐記

廿三日、京師地震、山槐記

填星、太微東蕃上相星ヲ犯ス、玉葉

前大納言平時忠、配所能登ニ赴ク、山槐記 吾妻鏡 參

考源平盛衰記

僧忠快、飛驒ニ配セラレテ赴カズ、是ニ至リテ、賴

朝、之ヲ鎌倉ニ召ス、系圖纂要 參考源平盛衰記〔參考〕山城

名勝志 法家相承次第

廿四日、院宣ヲ下シテ、閑院清凉殿ノ修理ヲ伯耆

ニ課ス、山槐記 皇居年表

文治元年十月

賴朝、院宣ヲ奉ジテ、遠江小杉御厨地頭ノ侵掠ヲ

禁ズ、吾妻鏡

廿六日、京師地震、山槐記

參河守源範賴、筑紫ヨリ京師ニ還リ、名劍吠丸、鵜

丸、綾羅等ヲ法皇ニ獻ズ、玉葉 吾妻鏡〔參考〕武家名目抄

稿

廿八日、歲星、右執法ヲ犯ス、玉葉

京師地震、山槐記

春日社御神樂ヲ追行ス、中臣祐重記

廿九日、京師地震、山槐記

賴朝、勝長壽院造營ノ工匠ヲ賞ス、吾妻鏡

十月大 盡

庚戌朔

一日、不動法ヲ禁中ニ修ス、是日、僧事ヲ行フ、醍醐

寺雜事記 玉葉

四日、白杵維隆、緒方維榮ノ流罪ヲ免ズ、吾妻鏡〔參

考〕歷代鎮西要略 上野名跡志 諸氏家牒

六日、梶原景季、京師ヨリ鎌倉ニ歸リ、行家、義經ノ

反狀ヲ頼朝ニ密訴ス、吾妻鏡

八日、右近衛大將藤原良通ニ白羊ヲ贈ルモノアリ、玉葉

九日、宇佐宮神寶ノ事ヲ議ス、玉葉

頼朝、土佐坊昌俊ヲ京師ニ遣ス、二上家季等八十餘士之ニ隨フ、吾妻鏡〔參考〕新編鎌倉志 扶桑見聞私記 神皇正統錄

十一日、除目、權中納言藤原經房ニ、大宰權帥ヲ、權右中辨源兼忠ニ近江守ヲ兼ネシム、玉葉 公卿補任

是ヨリ先、頼朝ノ家人久實、姓闕、晝御座御劍ノ盜賊ヲ捕フ、是日、之ヲ賞ス、吾妻鏡

行家、頼朝ニ叛ス、義經之ニ黨與シ、院宣ヲ奉ジテ、頼朝ヲ討タンコトヲ請フ、玉葉 吾妻鏡 神皇正統錄 興福寺略年代記

南御堂勝長壽院ノ壁畫成ル、吾妻鏡〔參考〕增補考古書譜 本朝畫史

頼朝、安堵狀ヲ佐々木盛綱ニ與フ、吾妻鏡〔參考〕佐

二十日、源範頼、鎌倉ニ還ル、大僧正公顯モ亦抵ル、吾妻鏡 諸門跡譜

廿一日、義經、法皇ヲ奉ジテ鎮西ニ奔ラントス、聽サズ、玉葉〔參考〕玉葉

頼朝、佛師成朝ニ命ジテ、丈六ノ佛像ヲ造ラシメ、是日、之ヲ南御堂ニ安置ス、吾妻鏡 歷代大佛師譜

廿二日、義經、行家、兵ヲ近畿ニ募ル、應ズルモノナシ、玉葉 吾妻鏡

廿四日、五壇法ヲ禁中ニ修ス、醍醐寺雜事記 玉葉 門葉 記抄

頼朝、南御堂ヲ慶シテ勝長壽院ト號ス、大僧正公顯ヲ導師トナシ、諸將ヲ率キテ、供養ノ奠儀ヲ舉グ、吾妻鏡 玉葉 保曆間記 北條九代記 鎌倉將軍家譜 神皇正統錄

新編相模風土記稿 常陸國志

廿五日、御禊行幸、增鏡 百練抄 皇代曆

頼朝、兵ヲ帥キテ上洛セントス、是日、小山朝政、結城朝光等ヲ先發セシム、吾妻鏡 新撰美濃志

十四日、五壇法ヲ禁中ニ修ス、東寺長者補任

頼朝、院宣ヲ奉ジテ、遠江守安田義定ヲ召ス、吾妻鏡

義經、行家、頼朝ニ反キシ爲メニ、京師騷擾ス、玉葉 十五日、法皇、石清水八幡宮ニ御幸アラセラレ、明日、還御アラセラル、玉葉 百練抄 石清水八幡宮祠官系圖

院宣ヲ頼朝ニ下シテ、齋宮用途ヲ徵シ、並ニ伊勢大神宮御領地武士ノ侵掠ヲ禁ゼシム、吾妻鏡

十七日、頼朝追討ノ宣旨ヲ義經ニ下ス、百練抄 土佐房昌俊等、義經ヲ堀河第二襲撃シテ克タズ、玉葉 百練抄 吾妻鏡〔參考〕山城名勝志 山州名跡志 和漢三才圖會 新編相模風土記稿 雍州府志 神皇正統錄 神明鏡 諸氏家牒 佐野本系圖

十八日、賀茂社ニ御幸アラセラル、園大曆

頼朝追討ノ院宣ヲ、行家、義經ニ下ス、右馬頭藤原能保、竊ニ之ヲ頼朝ニ諗グ、玉葉 吾妻鏡〔參考〕玉葉

參考源平盛衰記 和漢三才圖會 神皇正統錄

廿六日、義經、土佐房昌俊ヲ鞍馬ニ捕へ、六條河原ニ斬ル、吾妻鏡 神皇正統錄 興福寺略年代記

廿七日、頼朝、使ヲ三島宮根兩社ニ遣シテ奉幣セシム、吾妻鏡〔參考〕東關紀行

廿八日、頼朝、片岡經春ノ領地下總三崎莊ヲ收メ、之ヲ千葉常胤ニ與フ、吾妻鏡 千葉大系圖

廿九日、頼朝、鎌倉ヲ發ス、土肥實平ヲ先鋒トナシ、千葉常胤ヲ殿トシ、東海、東山、北陸諸道ノ兵ヲシテ、途ニ會セシム、吾妻鏡 神皇正統錄

是月、建禮門院、吉田ヨリ大原ノ寂光院ニ御移徙アラセラル、參考源平盛衰記 山城名勝志 神皇正統錄 皇居年表

〔參考〕參考源平盛衰記 保曆間記 際中抄

十一月 大 庚辰 朔

一日、頼朝、駿河黃瀬河驛ニ駐屯シテ、京師ノ情報ヲ待ツ、吾妻鏡

二日、義經、行家、船ヲ艤シテ、西國ニ遁レントス、

是日、院宣ヲ下シ、四國九州ヲシテ、二人ノ節度ニ從ハシム、玉葉 吾妻鏡〔附録〕 參考源平盛衰記

三日、法皇、機務ヲ右大臣兼實ニ託シ給ハントス、攝政基通肯ゼズ、玉葉

行家、義經、京師ヲ出デ、西國ニ赴ク、平時實、藤原良成等、之ニ從フ、依リテ諸社ノ祭事ヲ退メ、五壇法ノ勸賞ヲ行フ、玉葉 百練抄 吾妻鏡 醍醐寺雜事記〔參考〕

愚管抄 參考源平盛衰記 神皇正統錄
出雲孝房、國造職ヲ嗣グ、千家文書

太田賴基、義經ヲ攝津河尻ニ要撃ス、玉葉 平家物語
五日、鎌倉ノ武士入京ス、是日、多田行綱、豊島冠者等、義經ヲ途ニ要撃ス、吾妻鏡〔參考〕 玉葉 續本朝通鑑

神皇正統錄
渡邊番、義經ヲ救フ、古今著聞集

六日、近江、美濃ノ源氏、兵ヲ發シテ義經ヲ追撃ス、是日、行家、義經、大物浦ニテ、風浪ニ遭ヒ、黨類離散ス、乃チ和泉ニ渡リテ、天王寺ニ泊ス、尋デ、平時

實京師ニ捕ヘラル、玉葉 百練抄 吾妻鏡〔參考〕 玉葉 菊池傳記 續本朝通鑑 神皇正統錄 攝津志 近江輿地志略

七日、義經ノ官職ヲ削ル、吾妻鏡

八日、法皇、義經謀叛ノ御祈トシテ、四天王法ヲ桂林房ニ修セシメラル、華頂要略

賴朝、黄瀬河ヨリ鎌倉ニ歸ル、是日、使ヲ京師ニ發遣ス、吾妻鏡 玉葉 神皇正統錄

九日、法皇、密使ヲ賴朝ニ遣シ給フ、玉葉
祭主大 中臣親俊薨ズ、一代要記 吾妻鏡 公卿補任 類聚大補任 尊卑分脈 大中臣氏系圖

十一日、右大臣兼實、其子良經ノ名、義經ト同訓ナルヲ以テ、改メントス、尋デ、義經ヲ更メテ義行トナス、玉葉 吾妻鏡

十二日、院宣ヲ諸國ニ下シテ、行家、義經ヲ搜捕セシム、玉葉 吾妻鏡〔參考〕 玉葉 參考源平盛衰記 神皇正統錄

以仁王ノ御子北陸宮、北國ヨリ京師ニ還ラセラ
ル、玉葉 尊卑分脈 系圖纂要

賴朝、駿河ノ家人ニ戒嚴シテ、不時ノ徵募ニ應ゼシメ、又義經ノ姻戚河越重賴、下河邊政義ノ領地ヲ沒收ス、吾妻鏡〔參考〕 三國地誌 源平盛衰記 畠山系圖 系圖

纂要 坂東八館諸族譜 諸族譜
十五日、潔子内親王ヲト定シテ、齋宮トナス、百練抄 玉葉 達幸故實抄 女后名字抄 歷代編年集成 一代要記 皇帝紀抄 尊卑分脈 系圖纂要

是ヨリ先、大藏卿高階泰經、義經ニ黨ス、是日、其使、鎌倉ニ至リ、辯疏ス、賴朝、之ヲ卻ク、吾妻鏡

十七日、吉田祭、是日、春日祭ヲ追行ス、玉葉 春日社司
中臣祐重記 春日祭歷名部類

義經、大和吉野山ニ遁竄ス、是日、其妾靜、山僧ニ捕ヘラル、吾妻鏡 保曆間記〔參考〕 和漢三才圖會 大和志 越知家譜傳 吉野志

十八日、大嘗會、百練抄 增鏡 尊卑分脈 系圖纂要 皇代曆 扶桑名畫傳 夜鶴庭訓抄

梅宮祭、率川祭、玉葉
吉野ノ僧徒、義經ヲ搜索ス、吾妻鏡 大和國社寺古文書寫

〔參考〕 神皇正統錄

十九日、僧事、法師永辨以下ヲ補敍シ、義經、行家追討ノ祈禳ヲ賞ス、玉葉
土肥實平入京ス、吾妻鏡

廿一日、大原野祭、豊明節會習禮、玉葉
東寺ノ西院ヲ修理ス、依リテ不動尊ヲ講堂ニ徙ス、東寺長者補任

廿二日、五節童女參入、是日、雨降レドモ、猶晴儀ヲ用フ、玉葉
義經、大雪ヲ侵シテ、多武峰ニ逃ル、尋デ、十字坊ノ僧徒道德等、之ヲ掩護シテ十津河ニ赴ク、吾妻鏡

神皇正統錄 大和州吉野舊事記
廿三日、月、謁者ヲ犯ス、玉葉
法皇、攝政基通ノ失政ヲ議シ給フ、玉葉

管絃音義成ル、寶石類書
廿四日、童女御覽、玉葉

賴朝、願文ヲ東國ノ諸寺社ニ奉リテ、國土泰平ヲ

文治元年十一月

祈ル、吾妻鏡

北條時政、兵ヲ率キテ入京ス、玉葉〔參考〕武家名目抄

廿五日、豊明節會、殿上淵醉、御前試、是日、藤原定

家、源雅行ト論諍シテ除藉セラハル、玉葉

宣旨ヲ賴朝ニ下シテ、行家、義經ヲ捕索セシム、吾

妻鏡 神皇正統錄 武家年代記裏書

大中臣能隆ヲ祭主ニ補ス、吾妻鏡 類聚大補任 祭主補任

次第記 尊卑分脈

醍醐寺灌頂、醍醐寺雜事記

比叡山中堂舍利會、華頂要略

廿六日、賴朝、書ヲ高階泰經ニ送ル、是日、勅シテ泰

經ヲ斥ク、吾妻鏡 玉葉

七四四

史料綜覽卷三終

大正十五年六月十九日印刷
大正十五年六月二十二日發行

(史料綜覽卷三奥附)

定價 金 八 圓

編纂者

東京帝國大學文學部 史料編纂掛

發行者

朝陽會長

池田敬八

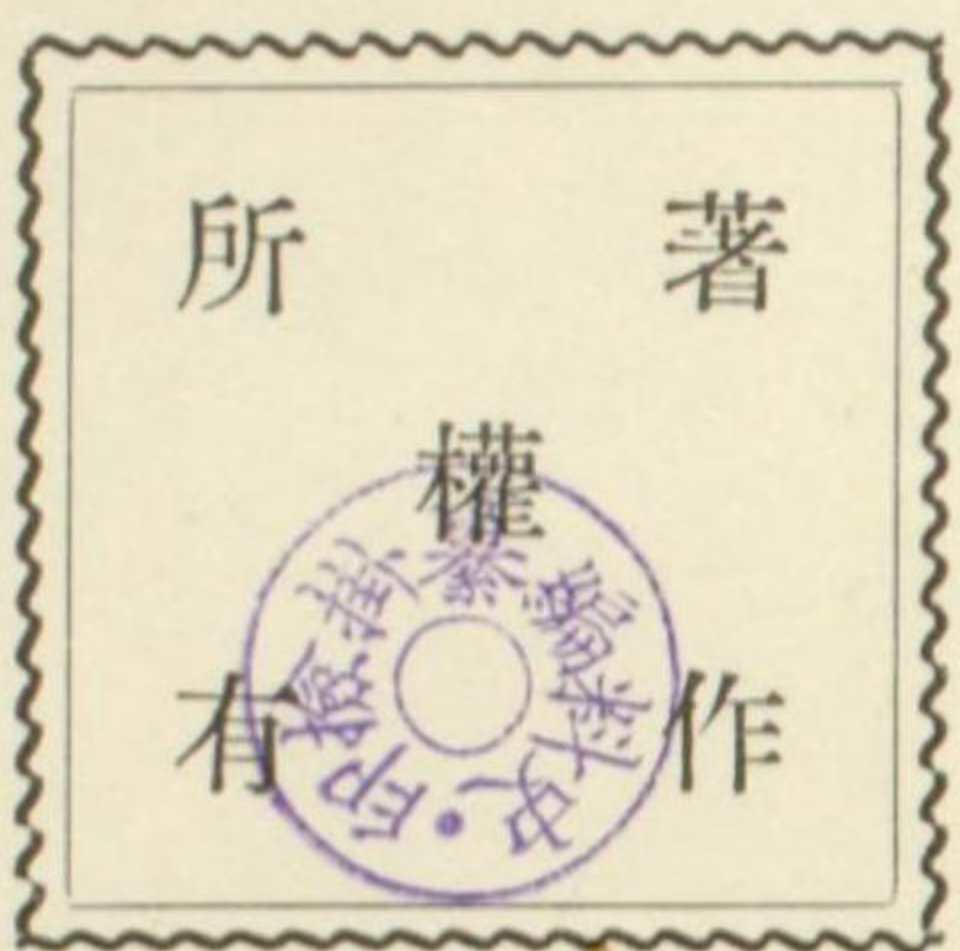
印刷所

株式會社 中屋印刷所
東京市京橋區築地三丁目十五番地

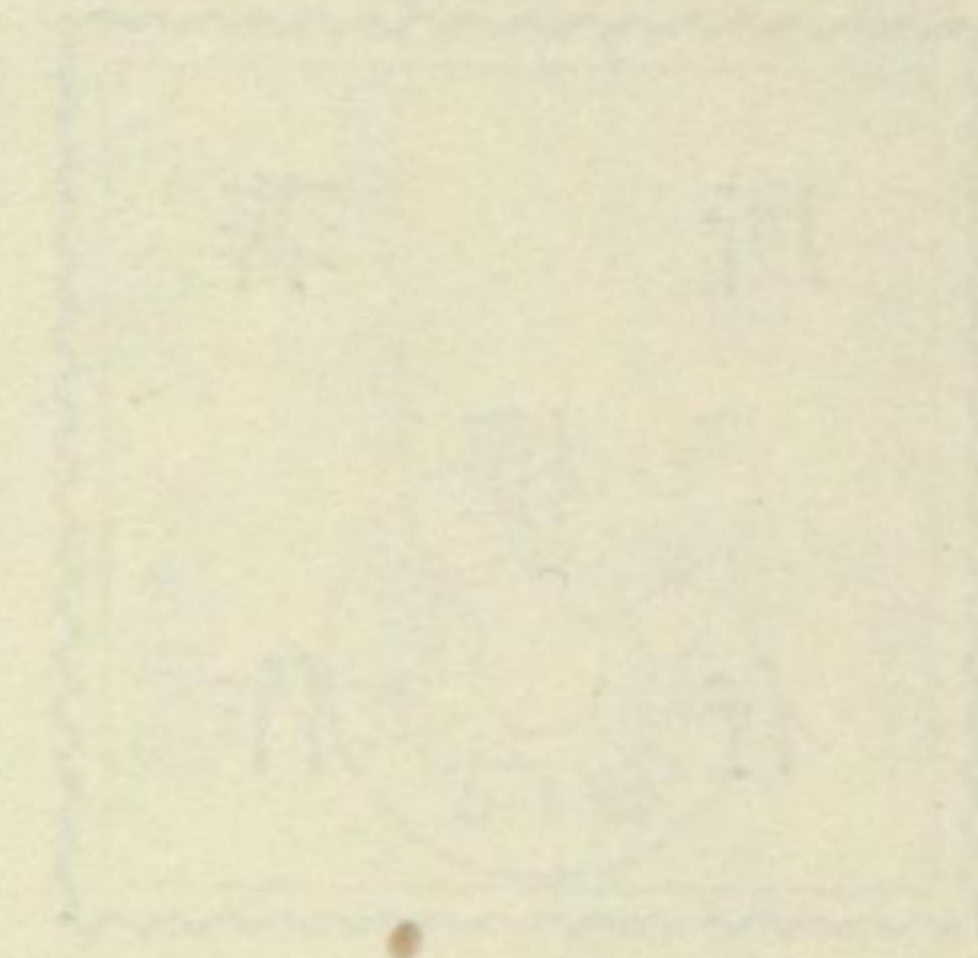
發行所

朝陽會

東京市麹町區大手町二丁目二番地
內閣印刷局內
郵便振替口座 東京四三六〇五番



工 9K 36



大五十五平六日二十一日
大五十五平六日十日

講義書

發行書

甲種書

乙種書

大五十五平六日二十一日

發行書

甲種書

乙種書

大五十五平六日二十一日

